



KONICA MINOLTA

# CD86DP/CD66DP CD56DP/CD53DP

---

使用説明書



# はじめに

このたびは、CD86DP/CD66DP/CD56DP/CD53DP をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。ご使用前には、本書を必ずお読みください。

安全かつ効率的にご利用いただくために、本書をよくお読みいただき、本機の正しい使い方を十分ご理解の上、末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

また、本書はいつでもご使用いただけますよう、大切に保管してください。

## 商標について

- ・ Macintosh , Mac OS , OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
  - ・ Microsoft , Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 印刷・複製に関する注意事項

印刷機で、何を印刷してもよいとは限りません。特に法律によって、単にその印刷物を所有するだけでも罰せられるものもありますのでご注意ください。

### 1. 法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券地方証券は印刷することは禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても印刷することはできません。
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類の印刷も禁止されています。
- 政府の模造許可をとらない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は印刷することは禁止されています。
- 政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規定されている証紙類の印刷もできません。

#### 関係法律

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国に於て流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

### 2. 注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数を印刷する以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手に印刷しない方がよいと考えられています。

### 3. 著作権の目的となっているもの

- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真などの著作権は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するために印刷する以外は禁じられています。

## VCCI-A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 高調波対策ガイドライン

この機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた情報機器及びその周辺機器の高調波対策ガイドラインに適合しています。

## おことわり

改良のため、仕様等記載事項が予告なしに変更になることがあります。

不明な事項は販売会社にお問合せ願います。

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

## ▲ 安全上の注意事項

◇安全上、特に重要な項目です。必ずお守りください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

<絵表示の例>



○記号は、禁止行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を禁止したり指示する内容を告げるものです。  
図の中に、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## ● 使用上の注意

### ▲ 警告



●万一、異物（金属片、水、液体）が機械内部に入った場合、そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。  
→まず、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
そして、販売会社にご連絡ください。



●万一、発熱していたり、煙が出ている場合、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の恐れがあります。  
→まず、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
そして、販売会社にご連絡ください。



●この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。  
→火災、感電の恐れがあります。



●この機器の上に花瓶、植木鉢、コップや水の入った容器または金属類を置かないでください。  
→こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の恐れがあります。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### 注意



- 用紙によっては機器の使用時に紙粉が発生することがあります。清掃、換気を十分行うように心がけてください。

## ●接地接続について

### 警告



- 必ず接地接続を行なってください。  
→接地接続されなくて万一、漏電した場合は、火災、感電の恐れがあります。

#### 接地対象

- コンセントの接地端子
- 銅片など 650 mm以上地中に埋めたもの
- D種接地工事を行っている接地端子

次のようなところには、絶対に接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用接地線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります。）
- 水道管や蛇口（配線の途中やプラスチックになっている場合は、接地の役目を果たしません。）

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行なってください。  
又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行なってください。

## ●電源及び電源コードについての注意

### 警告



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。  
又、タコ足配線をしないでください。  
そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。  
→火災、感電の恐れがあります。



- 電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。  
そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の恐れがあります。  
→火災、感電の恐れがあります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
→感電の恐れがあります。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### 警告



●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。  
→重い物を乗せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、  
火災、感電の恐れがあります。



●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。  
→コードが傷つき火災、感電の恐れがあります。

## ●分解や改造の禁止

### 警告



●この機器を改造しないでください。  
→火災、感電の恐れがあります。



●この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。  
→内部には電圧の高い部分があり、感電の恐れがあります。

## ●使用場所の注意

### 警告



●湿気やホコリの多い場所に置かないでください。  
→火災、感電の原因となることがあります。



●機器は、専用キャビネットの上に設置してください。  
●専用キャビネット以外の机やテーブルは使用しないこと。  
●機器は、机の上に設置しないで下さい。  
→落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。



●機器を設置したらキャスター止めをしてください。  
→動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### 注意



- この機器を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。  
→コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。  
→落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。



- 直射日光の当たりやすい場所やストーブなどの熱器具の側を避けてください。  
高温、低温、多湿の場所は避けてください。  
→用紙が吸湿して、紙づまりやシワの原因になります。



- 長期間製品を使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
→絶縁劣化により、漏電の恐れがあります。

## ●清掃時の注意

### 注意



- 清掃作業を行うときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
→清掃中誤って製品を運転させてしまい、ケガをする恐れがあります。



- 清掃のときなど機械内部および周辺で、可燃スプレーや溶剤を使用しないでください。  
→機械内部にガスがたまり引火し、火災、爆発の恐れがあります。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### ●インクに関する注意

#### 注意



●インクが目や口に入った場合は、速やかに水で洗い流し、医師と相談してください。



●インクが皮膚に付着した場合は、速やかに石鹸で洗い流してください。



●インクは、小さなお子様の手が届かないところに保管してください。

#### インクについて

- インクパックの取扱いは、消耗品の交換の項を参照ください。  
インクパックの交換 → P. 174
- インクは、財団法人日本環境協会が制定するデジタル印刷機のエコマーク基準の、インクに関する全ての認定の基準に適合しています。

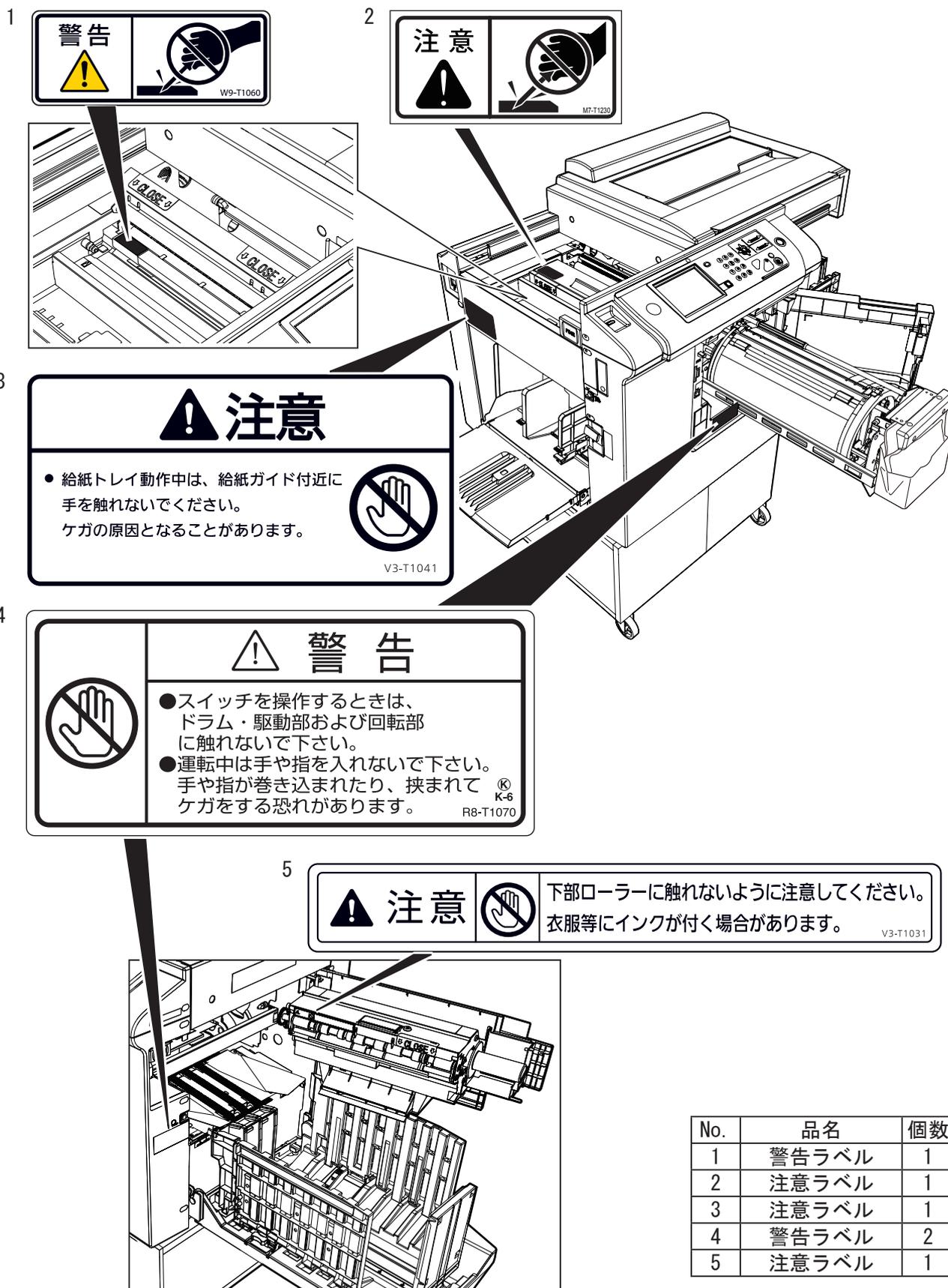
#### インクの保管について

- 直射日光の当たらない、低温で乾燥したところに置いてください。  
適正保管温度 -5℃ ~ 40℃
- 火気に近づけないでください。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

### ●安全銘板の貼り付け位置

- 安全銘板は、常に汚れや破損のないようにしてください。  
もし、破損・紛失した場合は、サービスマンにお申し付けください。



## ● 取扱説明書内の使用マークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は、必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

### 重要

: 操作・保守において誤った取り扱いをすると、製品の性能が発揮できなかったり、故障の原因となるおそれがある内容を示します。

### 参考

: 操作・保守において参考になることや、製品の性能などについての情報です。

次ページへ続く…

: 操作手順が次のページに続くことを示しています。

(→ P.00「××××」): 関連する事項が書かれているページと項目を示しています。

# 機能索引

本機が備えている機能を簡単に紹介します。

## 製版で使用する機能

### 倍率

→ P. 24、P. 30



お好みの大きさに拡大 / 縮小できます。

### 用紙サイズ

→ P. 25



不定型のサイズも設定できます。

### 読取濃度

→ P. 39



原稿を読み取る濃さを調整できます。

### 製版濃度

→ P. 40



製版の濃さを調整できます。

### 原稿種類

→ P. 43



原稿に適したモードを設定できます。

### 原稿サイズ

→ P. 47



プリントする原稿のサイズを設定できます。

### プレビュー

→ P. 50



製版する前に、印刷イメージを確認できます。

### 多面印刷

→ P. 54



1枚の用紙に同じ原稿を複数プリントします。

### 2in1

→ P. 58



2枚の原稿を1枚の用紙にプリントします。

### ブック影消し

→ P. 68



本などのとじ部分や周囲の影を消してプリントします。

### 90°回転

→ P. 73



原稿を90°回転してプリントします。

### 180°回転

→ P. 75



原稿を180°回転してプリントします。

### 原稿編集

→ P. 77



プレビューを見ながら、原稿を編集してプリントできます。

### 再製版機能

→ P. 98



前回製版したイメージを再製版できます。

### 省インクモード

→ P. 118



原稿読取濃度を変更することでインクを節約してプリントします。

### 原稿濃度読取

→ P. 124



原稿全体の濃度を読み取り、最も明るい部分を識別することができます。

### 原稿セットミス検知

→ P. 133



原稿台ガラスに原稿が正しくセットされていない場合にお知らせします。

### ファインスタート

→ P. 150



刷り始めから鮮明にプリントすることができます。

### プレプリント

→ P. 154



製版後、初めの何枚かをプリント枚数にカウントしないように設定できます。

### 仕上がり確認

→ P. 158



製版が終了し、1枚プリントして停止します。

## プリントで使用する機能

### 印刷スピード

→ P. 27



印刷スピードを調整できます。

### 印刷濃度

→ P. 41



プリントの濃さを調整できます。

### 印刷位置

→ P. 45



プリントする画像の位置を調整できます。

### 用紙の種類

→ P. 112



プリントする用紙に適したモードを設定できます。

### 重送検知

→ P. 114



用紙の重ね送りを検知します。

### 短冊用紙

→ P. 116



幅の狭い「のし紙」をプリントするときに設定します。

### インク補給

→ P. 120



インクの補給をします。

### 機密保持

→ P. 122



機密文書などのプリントを禁止します。

### インターバルプリント

→ P. 126



一定の間隔を開けてプリントします。

### 区分け / 原稿別プリント

→ P. 128



必要枚数を区分けしてプリントしたり、原稿ごとにプリント枚数を変えることができます。

### トップブローファン

→ P. 135



トップブローファンの風量を調整します。

### オンラインモード

→ P. 137



パソコンを使用してプリントするときに、増刷することができます。

### 最適プリント

→ P. 152



設定した印刷スピードにより、最適な印刷濃度に調整します。

### リピートカウンタ

→ P. 156



設定枚数プリント終了後、設定枚数をリピートします。

### プリント中の印刷位置調整

→ P. 160

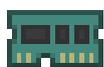


プリント中に印刷位置を調整することができます。

## その他の機能

### メモリ機能設定

→ P. 100



各種の設定を保存したり、必要に応じて設定を呼び出せます。

### 初期設定

→ P. 139



「標準モード」の設定を変更できます。

### ショートカット設定

→ P. 142



よく使う機能を、基本画面下にアイコン表示することで、ワンタッチで希望の機能と呼出すことができます。

### 省エネモード

→ P. 144



一定時間操作されないと、液晶（タッチパネル）を自動的にOFFし、消費電力を低減します。

### オートパワーオフ

→ P. 146



一定時間操作されないと、自動的に電源を切ります。

### オートリセット

→ P. 148



一定時間操作されないと、自動的にリセットし、設定を「標準モード」に戻します。

### 液晶の明るさ調整

→ P. 162



液晶（タッチパネル）の明るさを調整します。

### 日付時刻

→ P. 164



日付時刻を設定します。

### ブザー設定

→ P. 166



ブザー音量、ブザー音のON/OFFを設定できます。

### 言語設定

→ P. 168



液晶に表示される言語を設定します。

### 情報

→ P. 170



トータル製版・印刷枚数、ロールマスターの残量状況、使用済みマスターの処理状況、日付時刻、ショートカット設定の内容を確認することができます。



# 目次

はじめに	i
安全上のご注意（必ずお守りください）	ii
安全上の注意事項	ii
●安全銘板の貼り付け位置	vii
機能索引	ix

## 第1章 お使いになる前に

各部の名称とはたらき	2
本体外観	2
本体内部	3
排紙側外観 / 内部	4
操作パネル部	6
基本画面の見方	7
設定画面の見方	7
電源の入れかた / 切りかた	8
電源を入れる	8
電源を切る	8
標準モードについて	9
使用できる原稿 / 用紙について	10
使用できる原稿	10
使用できる用紙	10

## 第2章 基本的な機能を使ってプリントする

プリント前の準備	14
用紙のセットのしかた	14
厚い用紙または薄い用紙で、空送り、2枚送りが発生する場合	15
用紙の補給と載せ換えのしかた	16
排紙台のセットのしかた	17
ジャンプ台のセットのしかた	18
原稿のセットのしかた	19
原稿の置きかた	19
原稿台ガラスに原稿をセットする	19
自動原稿送り装置 (ADF) (オプション) に原稿をセットする	20
基本的なプリントのしかた	22
基本的な機能を使ってプリントする	22
拡大 / 縮小する	24
定型原稿から定型用紙へ拡大 / 縮小する	24
用紙サイズの選び方	25
用紙サイズの設定による製版範囲について	25
用紙サイズの設定のしかた	25
用紙サイズのユーザ設定のしかた	26
印刷スピードの調整	27
印刷スピードの調整について	27
印刷スピードの調整のしかた	27
TOP SPEED の設定のしかた	28

## 第3章 便利な機能を使ってプリントする

拡大 / 縮小する	30
拡大 / 縮小について	30
すこし小さめにプリントする	31
オートズーム	33
任意に拡大 / 縮小する (任意ズーム)	35
天地 (上下) / 左右それぞれ任意に拡大 / 縮小する (独立変倍)	37
濃度調整のしかた	39
濃度調整について	39
読取濃度の調整について	39
読取濃度の調整のしかた	39
製版濃度の調整について	40
製版濃度の調整のしかた	40
印刷濃度の調整について	41
印刷濃度の調整のしかた	41
写真やカラー原稿をプリントする	43
原稿種類について	43
原稿種類の設定のしかた	43
印刷位置を調整する	45
印刷位置調整について	45
原稿サイズ	47
原稿サイズについて	47
原稿サイズの設定のしかた	47
原稿サイズのユーザ設定のしかた	48

## 第4章 その他の機能

編集機能 プレビュー	50
プリントを行う原稿を確認する	50
編集機能 多面印刷	54
1枚の用紙に複数プリントする	54
多面印刷の設定のしかた (2面取り / 4面取り / 8面取り / 16面取り)	56
2in1について	58
2in1の設定のしかた	59
ADF (オプション) を使用した 2in1 のしかた	62
任意面取り	64
任意面取りの設定のしかた	64
切取線について	66
切取線の設定のしかた	66
編集機能 ブック影消し	68
ブック影消しについて	68
影消しの範囲について	69
ブック影消しの設定のしかた	70
編集機能 90°回転	73
90°回転について	73
90°回転の設定のしかた	73
編集機能 180°回転	75

180° 回転について	75
180° 回転の設定のしかた	75
<b>編集機能 原稿編集</b>	77
原稿編集について	77
メイクアップについて	77
メイクアップの設定のしかた	79
メイクアップ追加、消去エリア入替	91
トリミングについて	95
トリミングの設定のしかた	95
<b>編集機能 再製版機能</b>	98
再製版機能について	98
再製版機能の設定のしかた	98
<b>特殊機能 メモリ機能設定</b>	100
メモリ機能設定について	100
保存している設定を呼出す	106
保存している設定をクリアする	110
<b>特殊機能 用紙の種類</b>	112
用紙の種類について	112
用紙種類の設定のしかた	112
<b>特殊機能 重送検知</b>	114
重送検知について	114
重送検知の設定のしかた	114
<b>特殊機能 短冊用紙</b>	116
短冊用紙について	116
短冊用紙の設定のしかた	116
<b>特殊機能 省インクモード</b>	118
省インクモードについて	118
省インクモードの設定のしかた	118
<b>特殊機能 インク補給</b>	120
インク補給について	120
インク補給のしかた	120
<b>特殊機能 機密保持</b>	122
機密保持について	122
機密保持の設定のしかた	122
<b>特殊機能 原稿濃度読取</b>	124
原稿濃度読取について	124
原稿濃度読取の設定のしかた	124
<b>特殊機能 インターバルプリント</b>	126
インターバルプリントについて	126
インターバルプリントの設定のしかた	126
<b>特殊機能 区分け / 原稿別プリントをする</b>	128
区分け / 原稿別プリントについて	128
区分け / 原稿別プリントの設定のしかた	129
区分け / 原稿別プリントの入力のしかた	131
テープで区分けしてプリントする (テープクラスタ装着機のみ)	132
<b>特殊機能 原稿セットミス検知</b>	133
原稿セットミス検知について	133
原稿セットミス検知の設定のしかた	133

## 目次

<b>特殊機能</b>	<b>トップブローファン</b> .....	135
	トップブローファンについて.....	135
	トップブローファンの設定のしかた.....	135
<b>周辺機能</b>	<b>オンラインモード</b> .....	137
	パソコンを使ってプリントする.....	137
	オンラインモードの設定のしかた.....	137
	マニュアル設定時の増刷の解除のしかた.....	138
<b>環境機能</b>	<b>初期設定</b> .....	139
	初期設定について.....	139
	初期設定のしかた.....	139
<b>環境機能</b>	<b>ショートカット設定</b> .....	142
	ショートカット設定について.....	142
<b>環境機能</b>	<b>省エネモード</b> .....	144
	省エネモードについて.....	144
	省エネモードの設定のしかた.....	144
<b>環境機能</b>	<b>オートパワーオフ</b> .....	146
	オートパワーオフについて.....	146
	オートパワーオフの設定のしかた.....	146
<b>環境機能</b>	<b>オートリセット</b> .....	148
	オートリセットについて.....	148
	オートリセットの設定のしかた.....	148
<b>環境機能</b>	<b>ファインスタート</b> .....	150
	ファインスタートについて.....	150
	ファインスタートの設定のしかた.....	150
<b>環境機能</b>	<b>最適プリント</b> .....	152
	最適プリントについて.....	152
	最適プリントの設定のしかた.....	152
<b>環境機能</b>	<b>プレプリント</b> .....	154
	プレプリントについて.....	154
	プレプリントの設定のしかた.....	154
<b>環境機能</b>	<b>リピートカウンタ</b> .....	156
	リピートカウンタについて.....	156
	リピートカウンタの設定のしかた.....	156
<b>環境機能</b>	<b>仕上がり確認</b> .....	158
	仕上がり確認について.....	158
	仕上がり確認の設定のしかた.....	158
<b>環境機能</b>	<b>プリント中の印刷位置調整</b> .....	160
	プリント中の印刷位置調整について.....	160
	プリント中の印刷位置調整の設定のしかた.....	160
<b>環境機能</b>	<b>液晶の明るさ</b> .....	162
	液晶の明るさ調整について.....	162
	液晶の明るさ調整の設定のしかた.....	162
<b>環境機能</b>	<b>日付時刻</b> .....	164
	日付時刻について.....	164
	日付時刻の設定のしかた.....	164
<b>環境機能</b>	<b>ブザー設定</b> .....	166
	ブザー設定について.....	166
	ブザー設定のしかた.....	166

環境機能 言語設定	168
言語設定について	168
言語設定のしかた	168
環境機能 情報	170
情報について	170
情報の確認のしかた	170

## 第5章 消耗品の交換のしかた

インクパックの交換	174
インクパックの交換について	174
インクパックの交換のしかた	174
ロールマスターの交換	177
ロールマスターの交換について	177
ロールマスターの交換のしかた	177
使用済みマスターの処理のしかた	180
使用済みマスターの処理について	180
ドラムユニットの交換	182
ドラムユニットの交換について	182
ドラムの取出しかた	182
ドラムのセットのしかた	183
サバキユニットの交換	185
サバキユニットの交換について	185
補助サバキの交換	186
補助サバキの交換について	186

## 第6章 こんなときには

故障かな？と思われたとき	188
メッセージが表示されたとき	189
プリント中に用紙を補給するとき	192
プリント中に用紙がなくなったとき	192
プリント中に用紙を補給するとき	192
用紙サイズを変更するとき	193
紙づまりを起こしたとき	195
左側紙づまり（給紙トレイ）	195
右側紙づまり（排紙台）	196
ドラムに用紙が巻きついているとき	197
排版ミスを起こしたとき	199
ドラムに貼りついたマスターの取り除きかた	199
着版ミスを起こしたとき	202
マスターの取り除きかた	202
「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき	203
ロールマスターのセットのしかた	203
消耗品情報入力画面が表示されたとき	205
インク情報入力画面の入力のしかた	205
ロールマスター情報入力画面の入力のしかた	208

## 目次

### 第7章 日常のお手入れ

日常のお手入れのしかた	212
-------------	-----

### 第8章 仕様／アフターサービス

仕様	214
保証および保守サービス	216
使用済み製品の回収とリサイクルについて	217
設置の必要なスペース	218

### 付 録

索引	220
----	-----

# 第 1 章

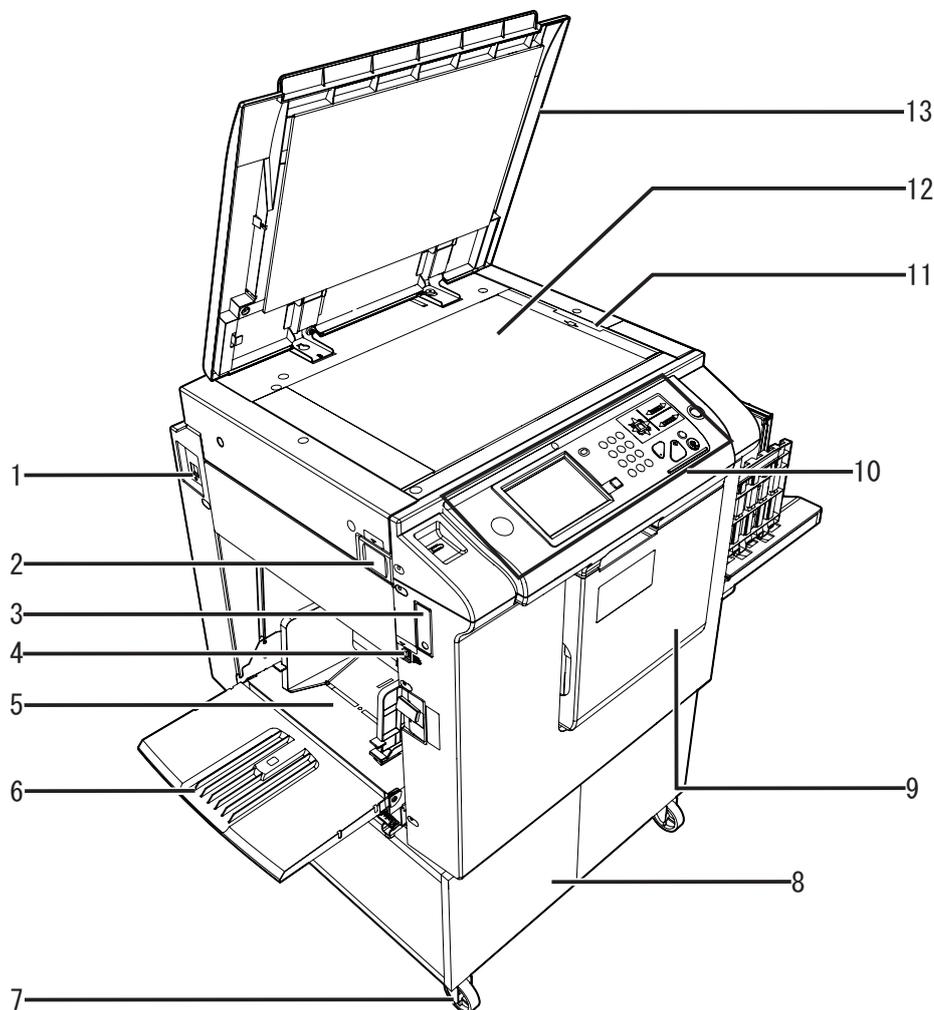
## お使いになる前に

この章では、各部の名称、操作パネルの名称とはたらき、使用できる原稿 / 用紙についての説明など、ご使用前に理解していただきたい事項について説明します。

各部の名称とはたらき	2
本体外観	2
本体内部	3
排紙側外観 / 内部	4
操作パネル部	6
基本画面の見方	7
設定画面の見方	7
電源の入れかた / 切りかた	8
電源を入れる	8
電源を切る	8
標準モードについて	9
使用できる原稿 / 用紙について	10
使用できる原稿	10
使用できる用紙	10

# 各部の名称とはたらき

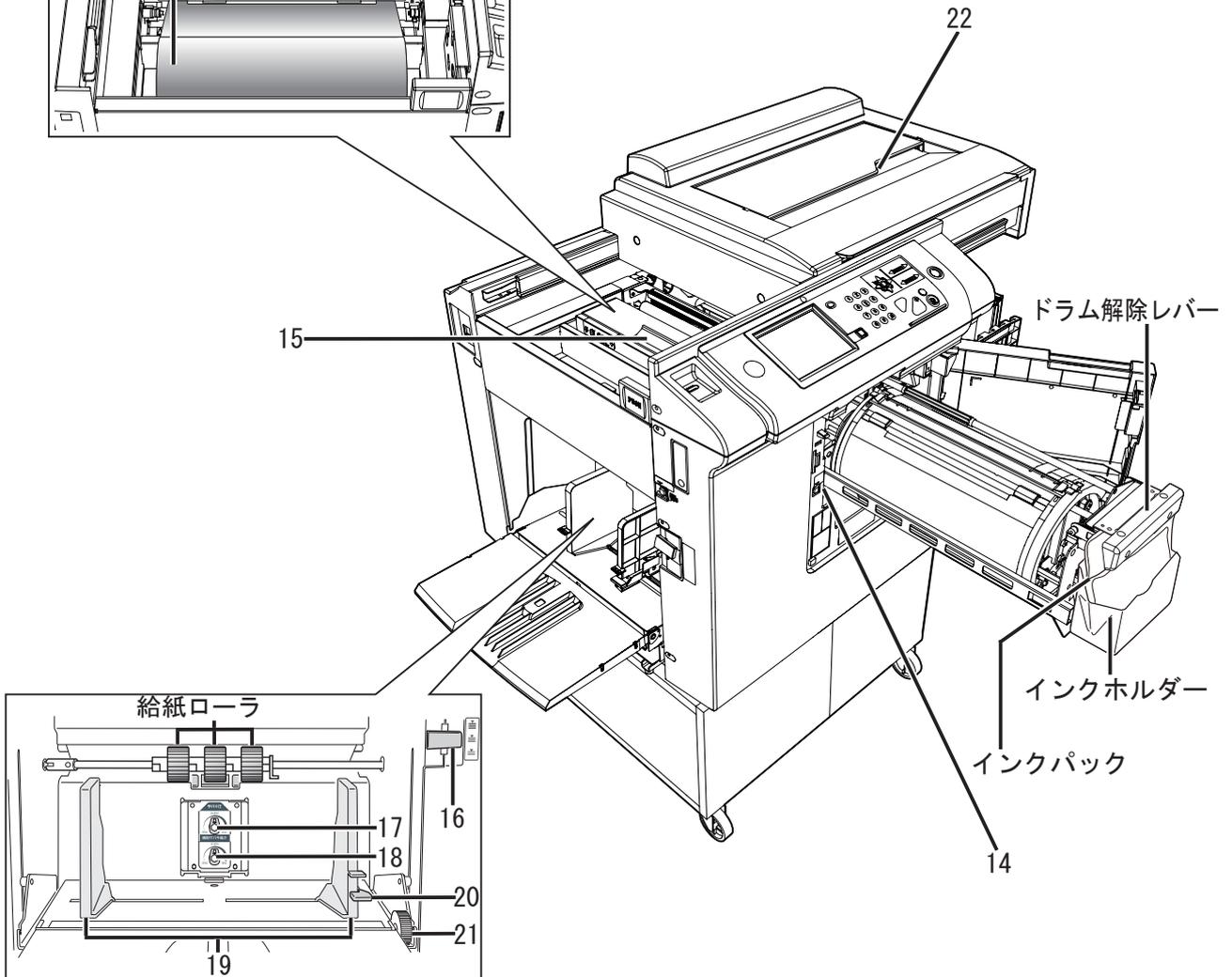
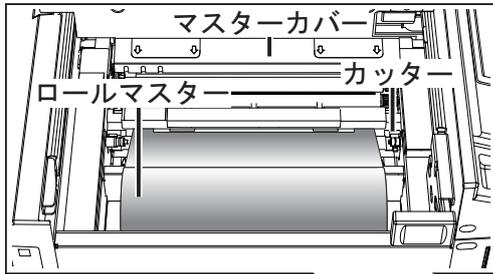
## 本体外観



No.	名称	はたらき	参照ページ
1	パソコン用コネクタ	パソコンと接続するときに使います。※構成により異なります。	-
2	スキャナ開閉ボタン	スキャナを開けるときに押します。	179、204、 205
3	USB 端子	USB メモリを接続するときに使います。※構成により異なります。	-
4	給紙トレイ下降 スイッチ	給紙トレイを下げるときに押します。	16、194、 195、197
5	給紙トレイ	用紙をセットします。	14、16
6	補助トレイ	大きい用紙をセットするときに使います。	14
7	キャスター止め	専用キャビネットを床に固定するとき使います。本機を設置するときは、必ず2つのキャスター止めをロックしてください。	-
8	専用キャビネット	この台の上に本機を置きます。※構成により異なります。	-
9	前カバー	インクパックやドラムユニットの交換などをするとき開けます。	176、184、 201
10	操作パネル	動作や状態を表示したり、機能の設定をします	6
11	目盛板	原稿を目盛に合わせて置きます。	19
12	原稿台ガラス	原稿を置きます。	19
13	原稿押え板	原稿台ガラスに置いた原稿を押さえます。	19

## 本体内部

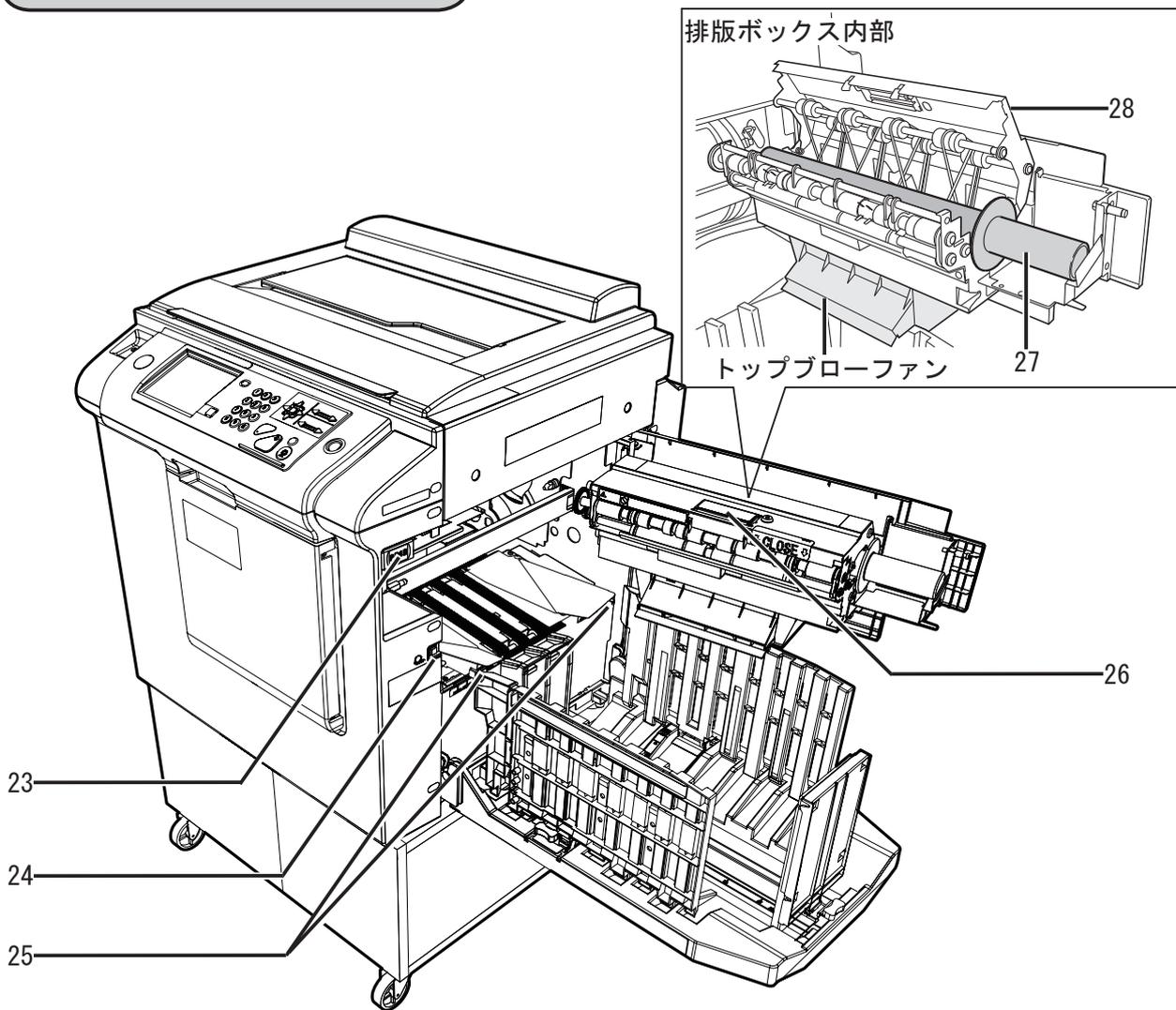
マスターカバー内部とその周辺



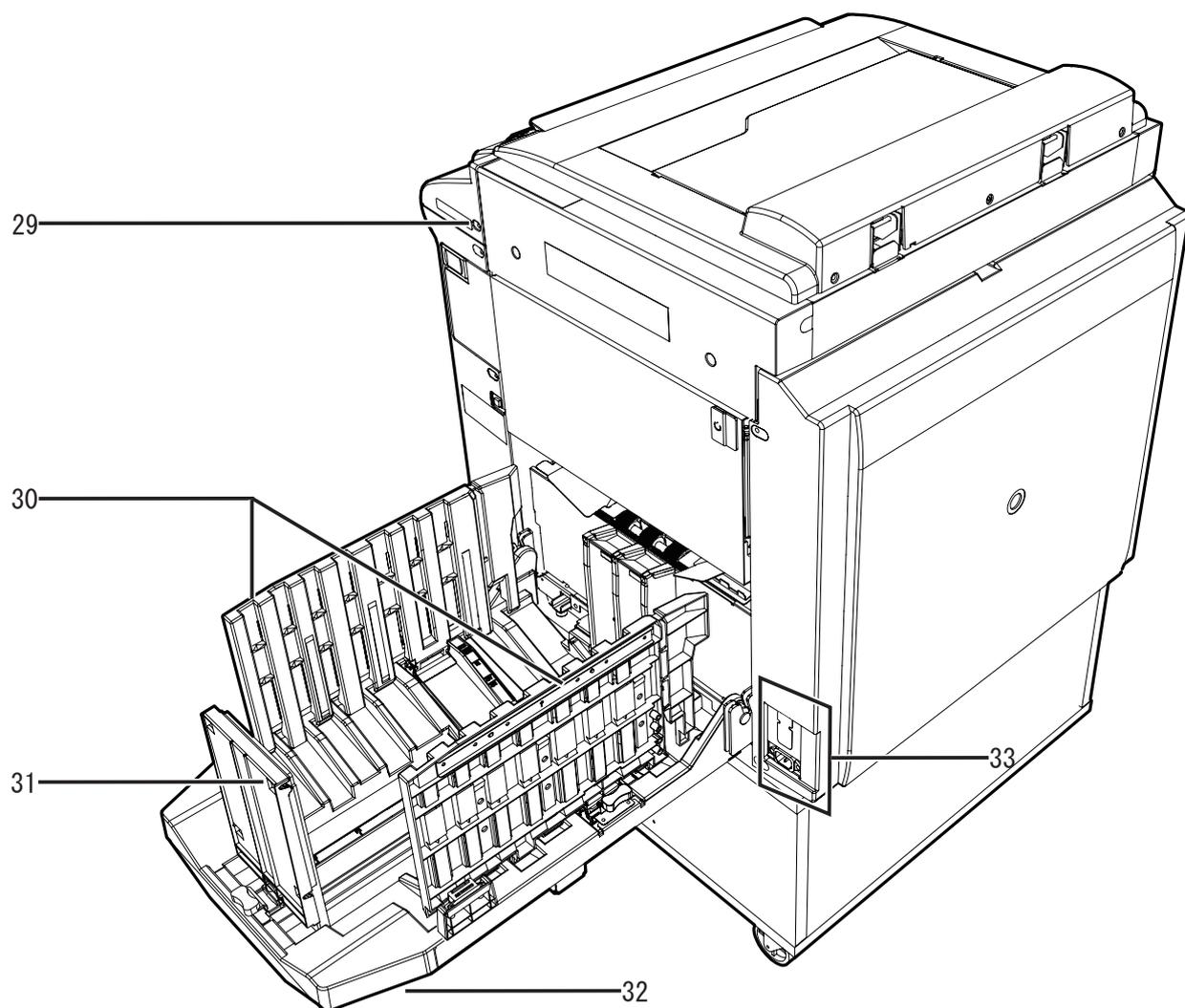
1  
お使いになる前に

No.	名称	はたらき	参照ページ
14	ドラム取出しスイッチ	押すとドラムが回転しドラム取出し位置で止まります。取出し位置で止まるとLEDが点灯します。	184、201
15	マスターカバー PUSH レバー	マスターをセットするときなどに押すと、マスターカバーが開きます。	179、205
16	給紙圧レバー	用紙厚さに合わせて圧力を調整します。	15
17	サバキ圧調整ツマミ	用紙厚さに合わせてサバキ圧力を調整します。	15
18	補助サバキ高さ 調整ツマミ	用紙厚さに合わせて補助サバキ高さ調整します。	15
19	給紙ガイド	用紙の幅に合わせてスライドさせます。	14
20	給紙ガイド ロックレバー	レバーをつまんで、給紙ガイドを用紙幅に合わせます。	14
21	給紙横微動ダイヤル	印刷位置（左右方向）を調整します。※ CD56DP/CD53DP のみ	46
22	スキャナユニット	原稿の画像を読み取ります。 ロールマスターをセットするときに開けます。	179、204、 205

排紙側外観 / 内部

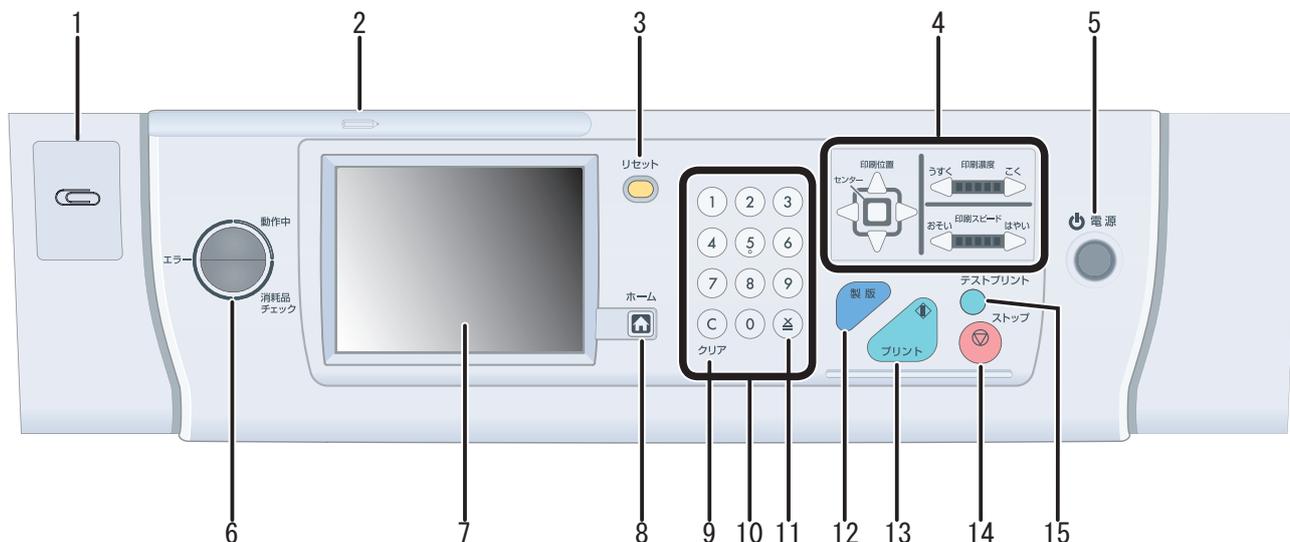


No.	名称	はたらき	参照ページ
23	排版ボックス 開閉ボタン	排版ボックスを開くときに押します。	182、198、 199
24	用紙排出スイッチ	押している間、ドラムが回転します。紙づまりなどの処理をするときに使います。	197、198、 200
25	ジャンプ台レバー	使用する用紙サイズに合わせて調整します。	18
26	排版ボックス PUSH レバー	使用済みマスターを処理するときなどに押すと、排版カバーが開きます。	182
27	排版ロール	使用済みマスターを処理するときに使います。	182
28	排版カバー	使用済みマスターを処理するときに開けます。	182



No.	名称	はたらき	参照ページ
29	キーカード挿入口	キーカードを挿入します。※構成により異なります。	9
30	サイドフェンス	使用する用紙サイズに合わせて調整します。	17
31	ストッパー	使用する用紙サイズに合わせて調整します。	17
32	排紙台	プリントされた用紙を受けます。	17
33	オプション接続 コネクタ	オプションを使用するとき、コネクタを接続します。	-

## 操作パネル部 (CD86DP/CD66DP の操作パネルで説明しています)



No.	名称	はたらき
1	クリップ置き	原稿をとめてあるクリップを置きます。
2	ペン置き	ペンを置きます。
3	リセットキー	操作パネルの設定を標準モードに戻します。メモリされていない設定はクリアされます。
4	コントロールキー	
	印刷濃度調整キー	印刷濃度を調整するときに押します。
	印刷位置調整キー	印刷位置（天地（上下）/ 左右）を調整するときに押します。 ※ CD56DP/CD53DP には印刷位置（左右）調整キーはついていません。
	印刷スピード調整キー	印刷スピードを調整するときに押します。
5	電源スイッチ	電源を ON/OFF するときに押します。 電源が ON のときは電源ランプが点灯、OFF のときは消灯、省エネモードのときは点滅しています。
6	お知らせランプ	本機動作中は「青」が点灯、パネル上にエラーメッセージが表示されたときは LED 全体が「赤色」に点滅、消耗品交換メッセージが表示されたときは LED 下半分が「赤色」に点滅します。
7	液晶（タッチパネル）	プリント枚数など本機の設定を表示します。設定を変更するときにタッチします。エラーが発生したときは、メッセージを表示します。
8	ホームキー	ホームキーを押すと、基本画面に戻ります。
9	クリアキー	プリント枚数をクリアしたり、入力した数値をクリアするときに押します。
10	テンキー	プリント枚数を入力したり、数値を入力するときに押します。
11	× キー	区分け / 原稿別プリントでプリント枚数と組数を入力するときに押します。
12	製版キー	製版を開始するときに押します。プリント中の場合、製版できません。プリント枚数をクリアしてから製版してください。
13	プリントキー	プリントを開始するときに押します。製版は行いません。プリントキーランプが消えているとき（機密保持が設定されているとき、ドラムにマスターが装着されていないとき、エラーが表示されているとき、プリント枚数が入力されていないとき）はプリントできません。
14	ストップキー	プリントを途中で止めたいときに押します。製版動作中に押すと、製版終了後に止まります。
15	テストプリントキー	1 枚だけプリントしたいときに押します。濃度や印刷位置を確認したいときに使用します。 押し続けている間、続けてプリントされます。

## 基本画面の見方

- 液晶（タッチパネル）に、操作の状態やメッセージが表示されます。

機械の状態が、メッセージで表示されます。

用紙サイズ  
原稿種類  
倍率  
濃度  
原稿サイズ  
の現在の設定が、文字とアイコンで表示されます。  
印刷位置は、数字で表示されます。

製版・印刷できます

0枚

プリント枚数を表示します。

用紙サイズ  
オート (A3)

倍率  
100%

原稿種類  
文字

原稿サイズ  
オート (A3)

印刷位置  
↔ 0.0mm ↓ 0.0mm

濃度  
- +

設定

i

21:16

TOP SPEED

各種設定を行うときにタッチします。

・ショートカット設定をすると、アイコンが表示されます。  
・設定されている機能が、アイコン表示されます。

## 設定画面の見方

- 基本画面で、「設定」ボタンをタッチすると、設定画面に切り替わります。

機能が表示されます。機能をタッチして設定を行います。

・タッチするとページが切り替わります。  
・各タブ（編集、特殊、周辺、環境）のページ数とページの位置を表示します。

編集 特殊 周辺 環境

プレビュー

多面印刷

ブック影消し

90°回転

180°回転

原稿編集

各タブ（編集、特殊、周辺、環境）をタッチすると、選択したタブの画面が表示されます。

終了

基本画面に戻ります。

※上記表示画面は CD86DP で説明しています。その他の機種においては表示されない文字、アイコンがあります。

### 重要

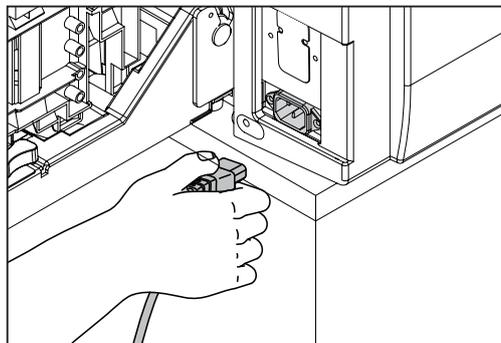
- 液晶（タッチパネル）およびボタンは決して強く押さないでください。

# 電源の入れかた / 切りかた

電源の入れかた / 切りかたについて説明します。

## 電源を入れる

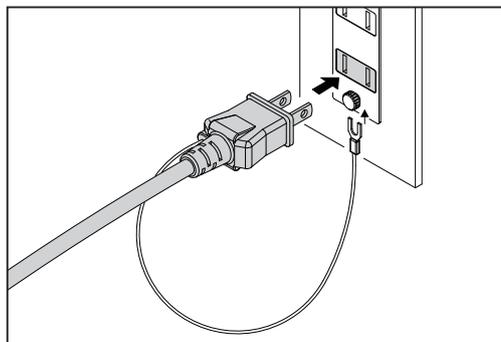
- 1 電源プラグを本体のインレットに差し込みます。



- 2 接地線を接続し、反対側のプラグをコンセントに差込みます。

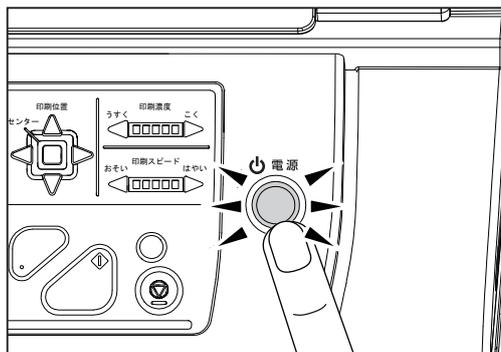
### 警告

- 接地接続してください。  
接地接続されないで万一、漏電した場合は、  
火災、感電の恐れがあります。



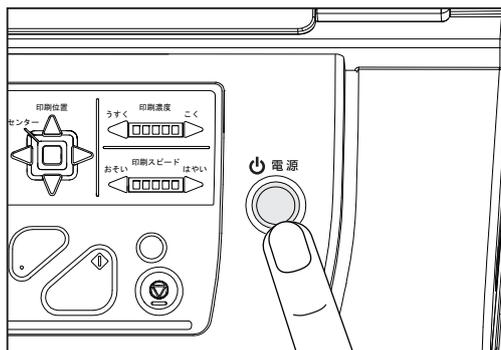
- 3 操作パネル上の電源スイッチを押します。  
液晶(タッチパネル)に、「KONICA MINOLTA」が表示され、  
機械のウォーミングアップが始まります。

液晶(タッチパネル)に、基本画面が表示されると、  
使用可能になります。  
このとき本機の各機能は「標準モード」に設定されます。  
(参考→P.9 “標準モードについて”)



## 電源を切る

- 1 操作パネル上の電源スイッチを押します。  
電源が切れ、電源スイッチの表示ランプが消灯します。



## 標準モードについて

電源を入れたときや<sup>リセット</sup>リセットキーを押したとき、各機能は「標準モード」に設定されます。標準モードの設定内容は次のとおりです。ただし、初期設定を変更されている場合は、設定されている内容になります。

プリント枚数	: 0枚
用紙サイズ	: オート (CD86DP/CD66DP)、A3 (CD56DP)、B4 (CD53DP)
倍率	: 100%
製版濃度	: ±0
読取濃度	: ±0
原稿種類	: 文字多め / 写真少なめ
原稿サイズ	: オート (CD86DP/CD66DP)、OFF (CD56DP/CD53DP)
印刷位置	: 0.0mm
印刷濃度	: ±0
印刷スピード	: 3速
省インクモード	: OFF
90°回転	: OFF (CD86DP/CD66DP)

# 使用できる原稿／用紙について

## 使用できる原稿

### ●原稿台の場合

- 10kg 以下のシート、ブック物原稿
- 原稿のサイズ : 最大 297 mm × 432 mm

### ●自動原稿送り装置 (ADF)( オプション ) の場合

- 原稿の厚さ : 64g/㎡ - 128g/㎡
- 原稿のサイズ : 最大 297mm × 432mm  
最小 100mm × 148mm
- 原稿トレイ積載容量 : 100 枚 (64g/㎡)、85 枚 (80g/㎡)

### 重要

- 以下の原稿は、自動原稿送り装置 (ADF) では使用できません。
  - ・ 糊付けや大きな穴 (とじ穴) のあいている原稿
  - ・ ステップやクリップなどでとめてある原稿
  - ・ 大きくカールしたり、ひどく折れた部分のある原稿
  - ・ 破れていたり、先端がギザギザになっている原稿
  - ・ 感熱紙、カーボン紙等化学処理された原稿
  - ・ OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透明度の高い原稿
  - ・ アート紙、コート紙などの表面が滑りやすい原稿
  - ・ 修正液、糊などを使用している原稿
  - ・ 切り貼りされた原稿
- 原稿は、必ず同一サイズのものを使用してください。正常に動作しない場合があります。

## 使用できる用紙

### ●給紙トレイにセットできる用紙と、排紙台の積載量

- 用紙の種類 : 45g/㎡ - 210g/㎡ (上質紙、中質紙、更紙、再生紙、封筒、ハガキ)
- 用紙のサイズ : 最大 320mm × 450mm  
最小 100mm × 148mm
- 用紙の積載量 : 給紙トレイ 1500 枚 (64g/㎡)、1200 枚 (80g/㎡)  
排紙台 1500 枚 (64g/㎡)、1200 枚 (80g/㎡)

※用紙の種類等の条件により、1500 枚積載できない場合があります。

※用紙には坪量の異なる古紙パルプ配合率 100% の再生紙が使用できます。

※封筒の種類等の条件により使用できない場合があります。

**重要**

- 以下のような用紙は使用できません。
  - ・ 糊付けや大きな穴（とじ穴）のあいている用紙
  - ・ ステイプルやクリップなどでとめている用紙
  - ・ 大きくカールしたり、ひどく折れた部分のある用紙
  - ・ 破れていたり、先端がギザギザになっている用紙
  - ・ 感熱紙、カーボン紙、ラベルシール等化学処理された用紙
  - ・ OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透明度の高い用紙
  - ・ アート紙、コート紙などの表面が滑りやすい用紙
  - ・ 切り貼りされた用紙



# 第 2 章

## 基本的な機能を使ってプリントする

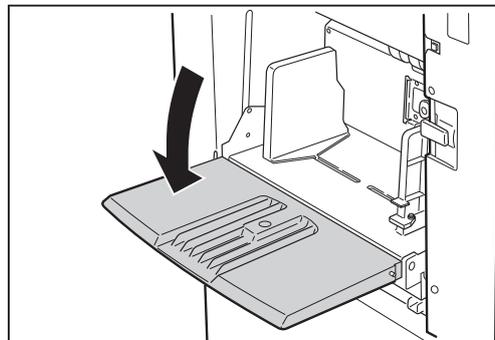
この章では、簡単なプリントのしかた、原稿のセット方法、拡大／縮小の方法など、プリントをするための基本となる事項について説明します。

.....	
プリント前の準備.....	14
用紙のセットのしかた.....	14
厚い用紙または薄い用紙で、空送り、2枚送りが発生する場合.....	15
用紙の補給と載せ換えのしかた.....	16
排紙台のセットのしかた.....	17
ジャンプ台のセットのしかた.....	18
原稿のセットのしかた.....	19
原稿の置きかた.....	19
原稿台ガラスに原稿をセットする.....	19
自動原稿送り装置 (ADF) (オプション) に原稿をセットする.....	20
基本的なプリントのしかた.....	22
基本的な機能を使ってプリントする.....	22
拡大／縮小する.....	24
定型原稿から定型用紙へ拡大／縮小する.....	24
用紙サイズの選び方.....	25
用紙サイズの設定による製版範囲について.....	25
用紙サイズの設定のしかた.....	25
用紙サイズのユーザ設定のしかた.....	26
印刷スピードの調整.....	27
印刷スピードの調整について.....	27
印刷スピードの調整のしかた.....	27
TOP SPEED の設定のしかた.....	28
.....	

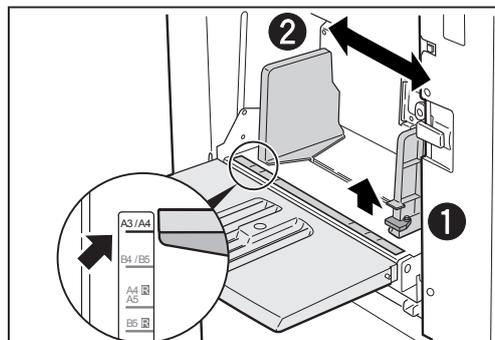
# プリント前の準備

## 用紙のセットのしかた

- 1 「補助トレイ」を開いてください。



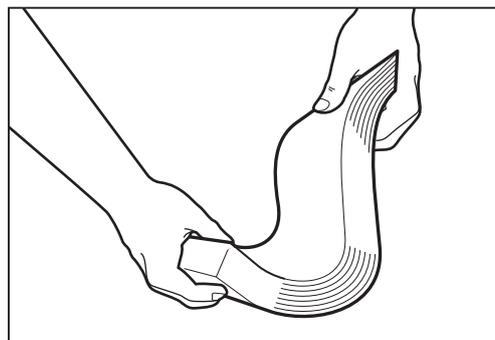
- 2 「給紙ガイドロックレバー」をつまんで、「給紙ガイド」を用紙サイズに合わせてください。



- 3 用紙をよくさばき、そろえてください。

### 重要

- 用紙をセットするときは、必ず用紙をさばいてください。給紙ミスや紙づまりの原因になります。



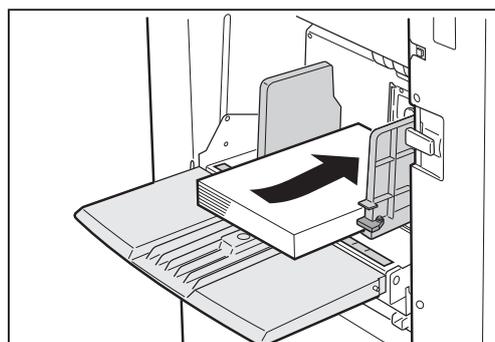
- 4 そろえた用紙を「給紙ガイド」の間に置き、そのまま機械内部に向かって軽くつきあてます。

### 参考

- 用紙は一般上質紙 (64g/ m<sup>2</sup>) で 1500 枚セットできます。

### 重要

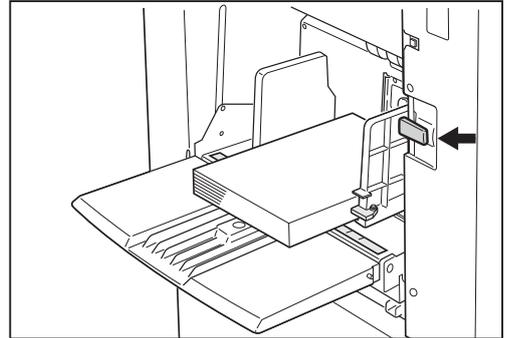
- 用紙の種類等の条件により、1500 枚積載できない場合があります。



## 厚い用紙または薄い用紙で、空送り、2枚送りが発生する場合

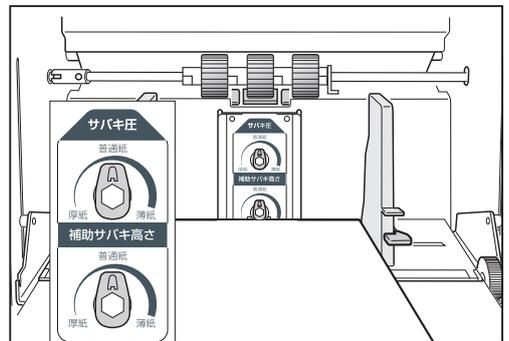
1 「給紙圧レバー」をセットする用紙厚さに合わせてください。

- ・空送りが発生する場合  
「給紙圧レバー」を上を上げて「厚紙」に合わせてください。
- ・2枚送りが発生する場合  
「給紙圧レバー」を下に下げて「薄紙」に合わせてください。



2 「サバキ圧調整つまみ」でサバキ圧を調整してください。

- ・空送りが発生する場合  
「サバキ圧調整つまみ」を「厚紙」方向に回してください。
- ・2枚送りが発生する場合  
「サバキ圧調整つまみ」を「薄紙」方向に回してください。



3 「サバキ圧調整つまみ」で調整をしても改善されないときは、「補助サバキ高さ調整つまみ」で補助サバキ高さを調整してください。

- ・空送りが発生する場合  
「補助サバキ高さ調整つまみ」を「厚紙」方向に回してください。
- ・2枚送りが発生する場合  
「補助サバキ高さ調整つまみ」を「薄紙」方向に回してください。

### 重要

- ハガキ、厚紙をプリントするときは、補助サバキ高さ調整つまみを「厚紙」方向に回してください。
- 用紙先端にキズがつくときは、補助サバキ高さ調整つまみを「厚紙」方向に回してください。

2

基本的な機能を使ってプリントする

## 用紙の補給と載せ換えのしかた

プリントの途中に用紙を補充したり、違うサイズの内紙に載せかえるときは、「給紙トレイ下降スイッチ」を押して、「給紙トレイ」を下げてから行います。

- 1 機械が停止していることを確認します。  
プリント中の場合は (Ⓢ) ストップキーを押します。
- 2 「給紙トレイ下降スイッチ」を押します。  
スイッチを押している間、給紙トレイは下降を続けます。

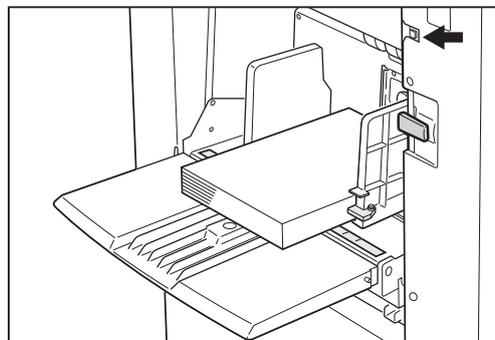
### 参考

- 用紙がなくなったときや用紙を全て取り除いたときは、給紙トレイが自動的に下がります。

- 3 「用紙のセットのしかた」の手順 2、3、4 を行います。  
(参考→P. 14 “用紙のセットのしかた”)

### 重要

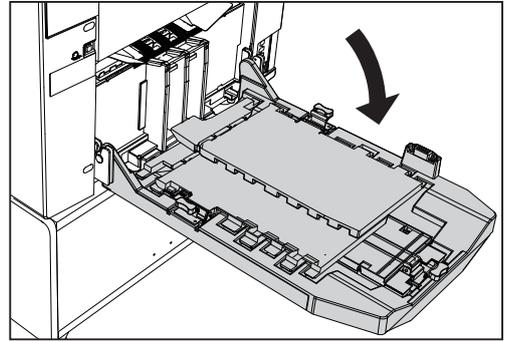
- 違うサイズの内紙に載せかえたときは、サイドフェンス、ストッパーもセットしなおしてください。
- 紙質が異なる用紙に載せかえたときは、給紙圧レバー、サバキ圧調整つまみ、補助サバキ高さ調整つまみを調整してください。



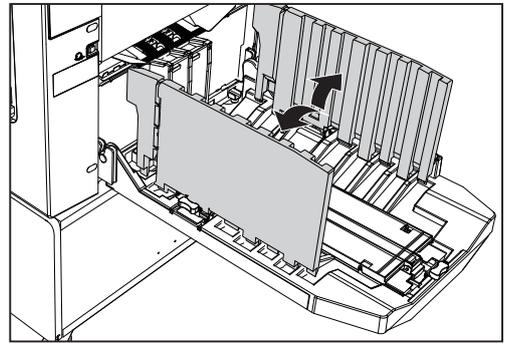
## 排紙台のセットのしかた

排紙台のセットのしかたについて説明します。

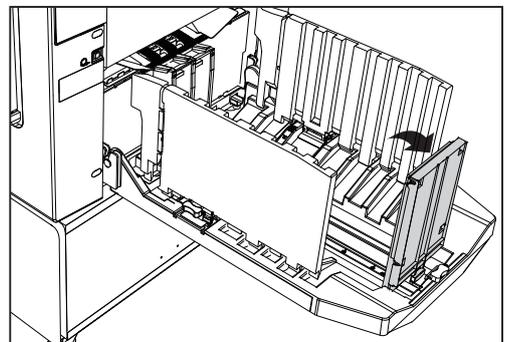
1 「排紙台」を開きます。



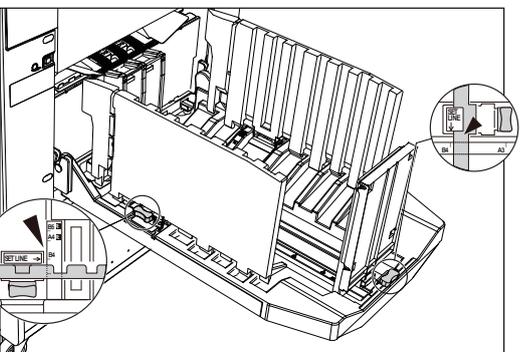
2 「サイドフェンス」を起こします。



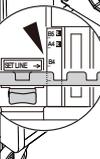
3 「ストッパー」を起こします。



4 「サイドフェンス」のつまみを持って、用紙サイズの位置に合わせます。  
「SET LINE(セットライン)」を用紙サイズに合わせます。



5 「ストッパー」のつまみを持って、用紙サイズの位置に合わせます。  
「SET LINE(セットライン)」を用紙サイズに合わせます。



2

基本的な機能を使ってプリントする

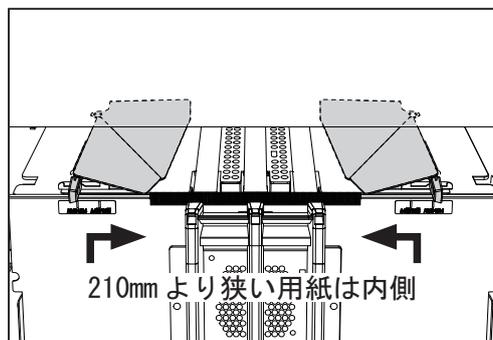
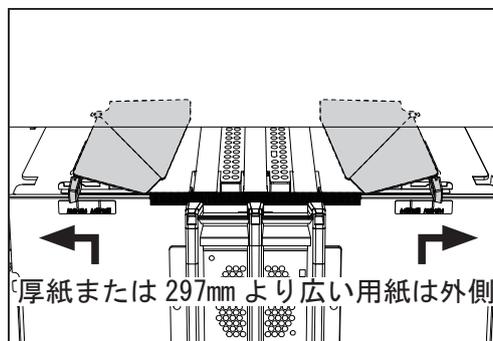
## ジャンプ台のセットのしかた

ジャンプ台のセットのしかたについて説明します。

- 1 「ジャンプ台レバー」を持って、用紙サイズの位置に合わせます。

### 参考

- 「ジャンプ台レバー」を A3/B4/A4 の位置から移動する場合は、「ジャンプ台レバー」を少し持ち上げて移動させてください。
- 非常に厚い紙を使用する場合は、「ジャンプ台レバー」を外側の位置にセットしてください。
- 用紙の幅が 297 mm より広い用紙を使用する場合は、「ジャンプ台レバー」を外側の位置にセットしてください。
- 用紙の幅が 210 mm より狭い用紙を使用する場合は、「ジャンプ台レバー」を内側の位置にセットしてください。



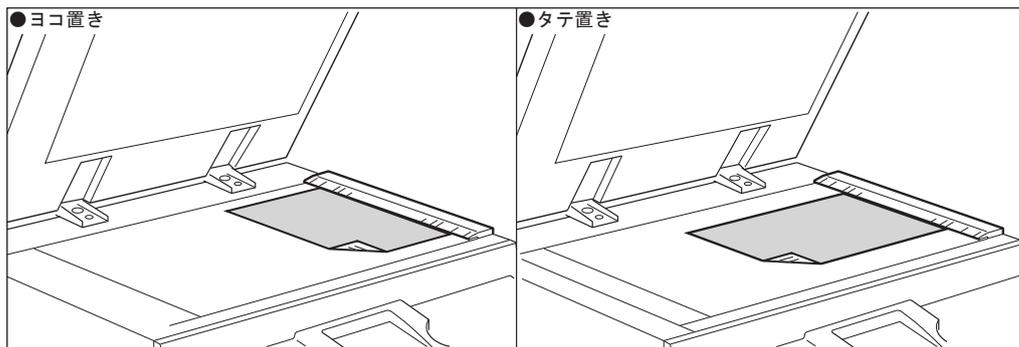
# 原稿のセットのしかた

## 原稿の置きかた

原稿の置きかたには、「ヨコ置き」と「タテ置き」の2通りがあります。

### 重要

- A4/B5/A5 サイズの原稿は、ヨコ置き、タテ置きの両方とも可能です。
- タテ置きは、A4 → A3 などの定型原稿から定型用紙への拡大 / 縮小のときにお使いください。
- A3/B4 サイズの原稿は、タテ置きのみ可能です。



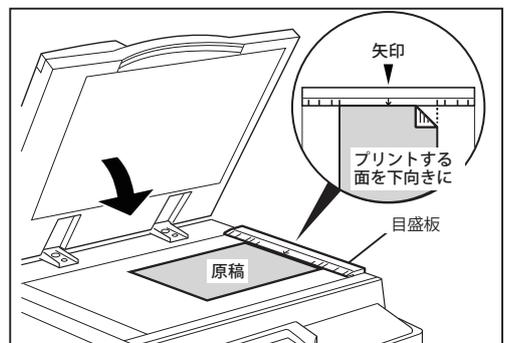
## 原稿台ガラスに原稿をセットする

- 1 「原稿押え板」を静かに開いてください。
- 2 原稿はプリントする面を下向きに、「目盛板」に合わせて置いてください。

### 参考

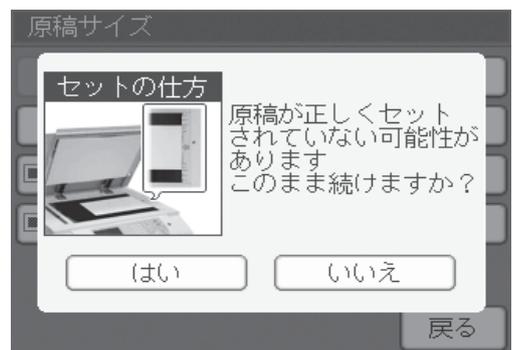
- 定型サイズ以外の原稿をセットするときは、原稿の中央を目盛板の「←」に合わせてください。

- 3 「原稿押え板」を静かに閉じてください。



### 重要

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、原稿押え板を強く押えないでください。原稿台ガラスが破損してケガをする恐れがあります。
- 原稿をセットする場合は、必ず電源を入れてから行ってください。原稿サイズを正常に検知することができません。
- 原稿が目盛板の中央からズレてセットしているとき、液晶（タッチパネル）にメッセージが表示されます。原稿を再セットしてください。



## 自動原稿送り装置 (ADF)( オプション ) に原稿をセットする

複数のシート状の原稿を続けて製版 / プリントする場合は、自動原稿送り装置 (ADF) に原稿をセットします。自動原稿送り装置 (ADF) に原稿をセットすると、原稿トレイの原稿がなくなるまで、製版とプリントを自動的に繰り返します。

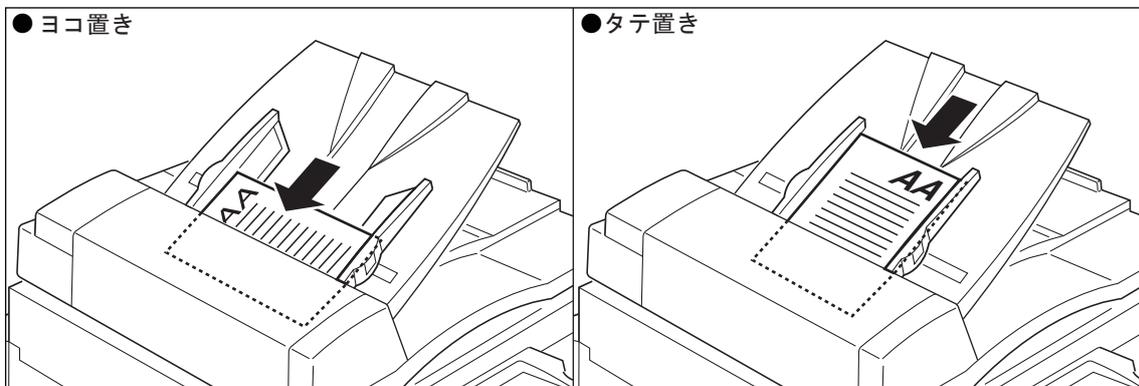
### 重要

- 自動原稿送り装置 (ADF) に原稿をセットすると、自動的に自動原稿送りモードになり、自動原稿送り装置 (ADF) にセットした原稿を優先して製版します。
- 切り貼りされた原稿は使用できません。

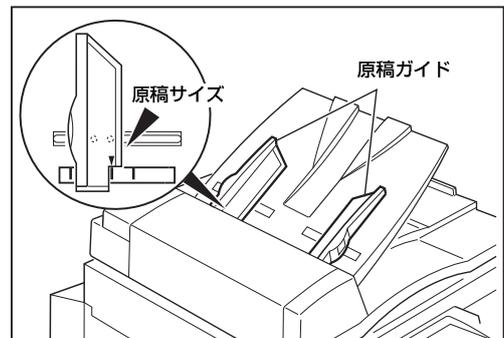
原稿の置きかたには「ヨコ置き」、「タテ置き」の2通りがあります。

### 重要

- 「A4/B5/A5 サイズ」の原稿は、ヨコ置き、タテ置きの両方とも可能です。
- タテ置きは、「A4 → A3」などの定型原稿から定型用紙への拡大 / 縮小のときにお使いください。
- 「A3/B4 サイズ」の原稿は、タテ置きのみ可能です。
- 自動原稿送り装置 (ADF) では、ブック影消し機能は使用できません。
- オートズーム設定が「ON」のときは、タテ置きで使用ください。ヨコ置きの場合、正常にオートズームされない場合があります。



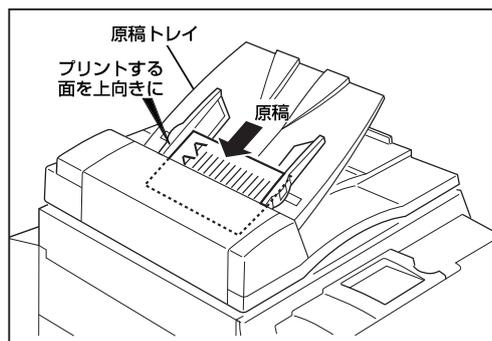
1 「原稿ガイド」を「原稿サイズ」に合わせてください。



- 2 原稿はプリントする面を上向にして、「原稿トレイ」にセットしてください。  
セットした原稿は、一番上から順番に製版されます。

### 重要

- 製版やプリント中に、セットした原稿を抜き取ったり、追加したりしないでください。



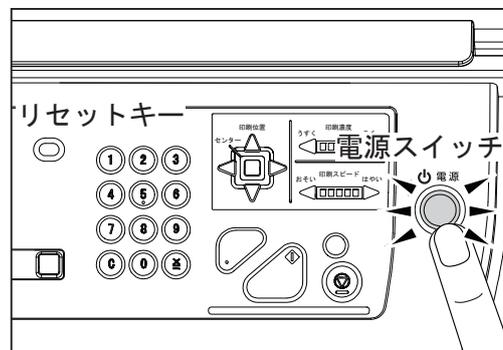
# 基本的なプリントのしかた

## 基本的な機能を使ってプリントする

- 1 パネル上の電源スイッチを押してください。  
(参考→P.8「電源の入れかた / 切りかた」)

### 参考

- すでに電源が入っているときは、  
○リセットキーを押してください。  
前に使用された方の設定が残っているとき、  
○リセットキーを押すことで「標準モード」に戻ります。



- 2 用紙をセットしてください。  
(参考→P.14「用紙のセットのしかた」)
- 3 原稿をセットしてください。  
(参考→P.19「原稿のセットのしかた」)
- 4 排紙台をセットしてください。  
(参考→P.17「排紙台のセットのしかた」)
- 5 ジャンプ台をセットしてください。  
(参考→P.18「ジャンプ台のセットのしかた」)
- 6 液晶（タッチパネル）が基本画面になっていることを確認してください。



- 7 各種機能の設定を行ってください。

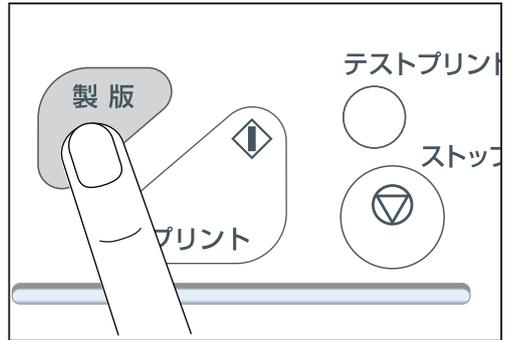
- 8  製版キーを押してください。  
製版が終わると、自動的に1枚だけプリントされます。

**重要**

- このプリントは、仕上がりを確認するために行う予備プリントです。実際の仕上げプリントに比べインクが薄いことがあります。

**参考**

-  製版キーを押す前にプリント枚数が入力されていると、その枚数分プリントされます。

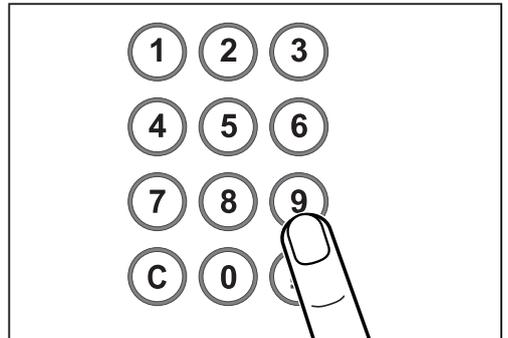


- 9 プリント位置、濃度など仕上がりに具合を確認してください。

- 10 テンキーを押して、プリントする枚数を入力してください。

**参考**

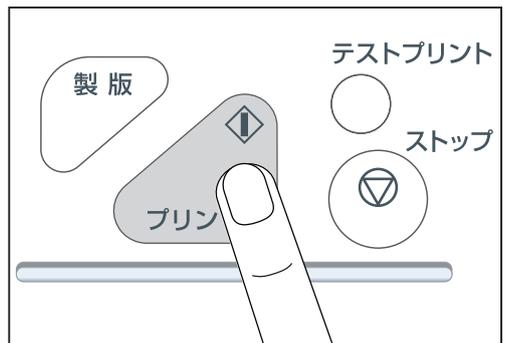
- プリント枚数は、9999枚まで設定できます。
- プリント枚数を変更するときは、クリアキーを押して入力し直してください。



- 11  プリントキーを押してください。  
プリントされるごとに、液晶（タッチパネル）の枚数が減っていきます。  
プリントされた用紙は、排紙台に排出されます。

**参考**

- 途中でプリントを止めたいときは、 ストップキーを押してください。その状態からプリントを再開するときは、 プリントキーを押してください。



- 12 複数の原稿をプリントする場合は、手順3～11を繰り返してください。

# 拡大／縮小する

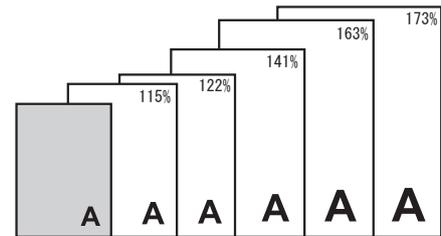
## 定型原稿から定型用紙へ拡大／縮小する

定型原稿から、定型用紙に拡大／縮小できる倍率は、次のとおりです。

### ● 拡大する

定型サイズ of 原稿を定型サイズ of 用紙へ拡大して  
プリントします。

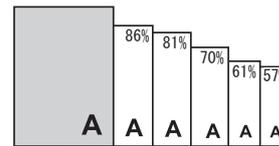
- 173% A5R → B4 (CD53DP)
- 163% B5R → A3 (CD86DP/CD66DP/CD56DP)
- 141% A4R → A3/B5R → B4/A5R → A4R/A5 → A4
- 122% A4R → B4/A5R → B5R/A5 → B5
- 115% B4 → A3/B5R → A4R/B5 → A4



### ● 縮小する

定型サイズ of 原稿を定型サイズ of 用紙へ縮小して  
プリントします。

- 86% A3 → B4 /A4R → B5R/A4 → B5
- 81% B4 → A4R/B5R → A5R/B5 → A5
- 70% A3 → A4R/B4 → B5R /A4R → A5R/A4 → A5
- 61% A3 → B5R (CD86DP/CD66DP/CD56DP)
- 57% B4 → A5R (CD53DP)



1

「倍率」をタッチします。  
倍率の一覧が表示されます。

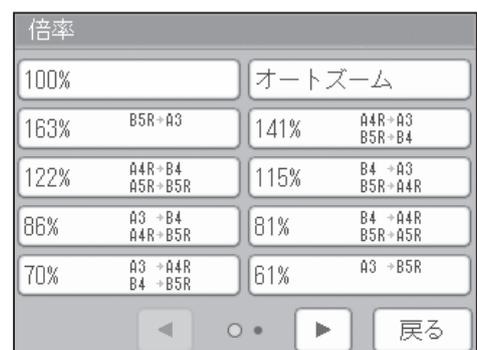


2

設定したい倍率をタッチします。  
倍率が設定され、基本画面に戻ります。

### 参考

- 100%に戻したい場合
  - ・「倍率」をタッチして 100% をタッチします。
  - ・  リセットキーを押します。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



※ CD56DP/CD53DP には、オートズーム機能は付いていません。

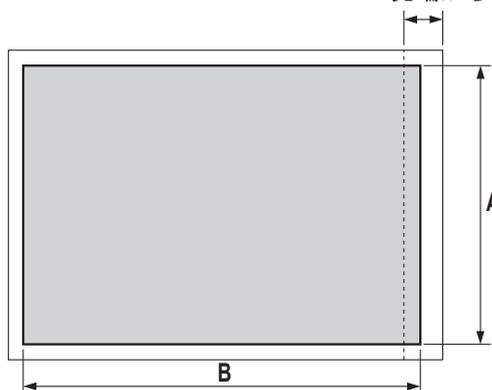
# 用紙サイズの選び方

## 用紙サイズの設定による製版範囲について

画像を読み取り、製版できる範囲は図のとおりです。

先端から約 8 mm はプリントできません。これを先端余白といいます。  
先端から約 8 mm

用紙選択	A (± 1%)	×	B (± 1%)
A3	293 mm		413 mm
A4R	206 mm		290 mm
A4	293 mm		203 mm
B4	253 mm		357 mm
A5R	206 mm		141 mm
A5	144 mm		203 mm
B5R	253 mm		175 mm
B5	178 mm		250 mm



### 重要

- 用紙サイズを設定せずに、小さいサイズの下紙にプリントすると、機械内部やプリントが汚れることがあります。
- 違うサイズの下紙を、設定したまま多面印刷すると、正しくレイアウトされません。

## 用紙サイズの設定のしかた

- 1 「用紙サイズ」をタッチします。  
用紙サイズの一覧が表示されます。



- 2 設定したい用紙サイズをタッチします。  
用紙サイズが設定され、基本画面に戻ります。



2

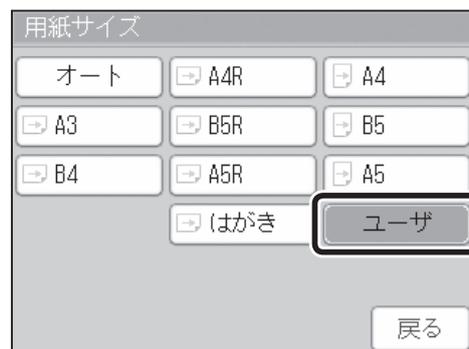
基本的な機能を使ってプリントする

## 用紙サイズのユーザ設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「用紙サイズ」をタッチします。



- 3 「ユーザ」をタッチします。



- 4 3ヶ所に保存できます。保存する場所をタッチします。

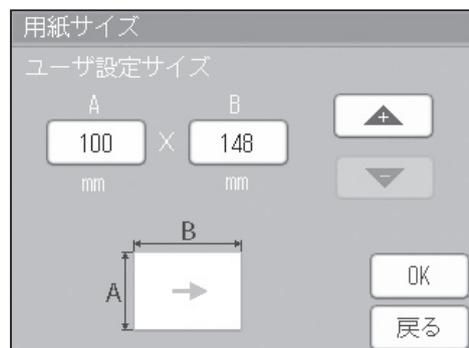


- 5 「A」、「B」の寸法を設定してください。「+」をタッチすると、数値が大きくなります。「-」をタッチすると、数値が小さくなります。数値は、テンキーからも入力できます。

### 参考

- ユーザ設定サイズの最小、最大は以下の通りです。  
 最小：100mm × 148mm  
 最大：320mm × 450mm

- 6 「OK」をタッチします。



# 印刷スピードの調整

## 印刷スピードの調整について

印刷スピードは、1速～5速(45枚/分～130枚/分)までの5段階の調整と、TOP SPEED(150枚/分)の調整ができます。電源を入れたときの設定は、標準スピードで3速(約100枚/分)です。ただし、初期設定で印刷スピードを変更しているときは、設定している印刷スピードになります。

### 参考

- 用紙の種類や、プリントする画像によっては、高速あるいは低速時に紙づまりが発生したり、紙ぞろいが悪くなることがあります。印刷スピードを「おそい」または、「はやい」に変更して、快適にプリントできるスピードに調整します。
- プリント中でも、印刷スピードを変えることができます。

## 印刷スピードの調整のしかた

- 1 「印刷スピード調整キー」を押し、スピードを調整してください。

「はやい」を押すと、印刷スピードが速くなります。

「おそい」を押すと、印刷スピードが遅くなります。



### 参考

- 3速(約100枚/分)(標準)に戻したい場合は、以下の2通りの方法があります。
  - ①印刷スピード調整キーを何回か押し、「印刷スピード表示ランプ」を中央に移動させてください。
  - ②  ストップキーを押した後、 リセットキーを押してください。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。ただし、初期設定で設定を変更している場合、設定している印刷スピードに戻ります。

## TOP SPEED の設定のしかた

1 「TOP SPEED」をタッチしてください。



2 右図注意が表示されます。  
「はい」をタッチする場合は、制限事項に応じた用紙を使用してください。  
使用する用紙が制限事項に合わない場合は、「いいえ」をタッチしてください。

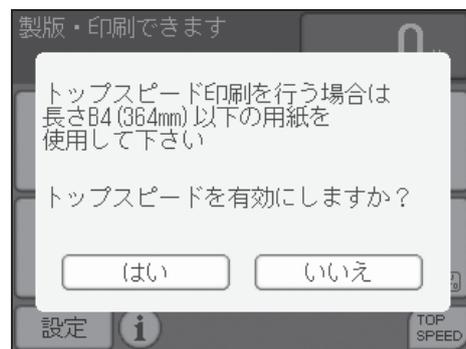
### 重要

- TOP SPEED 使用時の制限事項  
印刷用紙サイズは、B4 以下の大きさのみ対応しています。  
薄い紙は、紙受け性能が損なわれる場合があります。  
印刷位置性能が若干損なわれる場合があります。  
使用用紙によっては、しわが発生する場合があります。

### 参考

- 3 速（約 100 枚 / 分）（標準）に戻したい場合
  - ・印刷スピード調整キーを何回か押し、「印刷スピード表示ランプ」を中央に移動させてください。
  - ・ ストップキーを押した後、 リセットキーを押してください。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。  
ただし、初期設定で設定を変更している場合、設定している印刷スピードに戻ります。

3 TOP SPEED が有効になると、印刷スピード表示ランプが 5 速の位置で点滅します。



# 3

## 第 3 章

# 便利な機能を使ってプリントする

この章では、便利な機能を使ってプリントする方法について説明します。

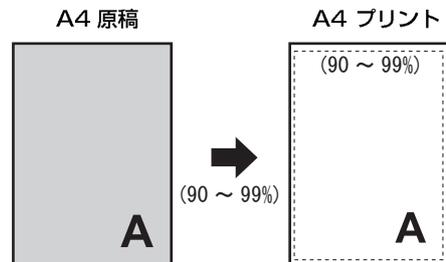
.....	
拡大 / 縮小する .....	30
拡大 / 縮小について .....	30
すこし小さめにプリントする .....	31
オートズーム .....	33
任意に拡大 / 縮小する (任意ズーム) .....	35
天地 (上下) / 左右それぞれ任意に拡大 / 縮小する (独立変倍) .....	37
濃度調整のしかた .....	39
濃度調整について .....	39
読取濃度の調整について .....	39
読取濃度の調整のしかた .....	39
製版濃度の調整について .....	40
製版濃度の調整のしかた .....	40
印刷濃度の調整について .....	41
印刷濃度の調整のしかた .....	41
写真やカラー原稿をプリントする .....	43
原稿種類について .....	43
原稿種類の設定のしかた .....	43
印刷位置を調整する .....	45
印刷位置調整について .....	45
原稿サイズ .....	47
原稿サイズについて .....	47
原稿サイズの設定のしかた .....	47
原稿サイズのユーザ設定のしかた .....	48
.....	

# 拡大 / 縮小する

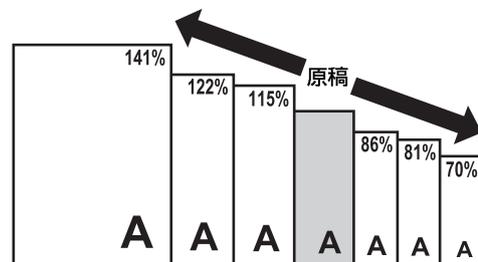
## 拡大 / 縮小について

お好みの大きさに拡大 / 縮小してプリントできます。

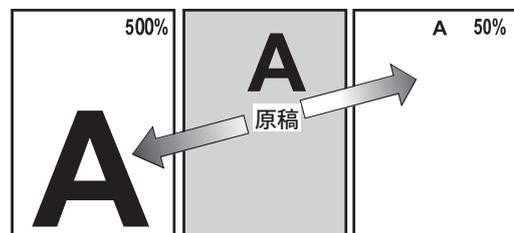
- すこし小さめにプリントする → P.31  
原稿をわずかに縮小 (90 ~ 99%) してプリントします。



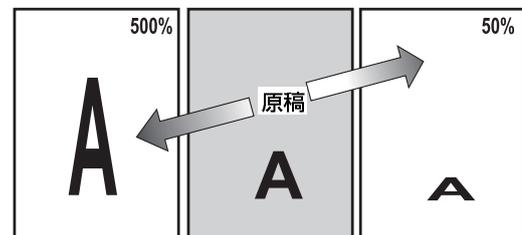
- オートズーム → P.33  
原稿のサイズと用紙のサイズから、倍率を自動設定します。  
※ CD56DP/CD53DP には、オートズーム機能は付いていません。



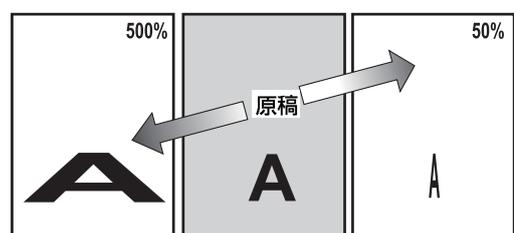
- 任意に拡大 / 縮小する (任意ズーム) → P.35  
1% きざみに任意の倍率 (50 ~ 500%) に拡大 / 縮小してプリントします。



天地 (上下) 方向の場合



左右方向の場合

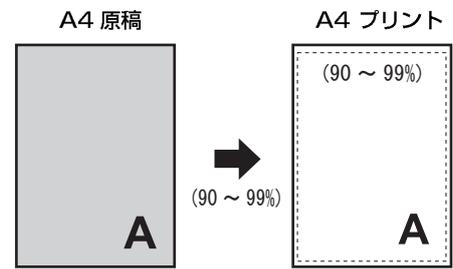


## すこし小さめにプリントする

90 ~ 99% の倍率に原稿をわずかに縮小してプリントします。印刷物にとじ代をつけたいときや、製版エリア外に文字や図がある原稿をプリントするときに使用します。

### 重要

- 「すこし小さめにプリントする」の設定は、製版する前に行ってください。

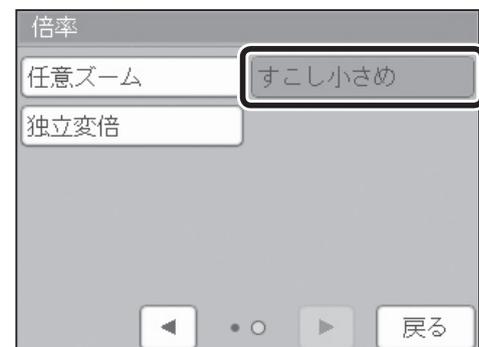
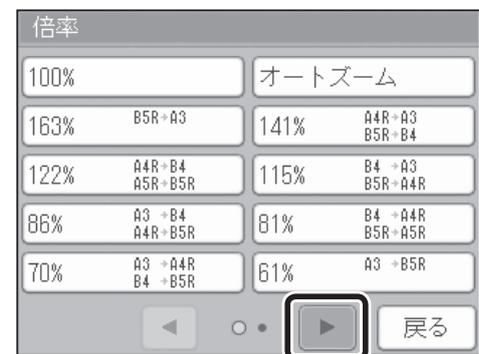


1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。

2 「倍率」をタッチします。倍率の一覧が表示されます。

3 画面下のページ切替ボタンをタッチします。

4 「すこし小さめ」をタッチします。



3

便利な機能を使ってプリントする

## 拡大 / 縮小する

- 5 「ON」をタッチし、90～99%から倍率を設定します。  
+をタッチすると、数値が大きくなります。  
-をタッチすると、「数値が小さくなります」。  
数値は、テンキーからも入力できます。

- 6 「OK」をタッチします。  
倍率が設定され、基本画面に戻ります。



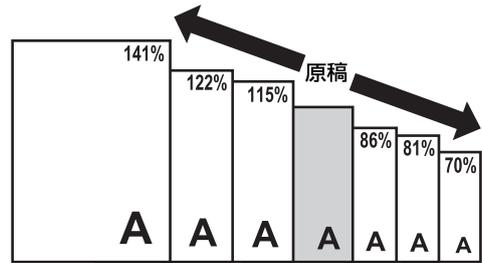
### 参考

- 100%に戻したい場合
  - ・再度「すこし小さめ」をタッチして「OFF」をタッチし「OK」をタッチします。
  - ・ リセットキーを押します。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

# オートズーム

原稿と用紙を置くだけで、用紙に最適な原稿倍率に自動変更し、製版・プリントします。  
 オートズームの倍率は、あらかじめ決められた倍率 (50% ~ 500%) から自動的に設定します。

- 200% A5R → A3
- 173% A5R → B4
- 163% B5R → A3
- 141% A4R → A3 / B5R → B4 / A5R → A4R / A5 → A4
- 122% A4R → B4 / A5R → B5R / A5 → B5
- 115% B4 → A3 / B5R → A4R / B5 → A4
- 86% A3 → B4 / A4R → B5R / A4 → B5
- 81% B4 → A4R / B5R → A5R / B5 → A5
- 70% A3 → A4R / B4 → B5R / A4R → A5R / A4 → A5
- 61% A3 → B5R
- 57% B4 → A5R
- 50% A3 → A5R



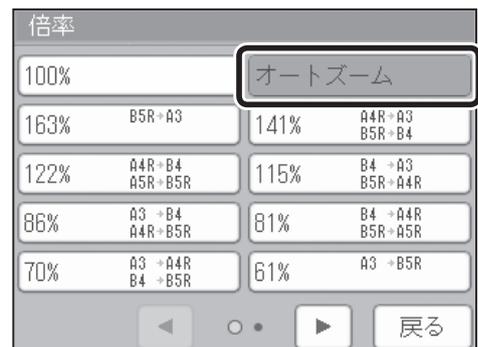
## 重要

- オートズームの設定は、製版する前に行ってください。
- オートズームを設定しているときは、原稿サイズ設定を OFF にすることはできません。
- CD56DP/CD53DP をお使いの方は、使用する用紙のサイズと原稿のサイズを必ず設定してください。間違った用紙サイズ、もしくは原稿サイズを設定していると、正しい倍率が得られません。

# 3

便利な機能を使ってプリントする

- 1 基本的なプリントのしかたの手順 1 ~ 6 を行ってください。  
(参考→ P. 22 「基本的なプリントのしかた」)
- 2 「倍率」をタッチします。  
倍率の一覧が表示されます。
- 3 「オートズーム」をタッチします。
- 4 「オートズーム」が設定され、基本画面に戻ります。



次ページへ続く...

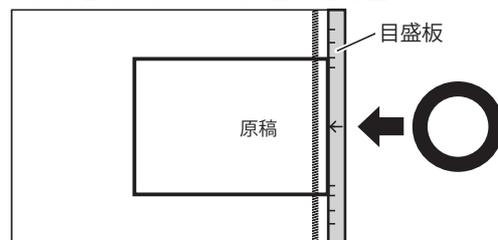
## 拡大 / 縮小する

- 5 用紙をセットしてください。  
(参考→P.14「用紙のセットのしかた」)

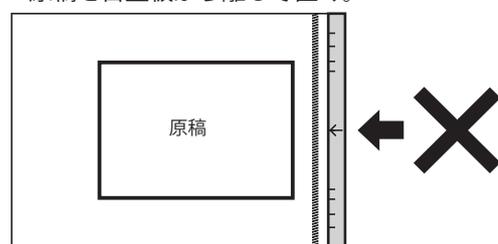
### 重要

- CD56DP/CD53DP をお使いの方は
  - ・使用する印刷用紙のサイズと原稿のサイズを、必ず設定してください。  
間違った用紙サイズ、もしくは原稿サイズを設定していると、正しい倍率が得られません。
  - ・原稿を図のように置くと、正しい倍率にならない場合があります。

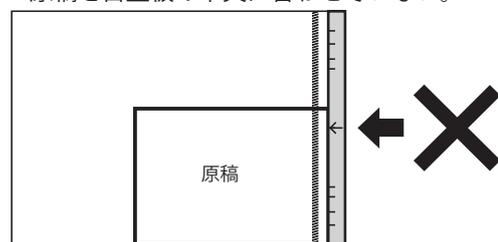
- ・原稿を目盛板の中央に合わせて置く。



- ・原稿を目盛板から離して置く。



- ・原稿を目盛板の中央に合わせていない。



### 参考

- 100%に戻したい場合
  - ・「倍率」をタッチして「100%」をタッチします。
  - ・<sup>リセット</sup>リセットキーを押します。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

- 6 「製版・プリント」をしてください。

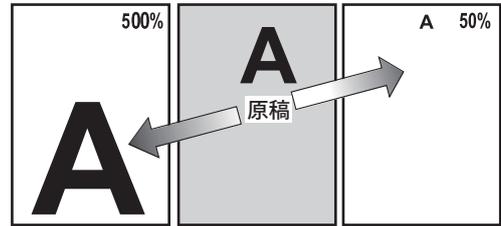
※ CD56DP/CD53DP には、オートズーム機能は付いていません。

## 任意に拡大 / 縮小する (任意ズーム)

倍率を 50 ~ 500% まで、1% きざみで任意に設定できます。

### 重要

- 任意ズームの設定は、製版する前に行ってください。

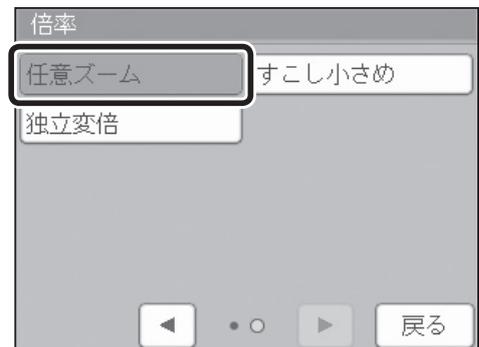
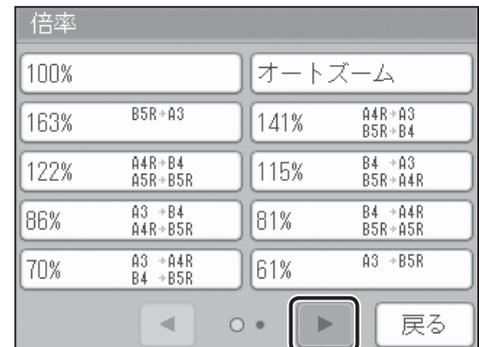
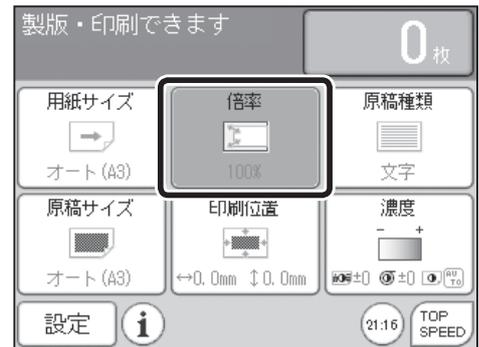


- 1 液晶 (タッチパネル) が、基本画面になっていることを確認します。

- 2 「倍率」をタッチしてください。  
倍率の一覧が表示されます。

- 3 画面下のページ切替ボタンをタッチします。

- 4 「任意ズーム」をタッチします。



3

便利な機能を使ってプリントする

次ページへ続く...

## 拡大 / 縮小する

- 5 50 ~ 500% から倍率を設定します。  
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
数値は、テンキーからも入力できます。

- 6 「OK」をタッチします。  
倍率が設定され、基本画面に戻ります。



### 参考

- 100% に戻したい場合
    - ・ 「倍率」をタッチして「100%」をタッチします。
    - ・  リセットキーを押します。
- この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

### 重要

- 大きな倍率で製版すると、文字や線がギザギザになることがあります。

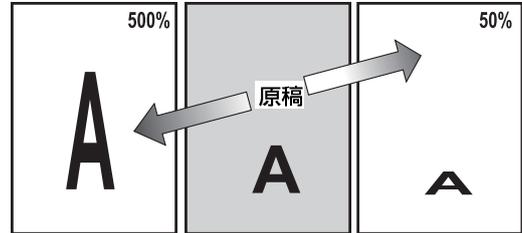
## 天地（上下） / 左右それぞれ任意に拡大 / 縮小する（独立変倍）

天地（上下）、左右それぞれの倍率を、50～500%まで1%きざみで任意に設定できます。

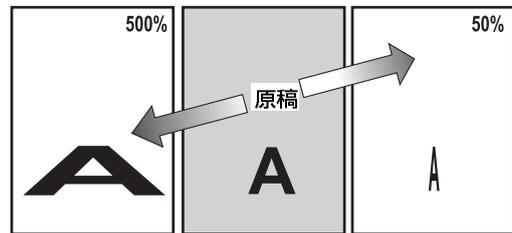
### 重要

- 独立変倍の設定は、製版する前に行ってください。

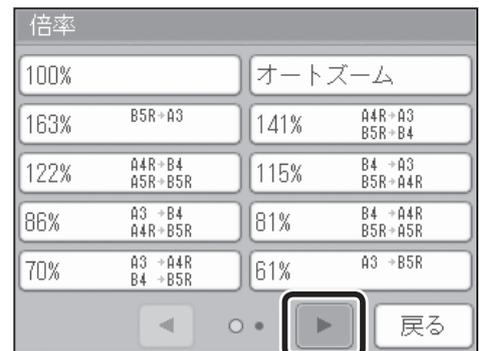
天地（上下）方向の場合



左右方向の場合

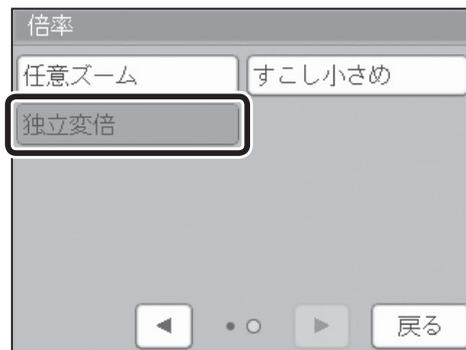


- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「倍率」をタッチします。  
倍率の一覧が表示されます。
- 3 画面下のページ切替ボタンをタッチします。



## 拡大 / 縮小する

4 「独立変倍」をタッチします。



5 50 ~ 500% から A(左右)、B(天地(上下))の倍率を設定します。

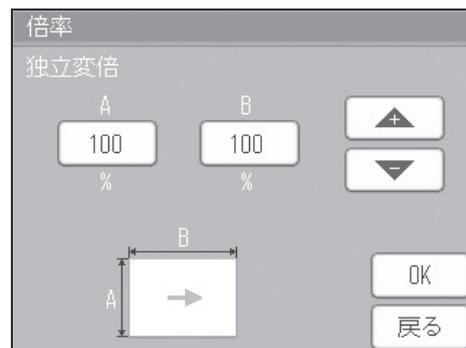
「A」を選択し、「+」「-」で数値を設定します。

「B」も同じ手順で数値を設定します。

「+」をタッチすると、数値が大きくなります。

「-」をタッチすると、数値が小さくなります。

数値は、テンキーからも入力できます。



6 「OK」をタッチします。

倍率が設定され、基本画面に戻ります。

### 参考

- 100%に戻したい場合
    - ・「倍率」をタッチして「100%」をタッチします。
    - ・  リセットキーを押します。
- この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

### 重要

- 大きな倍率で製版すると、文字や線がギザギザになることがあります。

# 濃度調整のしかた

## 濃度調整について

製版したあと、プリントが薄いときは印刷濃度を調整します。印刷濃度を調整しても対処できなかったときは、製版濃度を調整し、製版をやり直してください。

### 重要

- 印刷濃度を変更したときは、そのままプリントできます。
- 製版濃度を変更したときは、製版から行ってください。
- 読取濃度を変更したときは、製版から行ってください。

## 読取濃度の調整について

スキャナ読取りの濃さを、5段階で調整できます。  
原稿の細線などがプリントされないときは、調整を行ってください。  
原稿の色が薄いときは、「こく」に調整します。  
原稿の色が濃いときは、「うすく」に調整します。

### 重要

- 読取濃度の設定は、製版する前に行ってください。
- 読取濃度を調整しても、細線がプリントされない場合があります。

## 読取濃度の調整のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「濃度」をタッチします。
- 3 原稿の色が薄いときは、「こく」をタッチします。  
原稿の色が濃いときは、「うすく」をタッチします。
- 4 「OK」をタッチします。  
手順2で調整した濃度が設定されます。

### 参考

- 標準に戻したい場合
  - ・再度「濃度」をタッチして「±0」に調整して「OK」をタッチします。
  - ・ リセットキーを押します。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



## 製版濃度の調整について

製版の濃さを5段階で調整できます。  
原稿の色が薄いときは、「こく」に調整します。  
原稿の色が濃いときは、「うすく」に調整します。

### 重要

- 製版濃度の設定は、製版する前に行ってください。

## 製版濃度の調整のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「濃度」をタッチします。
- 3 原稿の色が薄いときは、「こく」をタッチします。  
原稿の色が濃いときは、「うすく」をタッチします。
- 4 「OK」をタッチします。  
手順2で調整した濃度が設定されます。

### 参考

- 標準に戻したい場合
  - ・再度「濃度」をタッチして「±0」に調整して「OK」をタッチします。
  - ・リセットキーを押します。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



## 印刷濃度の調整について

プリントの濃さを5段階で調整できます。

濃く（インクの転写量を多く）したいときは、「こく」に調整します。

薄く（インクの転写量を少なく）したいときは、「うすく」に調整します。

## 印刷濃度の調整のしかた

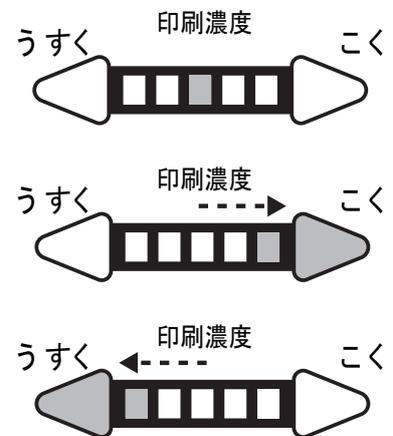
2通りの調整方法があります。

●操作パネルの印刷濃度調整キーから調整する場合

1 印刷濃度調整キーを押し、印刷濃度を調整してください。

「こく」を押すと、濃度が濃くなります。

「うすく」を押すと、濃度が薄くなります。



### 参考

●標準に戻したい場合

- ・印刷濃度調整キーを何回か押し、「印刷濃度表示ランプ」を中央に移動させてください。
- ・リセット リセットキーを押してください。

この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

ただし、初期設定で設定を変更している場合、設定している印刷濃度に戻ります。

## 濃度調整のしかた

### ● 液晶（タッチパネル）から調整する場合

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「濃度」をタッチします。
- 3 「マニュアル」をタッチします。



- 4 原稿の色が薄いときは、「こく」をタッチします。  
原稿の色が濃いときは、「うすく」をタッチします。  
オートを設定しておくで、印刷スピードに合わせて自動的に印刷濃度を調整します。

#### 重要

- オートに設定していても、印刷濃度調整キーで印刷濃度を変更すると、マニュアル設定に切り替わります。



- 5 「OK」をタッチします。  
手順3で調整した濃度が設定されます。

#### 参考

- 標準に戻したい場合
  - ・再度「濃度」をタッチして「±0」に調整し「OK」をタッチします。
  - ・ リセットキーを押します。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

# 写真やカラー原稿をプリントする

## 原稿種類について

●本機には、文字原稿や写真原稿をきれいに印刷するために、7つのモードがあります。

文字	: 文字原稿を、きれいにプリントします。
文字多め / 写真少なめ	: 文字と写真が混在した原稿を、きれいにプリントします。特に文字が多く、写真が少ない原稿を、プリントするのに適しています。
写真多め / 文字少なめ	: 文字と写真が混在した原稿を、きれいにプリントします。特に写真が多く、文字が少ない原稿をプリントするのに適しています。
写真	: 写真の微妙な濃淡や、カラー原稿の画像をきれいにプリントします。
えんぴつ	: 鉛筆などで書かれた薄い原稿を、きれいにプリントします。
網点 (粗い)	: 網点処理されていない写真原稿などに、粗い網点をかけます。 写真原稿などに網点をかけて、より鮮明なプリントができます。
網点 (細かい)	: 網点処理されていない写真原稿などに、細かい網点をかけます。 写真原稿などに網点をかけて、より鮮明なプリントができます。

### 重要

●これらの設定は、製版する前に行ってください。

## 原稿種類の設定のしかた

- 1 液晶 (タッチパネル) が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「原稿種類」をタッチします。  
原稿種類の一覧が表示されます。



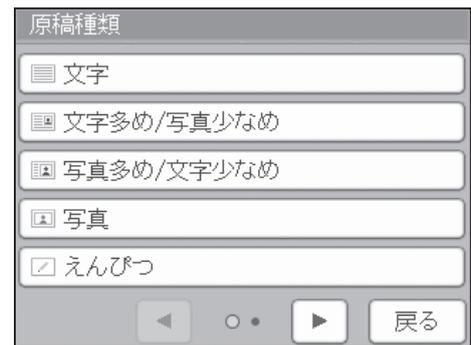
## 写真やカラー原稿をプリントする

- 3 「文字、文字多め / 写真少なめ、写真多め / 文字少なめ、写真、えんぴつ、網点（粗い）、網点（細かい）」のいずれかをタッチします。  
原稿種類が設定され、基本画面に戻ります。

### 参考

- 「網点（粗い）、網点（細かい）」に設定する場合は、画面下のページ切替ボタンをタッチします。

「網点（粗い）、網点（細かい）」のいずれかをタッチします。  
原稿種類が設定され、基本画面に戻ります。



# 印刷位置を調整する

## 印刷位置調整について

製版が終わった後、プリントする画像の位置、「天地（上下）方向 ↔15mm、左右方向 ↓10mm」を、微調整できます。

CD86DP/CD66DP は、印刷位置調整を印刷位置調整キーで行います。

CD56DP/CD53DP は、印刷位置調整「天地（上下）方向」のみ印刷位置調整キーで行います。  
（参考→ P. 46 “● CD56DP/CD53DP で印刷位置（左右）を調整する。”）

### 重要

- 通常プリント中は、調整できません。Ⓢ ストップキーを押して、動作を止めてから位置調整を行ってください。
- プリント中の印刷位置調整を「する」に設定しているときは、プリント中でも調整できますが、「天地（上下）方向 ↔30 段階、左右方向 ↓20 段階」の調整範囲になります。  
（参考→ P. 160 「環境機能 プリント中の印刷位置調整」）
- 短冊用紙を「ON」に設定しているときは、印刷位置は ↓0.0 mm の位置で使用してください。  
（参考→ P. 116 「特殊機能 短冊用紙」）

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。



- 2 印刷位置調整キーを押します。

### 参考

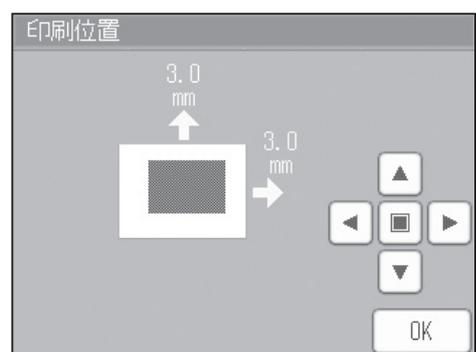
- 液晶（タッチパネル）の「印刷位置」をタッチしても、印刷位置調整画面が表示されます。



- 3 印刷位置調整画面が表示されます。  
1 回押すごとに、0.5mm ずつ移動します。

### 参考

- 画面上にも調整キーが表示されます。  
タッチすれば、印刷位置調整キーと同様に調整が可能です。  
約 5 秒間キーをタッチしなければ、設定され基本画面に戻ります。
- 標準に戻したい場合
  - ・印刷位置調整キーの「センター」を押します。
  - ・<sup>リセット</sup>リセットキーを押します。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



次ページへ続く…

## 印刷位置を調整する

### ● CD56DP/CD53DP で印刷位置 (左右) を調整する。

給紙トレイ右側にある、給紙横微動ダイヤルを回してください。

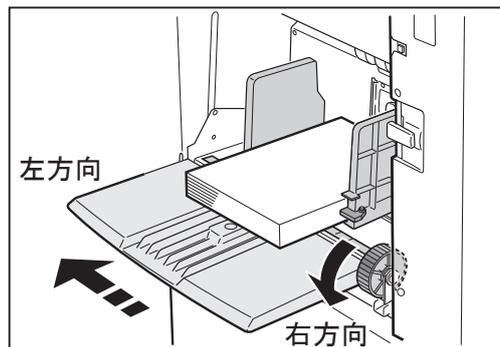
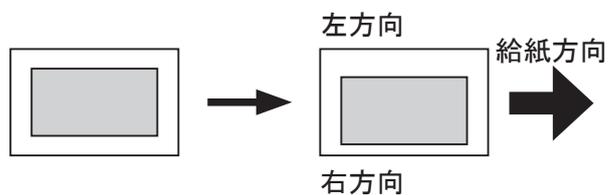
#### 重要

- 目盛りを見ながら、センターからどのくらい移動したかを確認してください。
- 印刷位置を調整したときは、プリント終了後に必ずセンターに戻してください。

ダイヤルを手前に回すと、給紙トレイが左へ移動します。

#### 参考

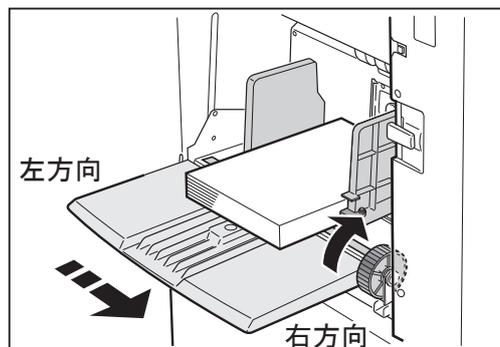
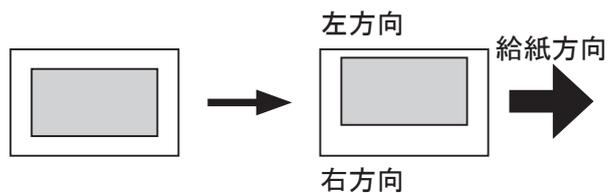
- 印刷位置が用紙の右方向に移動します。



ダイヤルを奥に回すと給紙トレイが右へ移動します。

#### 参考

- 印刷位置が用紙の左方向に移動します。



# 原稿サイズ

## 原稿サイズについて

プリントする原稿サイズを設定します。

### 参考

以下の原稿を使用する場合は原稿サイズを設定してください。

- 自動原稿送り装置 (ADF) に原稿をヨコ置きした場合。
- 不定型の用紙を原稿に用いた場合。
- 原稿サイズを正しく読めない場合。
- 設定された用紙サイズよりも、使用される原稿サイズが小さい場合は、原稿サイズの大きさを優先されます。用紙サイズを優先させたい場合は、原稿サイズを OFF にしてください。

## 原稿サイズの設定のしかた

1 液晶 (タッチパネル) が、基本画面になっていることを確認します。

2 「原稿サイズ」をタッチします。

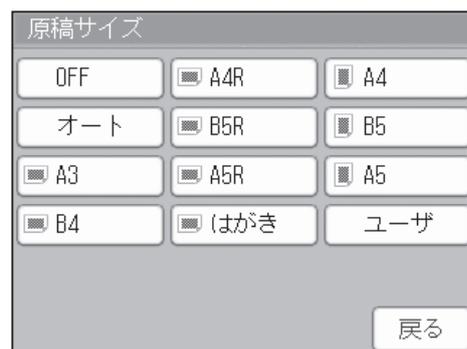
3 使用する原稿サイズをタッチします。

### 参考

- CD86DP/CD66DP は「オート」に設定すると、自動的に原稿サイズが設定されます。

※ CD56DP/CD53DP にはオート機能はついていません。

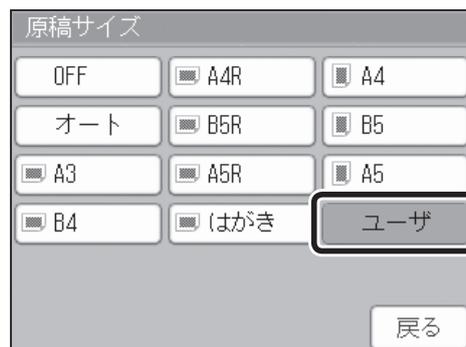
4 原稿サイズが設定されます。



次ページへ続く...

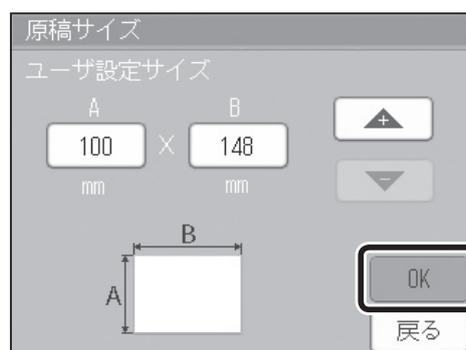
## 原稿サイズのユーザ設定のしかた

1 「原稿サイズ」をタッチします。



2 「ユーザ」をタッチします。

3 「A」、「B」の寸法を設定してください。  
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
数値はテンキーからも入力できます。



4 「OK」をタッチします。

● 「ブック影消し」を設定している場合

5 ブック方向をタッチします。



# 第 4 章 その他の機能

この章では、いろいろな機能を説明します。

## 編集機能

プレビュー	50
多面印刷	54
ブック影消し	68
90° 回転	73
180° 回転	75
原稿編集	77
再製版機能	98

## 特殊機能

メモリ機能設定	100
用紙の種類	112
重送検知	114
短冊用紙	116
省インクモード	118
インク補給	120
機密保持	122
原稿濃度読取	124
インターバルプリント	126
区分け / 原稿別プリントをする	128
原稿セットミス検知	133
トップブローファン	135

## 周辺機能

オンラインモード	137
----------	-----

## 環境機能

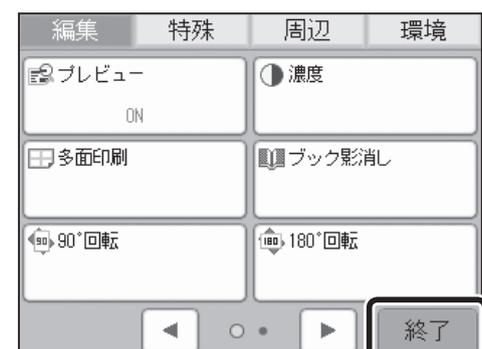
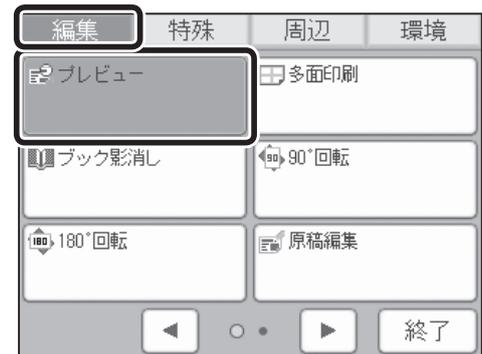
初期設定	139
ショートカット設定	142
省エネモード	144
オートパワーオフ	146
オートリセット	148
ファインスタート	150
最適プリント	152
プレプリント	154
リピートカウンタ	156
仕上がり確認	158
プリント中の印刷位置調整	160
液晶の明るさ	162
日付時刻	164
ブザー設定	166
言語設定	168
情報	170

# 編集機能 プレビュー

## プリントを行う原稿を確認する

製版を行う前に、液晶（タッチパネル）に印刷イメージを表示して確認することができます。たとえば、拡大／縮小を行った場合に、プリントが用紙サイズに収まるか確認をする場合などに便利です。

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「編集」をタッチします。
- 4 「プレビュー」をタッチします。
- 5 「ON」をタッチします。
- 6 「終了」をタッチします。



### 参考

- プレビューの設定をすると、基本画面下にプレビューのアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、プレビュー設定画面が表示され、設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。

- 7 原稿をセットし、 製版キーを押します。

### 参考

- 原稿台ガラスに原稿が置かれていない場合、「原稿台ガラスに原稿が置かれていない可能性があります。このまま続けますか？」と表示されます。「いいえ」をタッチし、原稿をセットしてから再度  製版キーを押してください。(参考→P. 19「原稿のセットのしかた」)

- 8 原稿を読み取り、液晶（タッチパネル）に読取ったデータを表示します。

### 重要

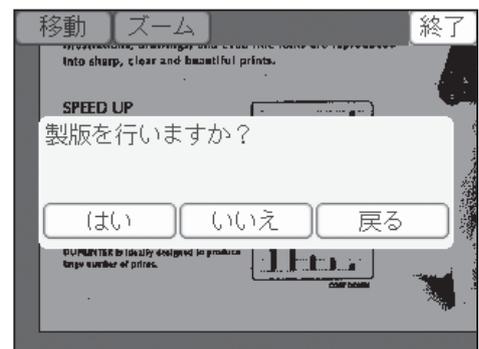
- 表示されるデータは、用紙サイズに収まるように、処理されたものになります。

### 参考

- ズーム機能を使用する場合。(参考→P. 52「●ズーム機能を使う」)
- 移動機能を使用する場合。(参考→P. 53「●移動機能を使う」)

- 9  製版キーを押すか、「終了」をタッチします。

- 10 「はい」をタッチすると、製版が開始します。  
「いいえ」をタッチすると、基本画面に戻ります。  
「戻る」をタッチすると、プレビュー画面に戻ります。



●ズーム機能を使う

原稿の一部をペンタッチすることにより拡大表示できます。

ズーム1 < ズーム2 < ズーム3 < ズーム4

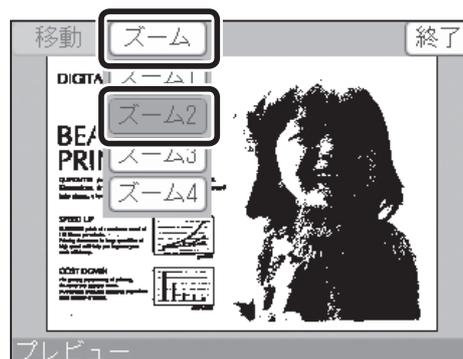
ズーム1 操作パネル上に原稿全体を表示します。

ズーム2 タッチされた周辺エリアを、ズーム1に対して2倍に拡大表示します。

ズーム3 タッチされた周辺エリアを、ズーム1に対して4倍に拡大表示します。

ズーム4 タッチされた周辺エリアを、ズーム1に対して8倍に拡大表示します。

- 1 「ズーム」をタッチします。  
「ズーム1」/「ズーム2」/「ズーム3」/「ズーム4」のいずれかをタッチします。  
ここでは「ズーム2」をタッチしたとして説明します。

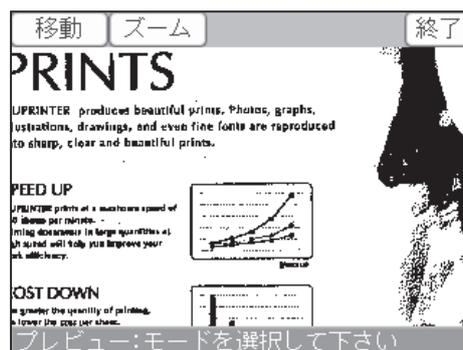


- 2 拡大したいエリアの中心をタッチしてください。  
エリアが拡大されます。

もし「ズーム1」/「ズーム3」/「ズーム4」に変更したい場合は、「ズーム」をタッチし変更してください。

**参考**

- ズーム機能で拡大した原稿周辺を確認する際は、「移動」をタッチ後、画面上をタッチしながら原稿の見たいところへ移動してください。ただし、「ズーム1」を選択している場合は、移動できません。



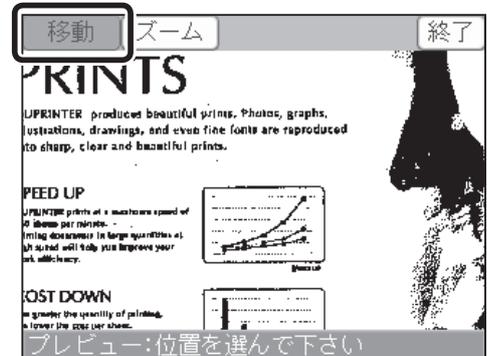
## ●移動機能を使う

ズーム機能で拡大した原稿周辺を確認する場合、画面上をタッチしながら、原稿の見たいところへ移動できます。

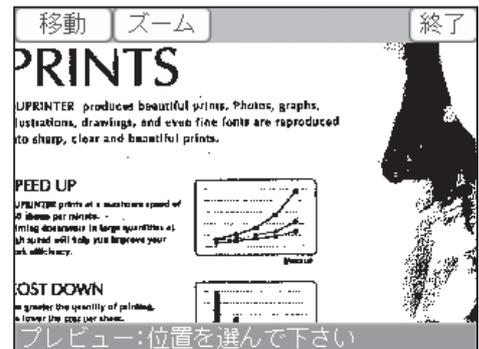
- 1 「移動」をタッチします。

## 参考

- 「ズーム2」/「ズーム3」/「ズーム4」を選択しているときのみ移動できます。



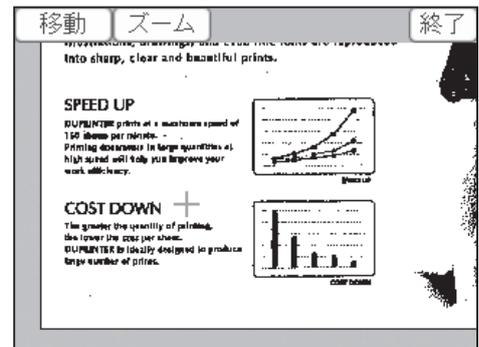
- 2 画面上をタッチしたまま見たいところへ移動します。



- 3 見たいところが表示されたら離します。

## 参考

- 移動機能を終了したい場合は再度、「移動」をタッチするか他の機能をタッチしてください。



## 4

その他の機能

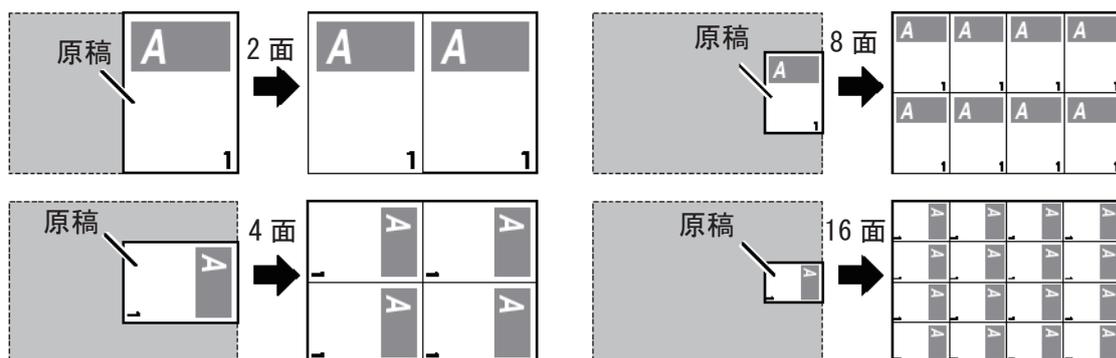
# 編集機能 多面印刷

## 1枚の用紙に複数プリントする

1枚の用紙に、同じ原稿を複数プリントしたり、2枚の原稿を1枚の用紙にプリントしたりできます。

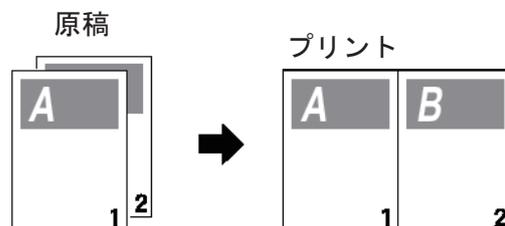
### ●多面印刷(2面取り/4面取り/8面取り/16面取り)

1枚の用紙に、同じ原稿を複数プリントします。



### ●2in1

2枚の原稿を1枚の用紙に、プリントできます。



### ●任意面取り

不定型な原稿を面取りできます。

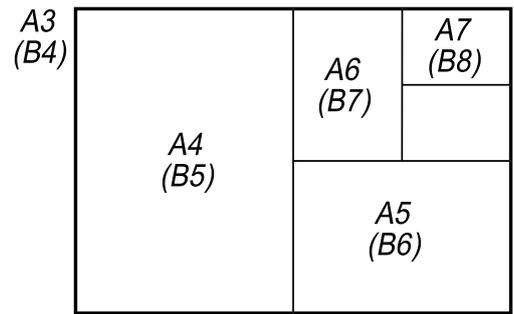
### ●切取線

原稿間に切取線を入れることができます。  
プリント後のカットが、容易にできます。

### 重要

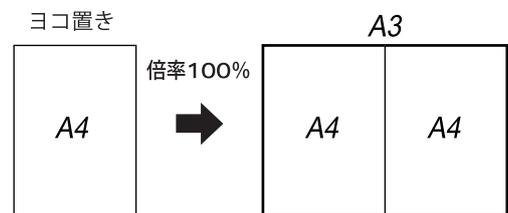
●通常の製版より製版時間が長くなります。

- ・多面印刷 (2面取り / 4面取り / 8面取り / 16面取り)  
1枚の用紙に、同じ原稿を複数 (2面、4面、8面、16面) プリントできます。  
縮小拡大するときは、右図を参考に設定をしてください。

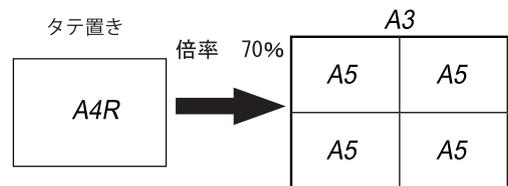


**参考**

- 倍率と原稿の置き方
  - ・A4の原稿をA3に「2面プリント」するとき



- ・A4の原稿をA3に「4面プリント」するとき

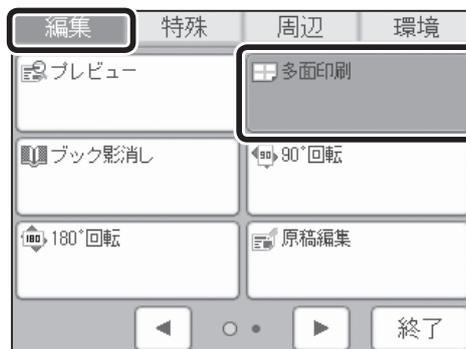


## 多面印刷の設定のしかた（2面取り / 4面取り / 8面取り / 16面取り）

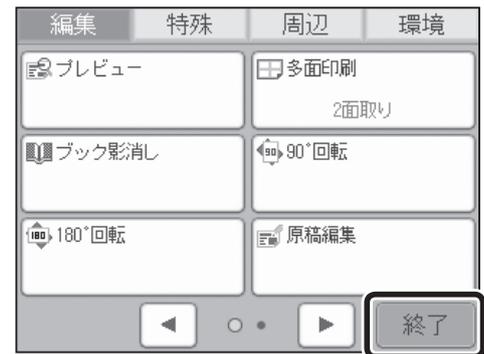
- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「編集」をタッチします。
- 4 「多面印刷」をタッチします。  
多面印刷の一覧が、表示されます。
- 5 「2面取り / 4面取り / 8面取り / 16面取り」の設定したい項目をタッチします。  
ここでは「2面取り」に設定したものと説明します。  
「2面取り」を、タッチしてください。

### 参考

- 多面印刷を OFF（標準）にする場合
  - ・「多面印刷」をタッチし「OFF」をタッチします。
  - ・ リセットキーを押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



6 「終了」をタッチします。



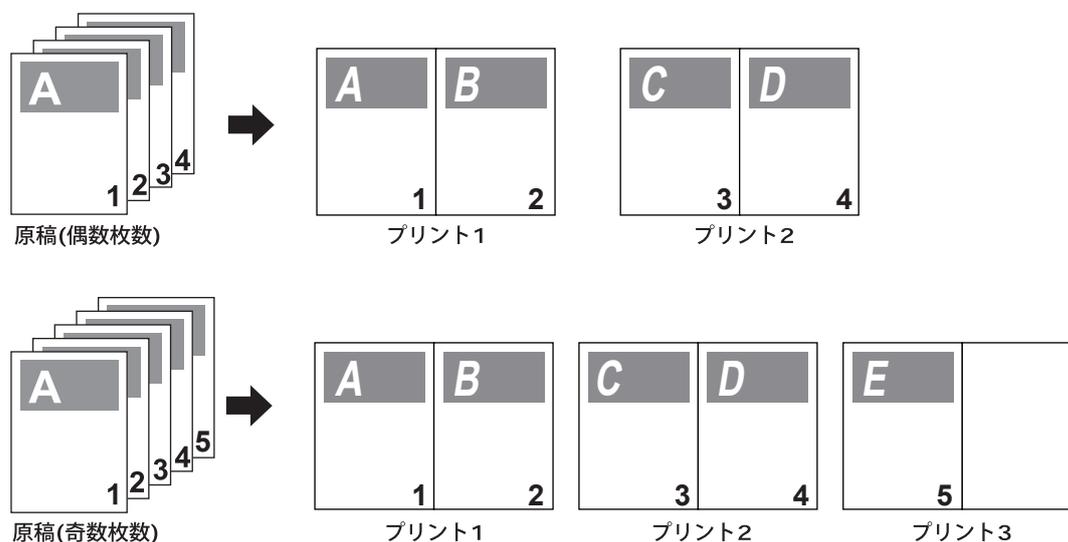
### 参考

- 多面印刷の設定をすると、基本画面下に多面印刷のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、多面印刷設定画面が表示され、設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。

## 2in1 について

2枚のsmallサイズ原稿を、1枚の用紙にプリントでき、袋とじプリントが簡単にできます。このモードを「2in1 レイアウトモード」といいます。

「2in1 レイアウトモード」を使うと、次のようにレイアウトされます。

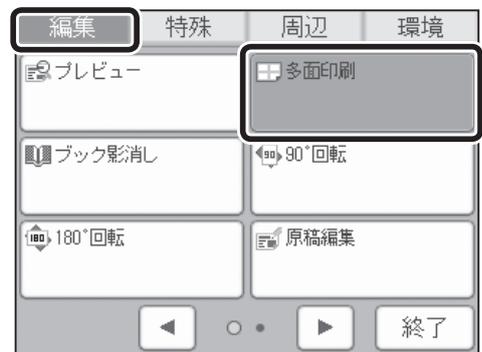


## 重要

- 「2in1」の設定は、製版する前に行ってください。
- 等倍でプリントするときは、原稿2枚分の大きさの用紙を、使用してください。
- 原稿を2枚ならべて、拡大/縮小すると、ちょうど印刷用紙のサイズになるように、倍率を設定してください。
- 「2in1 レイアウトモード」を使用するときは次のことに注意してください。
  - ・ 原稿2枚が入る用紙サイズと、倍率が設定されていること。
  - ・ 定型外原稿を使用すると、正常にレイアウトされないことがあります。

## 2in1 の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「編集」をタッチします。
- 4 「多面印刷」をタッチします。  
多面印刷の一覧が表示されます。
- 5 画面下のページ切替ボタンをタッチします。



- 6 「2in1」をタッチします。

### 参考

- 2in1 を OFF（標準）にする場合
  - ・「多面印刷」をタッチし「OFF」をタッチします。
  - ・<sup>リセット</sup>リセットキーを押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

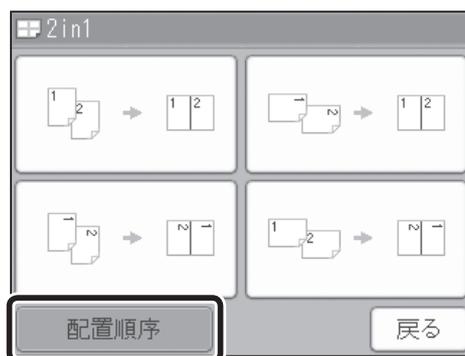


4

その他の機能

次ページへ続く…

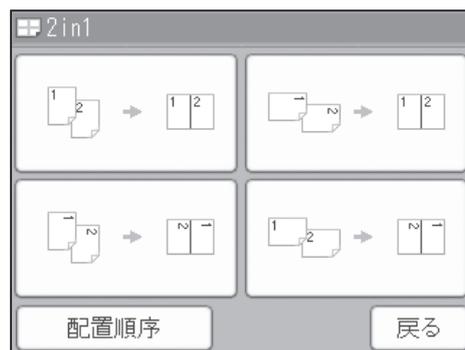
7 「配置順序」をタッチします。



8 原稿の配置を選択してタッチします。



9 原稿の方向、とじ方向、2in1 方向を選択してタッチします。



10 原稿セット方向が表示されます。表示された方向に原稿をセットしてください。「OK」をタッチします。



11 「終了」をタッチします。

### 参考

- 2in1 の設定をすると、基本画面下に 2in1 のアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、2in1 設定画面が表示され、設定を変更することができます。  
ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。

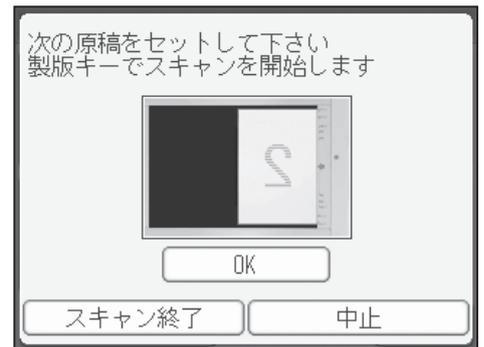


12 製版キーを押してください。

1 枚目の原稿がスキャンされ、終了すると液晶（タッチパネル）にメッセージが表示されます。

### 参考

- 1 枚目の原稿読取終了後、次のメッセージが表示されます。  
「スキャン終了」 1 枚目の原稿で 2in1 処理を行います。  
「中止」 1 枚目の原稿を破棄します。



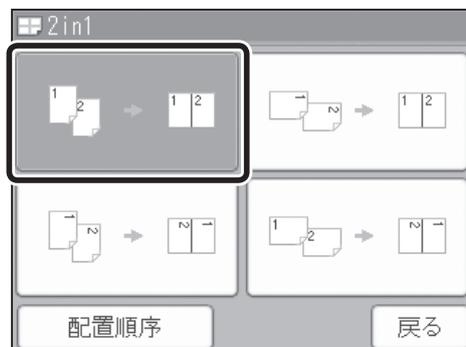
13 2 枚目の原稿をセットし、製版キーを押してください。

### 参考

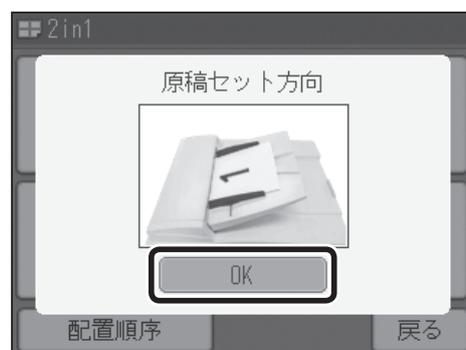
- 正しくレイアウトされなかった場合、次の点を確認してください。
  - ・原稿の向き
  - ・原稿サイズ、用紙サイズ、倍率
  - ・「2in1」をする向き

## ADF(オプション)を使用した2in1のしかた

- 1 「2in1 の設定のしかた」の手順1～8を行ってください。  
(参考→P.59「2in1 の設定のしかた」)
- 2 原稿の方向、とじ方向、2in1方向を選択して、タッチしてください。  
ここでは、画面の左上を選択したとして説明します。



- 3 原稿セット方向が表示されます。  
表示された方向に原稿をセットしてください。  
(参考→P.20「自動原稿送り装置(ADF)(オプション)に原稿をセットする」)  
「OK」をタッチしてください。



- 4 「終了」をタッチしてください。



### 参考

- 2in1 の設定をすると、基本画面下に2in1のアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、2in1 設定画面が表示され、設定を変更することができます。  
ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。

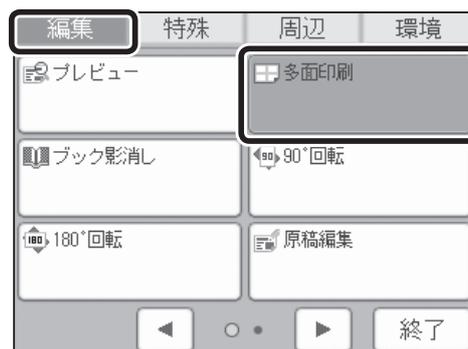
- 5  製版キーを押してください。  
1枚目の原稿がADFにスキャンされ、終了すると自動的に2枚目の原稿がスキャンされ、印刷を開始します。

## 任意面取り

用紙のタテ方向、ヨコ方向それぞれ任意の数の面取りができます。

### 任意面取りの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「編集」をタッチします。
- 4 「多面印刷」をタッチします。  
多面印刷の一覧が表示されます。
- 5 画面下のページ切替ボタンをタッチします。



6 「任意面取り」をタッチします。

### 参考

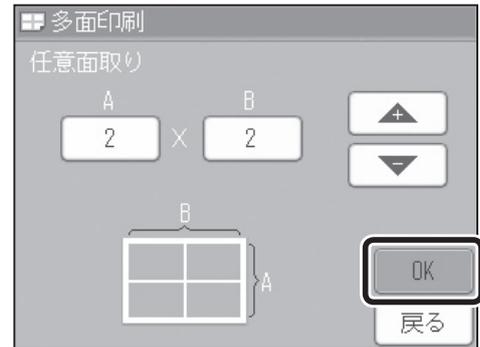
- 任意面取りを OFF（標準）にする場合
  - ・ 「多面印刷」をタッチし「OFF」をタッチします。
  - ・  リセットキーを押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



7 面取り数選択画面が表示されます。  
Aの辺、Bの辺の面取り数を設定し「OK」をタッチします。  
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
数値はテンキーからも入力できます。

### 参考

- 「A」1～5 × 「B」1～5まで設定できます。



8 「終了」をタッチします。

### 参考

- 任意面取りの設定をすると、基本画面下に多面印刷のアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、多面印刷設定画面が表示され設定を変更することができます。ただし、全ての機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



4

その他の機能

## 切取線について

原稿間に切取線を入れることができます。プリント後のカットが容易にできます。

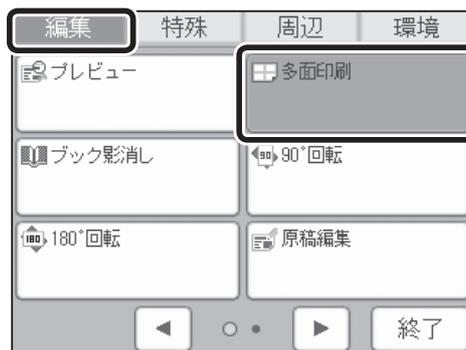
## 切取線の設定のしかた

1 「設定」をタッチします。



2 「編集」をタッチします。

「多面印刷」をタッチします。  
多面印刷の一覧が表示されます。



3 「多面印刷」の種類を選択する画面の、「切取線」のアイコンをタッチします。



- 4 切取線を入れる場合は「ON」  
入れない場合は「OFF」をタッチします。  
切取線が設定されます。

### 参考

- 切取線を OFF（標準）にする場合
  - ・「多面印刷」をタッチし、左下の「切取線」のアイコンをタッチします。「OFF」をタッチします。
  - ・リセット リセットキーを押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



- 5 「多面印刷」の種類を選択する画面に戻ります。  
プリントする多面印刷を選択してください。



# 編集機能 ブック影消し

## ブック影消しについて

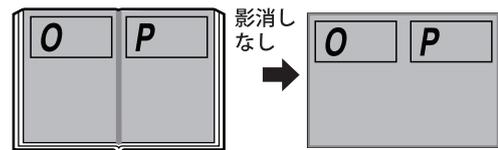
本などの、中央が閉じてある原稿の見開きページをプリントするとき、周囲や中央の影を消してプリントします。

### 参考

- イメージが薄いときは原稿濃度読取の設定を使用してください。  
(参考→P.124「特殊機能 原稿濃度読取」)

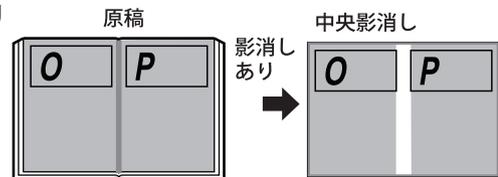
### 重要

- ブック影消しの設定は、製版する前に行ってください。
  - 自動原稿送り装置 (ADF) でブック影消しは使用できません。
  - 通常の製版より製版時間が長くなります。
- 
- OFF  
原稿の周囲約 2mm の影を消します。



- 中央影消し

本などの、中央がとじてある原稿の見開きページをプリントするとき、15mm 幅で中央の影のみ消してプリントします。

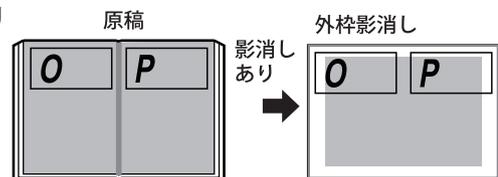


### 重要

- 原稿の周囲約 2mm の影は消されます。

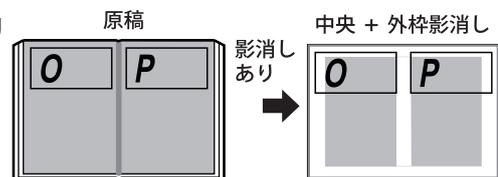
- 外枠影消し

本などの、中央がとじてある原稿の見開きページをプリントするとき、6mm 幅で周囲の影のみ消してプリントします。



- 中央 + 外枠影消し

本などの、中央がとじてある原稿の見開きページをプリントするとき、中央 15mm 幅、周囲 6mm 幅の影のみ消してプリントします。

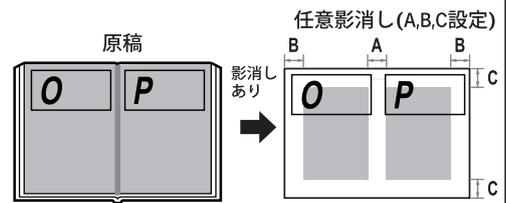


●任意影消し

本などの中央がとじてある原稿の見開きページをプリントするとき、影の周囲を指定して消し、プリントします。(0～99mmまで消したい範囲を設定できます。)

**重要**

- 影消しを指定(0～99mm)しても、多少の誤差が生じる場合があります。
- 「B」、「C」で2mm以下を設定されていても、周囲2mmの影が消されます。



## 影消しの範囲について

**重要**

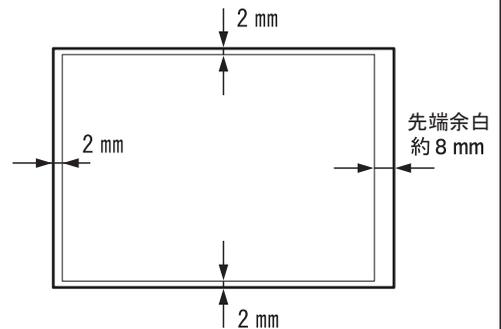
- 「OFF」の場合は、原稿の周囲約2mmの影を消します。

プリントされた先端余白は、紙をドラムからはがすための余白です。「任意影消し」で8mmより小さい値を設定しても、この用紙先端部分は、約8mmの余白になります。

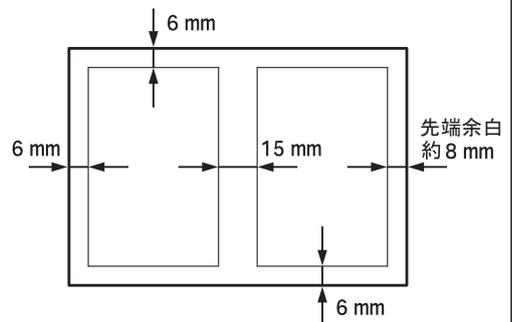
「任意影消し」で指定(0～99mm)しても、多少の誤差が生じる場合があります。

各影消し寸法は図のとおりです。

- 影消し「OFF」の場合



- 各影消しの場合

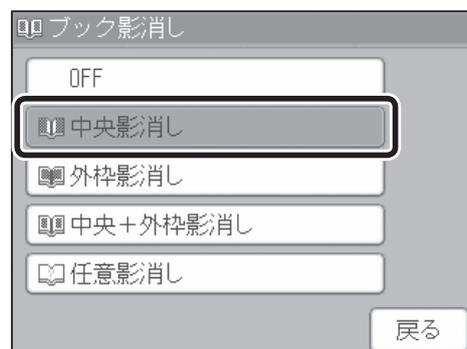
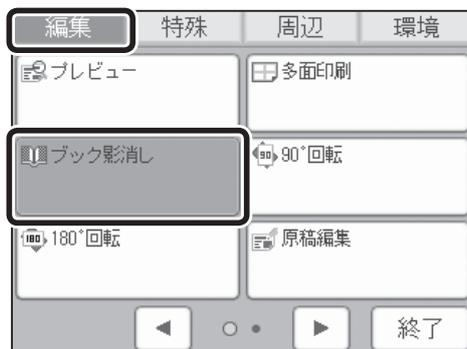


## ブック影消しの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「編集」をタッチします。
- 4 「ブック影消し」をタッチします。  
ブック影消しの一覧が表示されます。
- 5 設定したい項目をタッチします。  
ここでは「中央影消し」を、設定したとして説明します。
- 6 設定したい原稿サイズをタッチします。  
原稿サイズの設定を行わないと、正常にブック影消しが行われません。

### 参考

- CD86DP/CD66DP は「オート」を設定すると、自動的に原稿サイズが設定されます。
- 「ユーザ」を設定するときは、「原稿サイズ」の項を参考してください。  
(参考→P. 48 “原稿サイズのユーザ設定のしかた”)
- 厚手の本を使用された場合、「オート」では正常に原稿サイズを、検知できないことがあります。  
「オート」以外の原稿サイズに設定してください。



7 ブック影消しが設定されます。

### 参考

- ブック影消しを OFF（標準）にする場合
  - ・「ブック影消し」をタッチし「OFF」をタッチします。
  - ・<sup>リセット</sup>リセットキーを押す。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

8 「終了」をタッチします。

### 参考

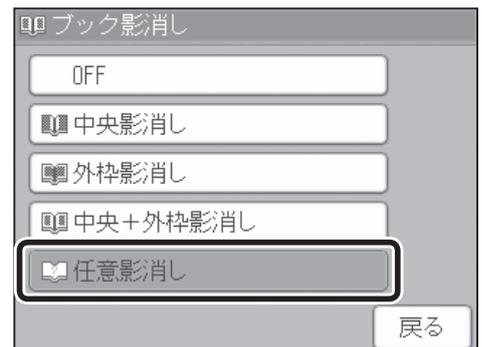
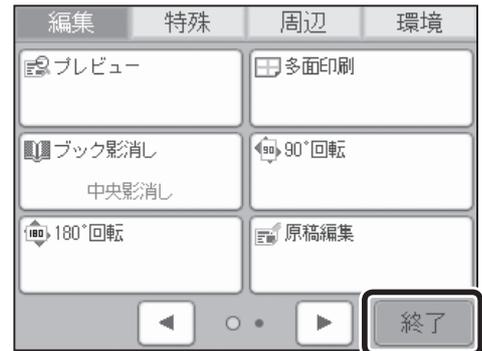
- ブック影消しの設定をすると、基本画面下にブック影消しのアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、ブック影消し設定画面が表示され設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。

## ●手順5で「任意影消し」に設定した場合

1 設定したい原稿サイズをタッチします。  
原稿サイズの設定を行わないと、正常にブック影消しが行われません。

### 参考

- CD86DP/CD66DPのみ「オート」を設定すると、自動的に原稿サイズが設定されます。
- 厚手の本を使用された場合、「オート」では正常に原稿サイズを検知できないことがあります。「オート」以外の原稿サイズに設定してください。



## 編集機能 ブック影消し

2 「A」、「B」、「C」の寸法を設定し、「OK」をタッチします。

「A」をタッチし「+」、「-」で範囲を設定します。  
「+」をタッチすると、影消し範囲が広がります。  
「-」をタッチすると、影消し範囲が狭くなります。  
数値はテンキーからも入力できます。  
「B」、「C」も同じ手順で範囲を設定します。

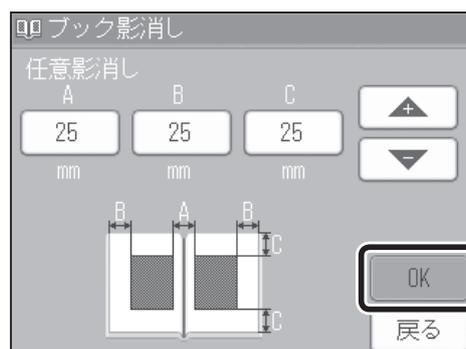
### 参考

- 0 ~ 99 mmの範囲で設定できます。

3 「終了」をタッチします。

### 参考

- ブック影消しの設定をすると、基本画面下にブック影消しのアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、ブック影消し設定画面が表示され設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



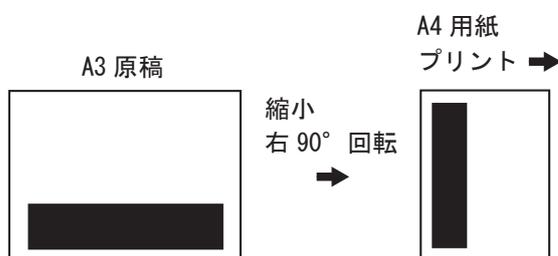
# 編集機能 90°回転

## 90°回転について

原稿をイメージ上で右に90°回転させます。  
倍率をオートに設定することで、A3サイズの原稿をタテ置きしたものを縮小し、A4ヨコ置きの用紙にプリントすることができます。  
A3/A4ドラムとの併用をおすすめします。

### 参考

- 元画像の左側・右側に黒ベタ部分が多い原稿を使用される場合などは、黒ベタ部分がプリントの後端に来るように、回転方向を設定してください。  
例：A3原稿の右側に黒ベタ部分が多い場合は、右90°回転に設定してください。  
そうすると、排出される用紙の後端に原稿の右側部分がプリントされ、紙づまりを防ぐことができます。
- 「180°回転」をONにすることにより、270°回転ができます。



### 重要

- 通常の製版より、製版時間が長くなります。

## 90°回転の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「編集」をタッチします。
- 4 「90°回転」をタッチします。  
90°回転選択画面が表示されます。



次ページへ続く...

- 5 「オート」または「ON」をタッチしてください。
- ・「オート」設定している用紙サイズの向きに合わせて、原稿を回転してプリントします。  
※ CD56DP/CD53DP にはオート機能はついていません。
  - ・「ON」 右に 90° 回転します。



- 6 90° 回転が設定されます。

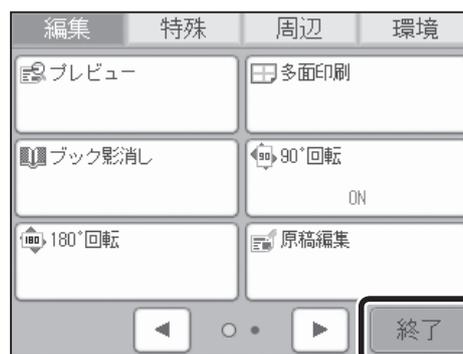
**参考**

- 90° 回転を OFF (標準) にする場合
  - ・「90° 回転」をタッチし「OFF」をタッチします。
  - ・  リセットキーを押す。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

- 7 「終了」をタッチします。

**参考**

- 90° 回転の設定をすると、基本画面下に 90° 回転のアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、90° 回転設定画面が表示され設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



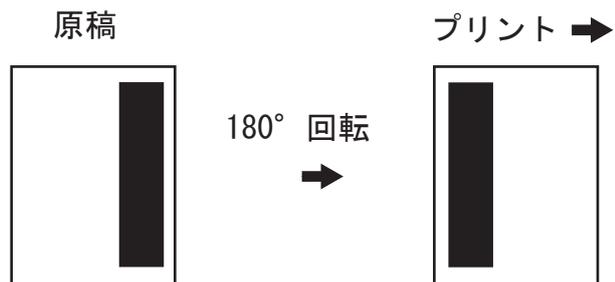
# 編集機能 180°回転

## 180°回転について

原稿をイメージ上で180°回転させます。

### 参考

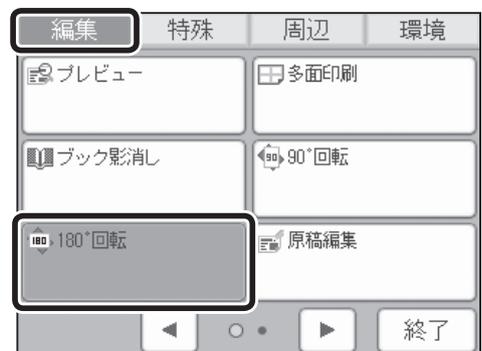
- 元画像の右側に、黒ベタ部分が多い原稿を使用される場合などは、180°回転をONにすることにより、黒ベタ部分が、用紙の後端にプリントされ、紙づまりを防ぐことができます。



- 「再製版機能」を使用する場合にも設定できます。

## 180°回転の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「編集」をタッチします。
- 4 「180°回転」をタッチしてください。  
180°回転選択画面が表示されます。



5 「ON」をタッチしてください。



6 「終了」をタッチしてください。

180° 回転が設定されます。

### 参考

- 180° を OFF（標準）にする場合
  - ・「180° 回転」をタッチし、「OFF」をタッチしてください。
  - ・  リセットキーを押す。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

### 参考

- 180° 回転の設定をすると、基本画面下に 180° 回転のアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、180° 回転設定画面が表示され、設定を変更することができます。  
ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



# 編集機能 原稿編集

## 原稿編集について

原稿を編集する機能です。

原稿編集には、メイクアップとトリミングがあります。

- メイクアップ

文字、写真混在原稿などを編集し、きれいに製版ができます。

- トリミング

原稿の必要な部分を指定して、不要な部分を取り除きプリントできます。

また、倍率が「オート」のときは、設定している用紙サイズに自動的に「拡大」「縮小」プリントできます。

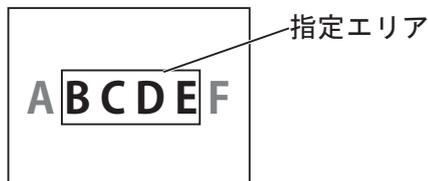
## メイクアップについて

文字、写真混在原稿などを文字・消去・袋文字 / 模様・白黒反転のエリア指定して、きれいに製版できます。

編集モード

- 文字

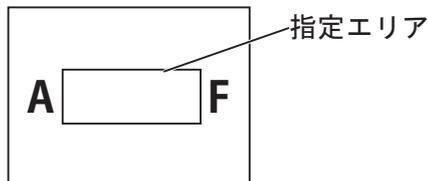
文字、写真混在原稿など、文字部分をエリア指定すると適正濃度でより文字を強調して、きれいに製版することができます。



- 消去

原稿の不要部分を自在に消去でき、必要な部分だけを製版します。

2色刷りの場合は、“消去エリア入替え”により最初に指定したエリアの内・外を切り替えることが可能で、再度エリアを指定することなく2色プリントができます。

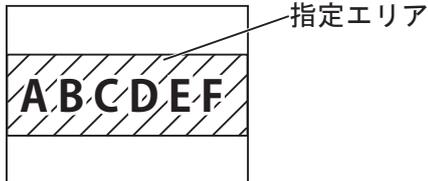


- 袋文字 / 模様

袋文字  
模様

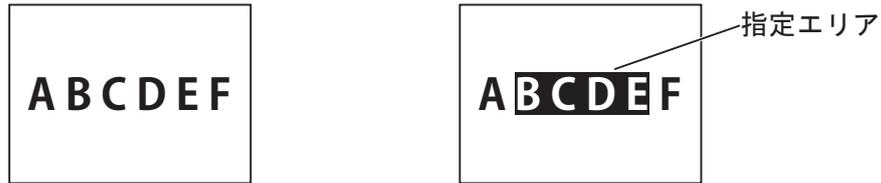
タイトルや商品名をアピールしたいときに、簡単に袋文字がつけられます。

網掛けや地模様など、17種類の模様の中から、イラストや下地として原稿をグレードアップすることができます。



次ページへ続く...

- 白黒反転 見出し文字など表題部分を強調したいときに、指定エリアの白と黒を反転します。



**重要**

- 各モードには優先順位があります。他のモードとエリアが重なった部分は、最も優先順位の高いモードが有効となります。

1. 消去
  2. 白黒反転
  3. 袋文字 / 模様
  4. 文字
- (数字が小さいほど優先順位は高くなります。)

- 自動原稿送り装置 (ADF) では使用できません。

- 編集モードに対する原稿種類の一覧表です。

○ : OK

△ : 編集モードの文字で、エリア指定を行ったエリアのみ編集モードが反映されます。

× : 編集モードは使用できません。

原稿種類	編集モード			
	文字	消去	袋文字 / 模様	白黒反転
文字	×	○	○	○
文字 / 写真	○	○	○	○
写真 / 文字	○	○	○	○
写真	○	○	△	○
えんぴつ	×	○	○	○
網点 (粗い)	×	○	×	○
網点 (細かい)	×	○	×	○

- 原稿読取時の画面

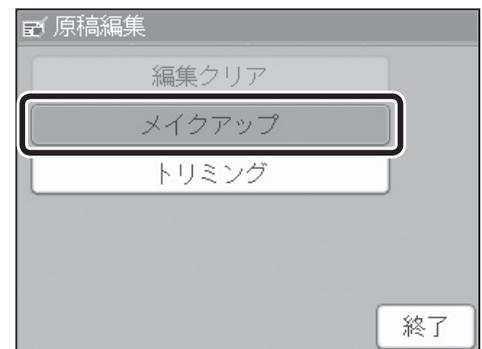
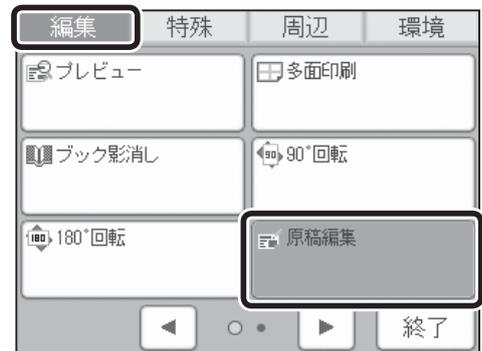
- ズームで拡大表示したとき、見たいところへ移動します。
- 拡大表示をします。
- エリア指定範囲を指定します。
- エリア指定範囲を取り消します。
- 終了します。

## メイクアップの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「原稿種類」をタッチします。  
お好みの原稿種類に設定してください。
- 3 「設定」をタッチします。
- 4 「編集」をタッチします。
- 5 「原稿編集」をタッチします。
- 6 「メイクアップ」をタッチします。
- 7 設定したい「原稿サイズ」をタッチします。

### 参考

- 「原稿サイズ」を「OFF」に設定して、イメージをスキャンすると、「用紙サイズ」で設定されたサイズでスキャンされます。



4

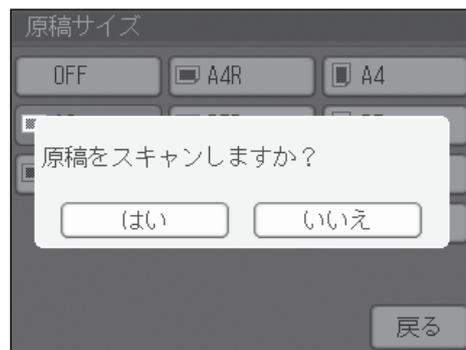
その他の機能

次ページへ続く…

- 8 液晶(タッチパネル)に「原稿をスキャンしますか?」が表示されます。「はい」をタッチします。原稿の読取りが、開始されます。  
 “スキャンしています” “しばらくお待ち下さい”が表示されているときは、電源を入れなおしたり、 リセットキーは押さないでください。

参考

- イメージは、「原稿種類」の設定に関係なく、文字モードでスキャンされます。
- イメージは、「倍率」の設定に関係なく、100%の倍率でスキャンされます。

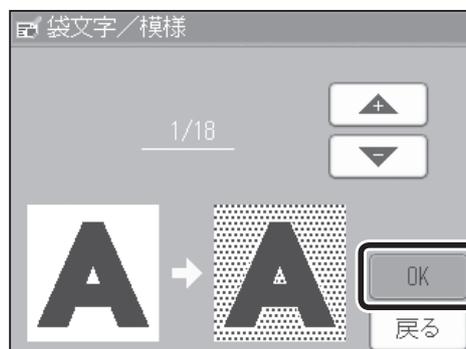
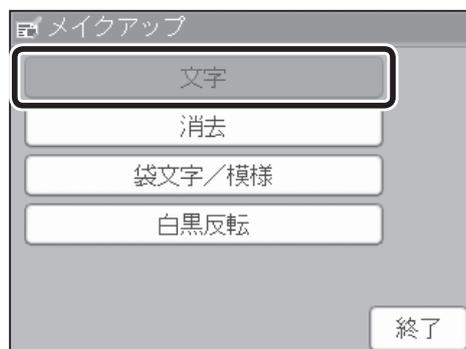


- 9 原稿の読み取りが終了すると、右の画面が表示されます。ここでは「文字」をタッチしたとして説明します。

参考

- 「袋文字 / 模様」をタッチした場合  
 ▲▼で袋文字 / 模様を指定します。(テンキーでも指定できます)  
 袋文字は 18/18 を指定してください。  
 模様は 1/18 ~ 17/18 の中から指定してください。  
 (袋文字 / 模様については 82 ページ参照)

「OK」をタッチします。



- 10 「エリア」をタッチします。

参考

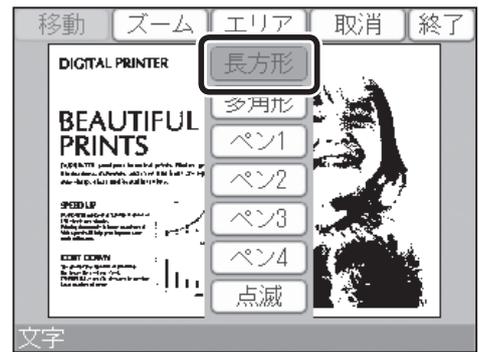
- このときに拡大表示したいエリアがあれば、「ズーム」をタッチします。原稿の一部を拡大して見ることができ、エリアの指定がしやすくなります。



- 11 エリア指定方法をタッチします。  
ここでは「長方形」をタッチしたとして説明します。

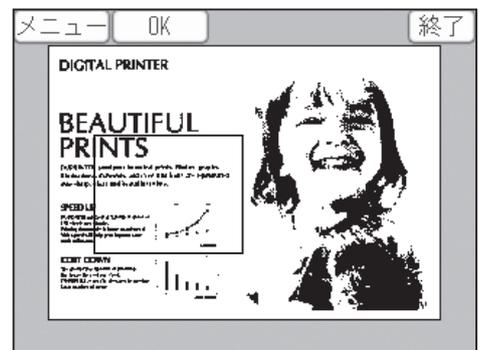
## 参考

- 「長方形」・「多角形」・「ペン1」・「ペン2」・「ペン3」・「ペン4」から、適切な入力方法をタッチしてください。あらかじめ「点滅」を指定しておく、と、エリア設定した際に、設定したエリアが点滅表示します。点滅表示を終了したい場合は、「エリア」をタッチし、「点灯」をタッチしてください。
- 「長方形」もしくは「多角形」を選択時、エリア指定方法を変更したい場合は、「メニュー」をタッチします。

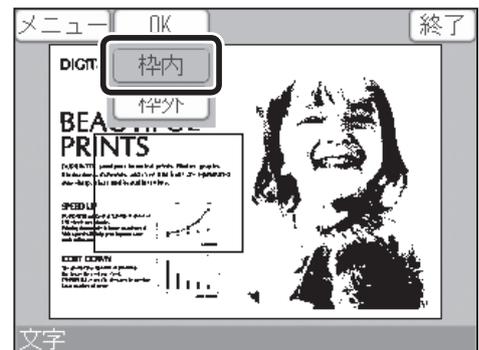


- 12 エリアを指定します。

- ① 指定したいエリアの始点に軽くタッチします。
  - ② タッチしたまま移動させるとエリアが変化します。
  - ③ 画面から離すとエリアが決定します。
- ※エリアを決め直したいときは、もう一度①～③の手順に従ってください。
- ④ 「OK」をタッチします。



- 13 ⑤ エリアの「枠内」か、「枠外」をタッチします。  
ここでは「枠内」をタッチします。  
「枠外」をタッチすると、指定したエリア外がすべて、現在のモードでメイクアップされます。  
(参考→P. 84 “●エリア指定機能を使う”)



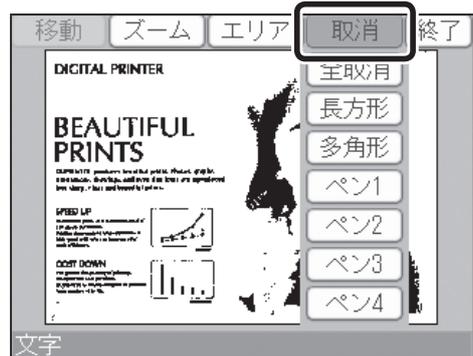
## 4

## その他の機能

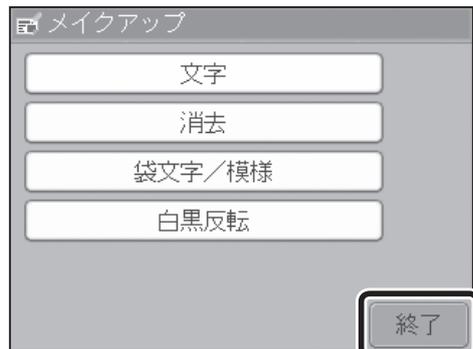
14 「終了」をタッチします。

参考

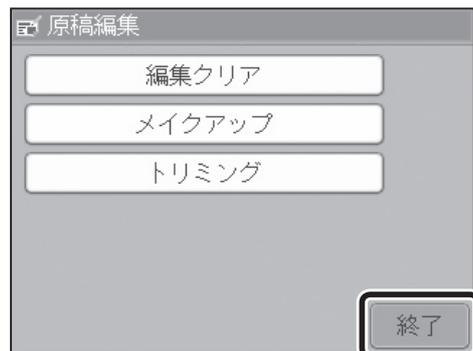
- 取消したい場合は「取消」をタッチしてください。  
「取消」をタッチすると右図のように表示が変わります。
  - ・「全取消」をタッチすると設定したエリアすべてが取消されます。
  - ・「長方形」/「多角形」をタッチすると指定したエリアを取消します。
  - ・「ペン1」/「ペン2」/「ペン3」/「ペン4」をタッチすると取消したい部分がペン入力で取消せません。



15 「終了」をタッチします。  
メイクアップが設定されます。



16 「終了」をタッチします。



17 「終了」をタッチします。

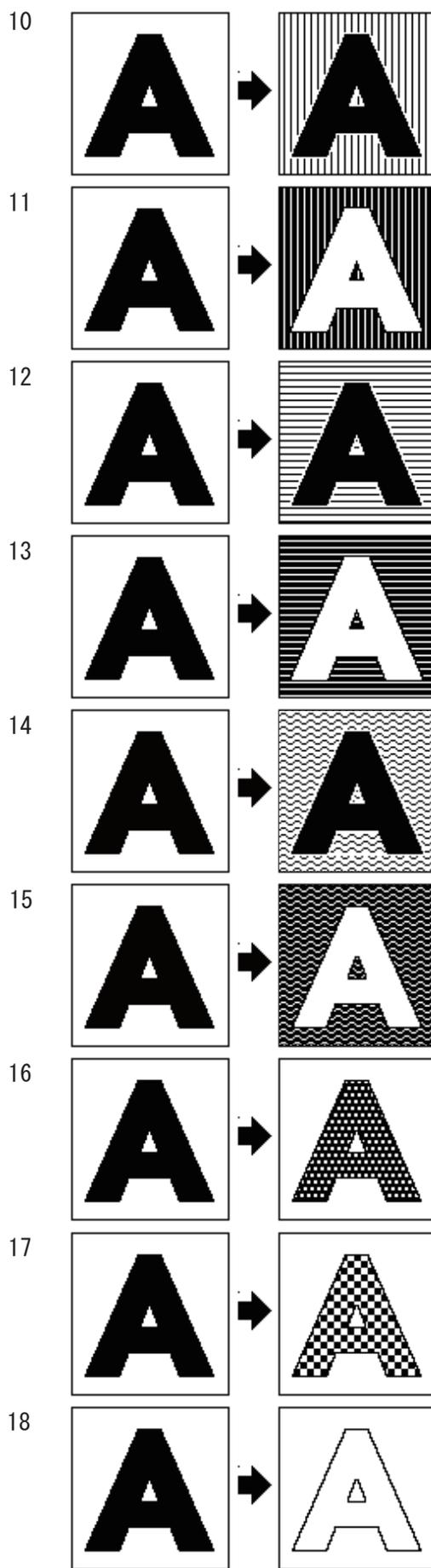
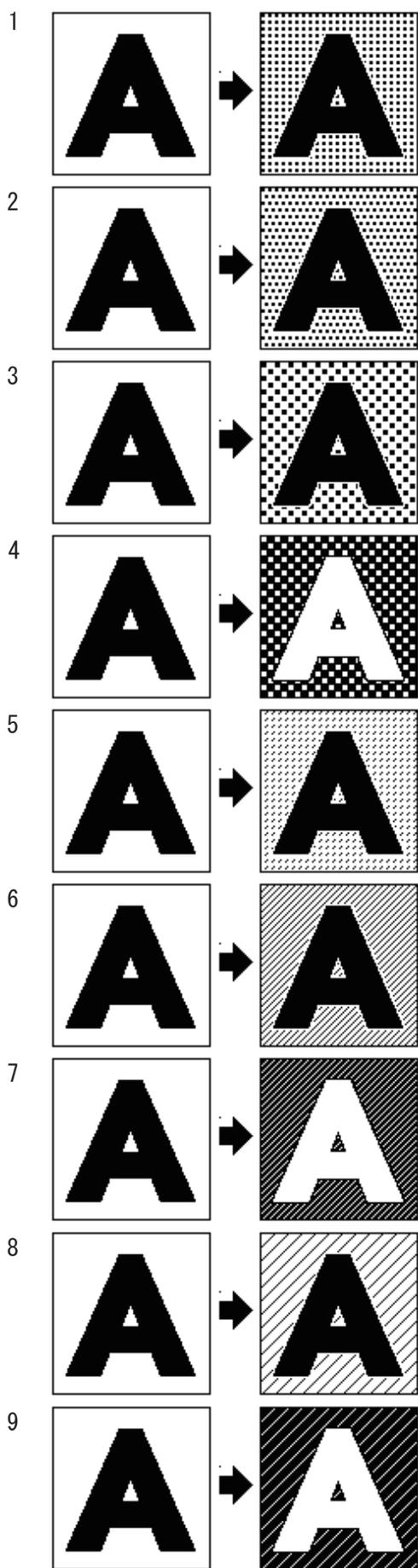
### 参考

- 原稿編集の設定をすると、基本画面下に原稿編集のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、原稿編集設定画面が表示され設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



18 製版キーを押します。  
編集した内容を反映した製版を行います。

下記の袋文字 / 模様が選択できます。



## ●ズーム機能を使う

原稿の一部をペンタッチすることにより、拡大表示できます。

ズーム1 < ズーム2 < ズーム3

ズーム1 操作パネル上に原稿全体を表示します。

ズーム2 ペンタッチされた周辺エリアを、ズーム1 に対して2倍に拡大表示します。

ズーム3 ペンタッチされた周辺エリアを、ズーム1 に対して4倍に拡大表示します。

- 1 「ズーム」をタッチします。  
「ズーム1」/「ズーム2」/「ズーム3」のいずれかをタッチします。  
ここでは「ズーム2」を、タッチしたとして説明します。



- 2 拡大したいエリアの中心を、タッチしてください。  
エリアが拡大されます。

もし「ズーム1」/「ズーム3」に変更したい場合は、「ズーム」をタッチし変更してください。

## 参考

- ズーム機能で拡大した原稿周辺を確認する際は、「移動」をタッチ後、画面上をタッチしながら、原稿の見たいところへ移動してください。ただし、「ズーム1」を選択している場合は移動できません。



## ●移動機能を使う

ズーム機能で拡大した原稿周辺を確認する場合、画面上をタッチしながら、原稿の見たいところへ移動できます。

- 1 「移動」をタッチします。

## 参考

- 「ズーム2」/「ズーム3」を選択しているときのみ移動できます。

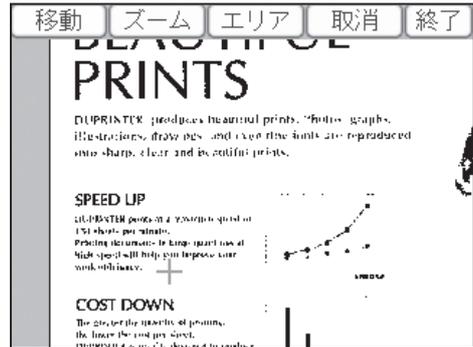


次ページへ続く...

4

その他の機能

- 2 画面上をタッチしたまま、見たいところへ移動します。



- 3 見たいところが表示されたら離します。

**参考**

- 移動機能を終了したい場合は再度、「移動」をタッチするか、他の機能をタッチしてください。



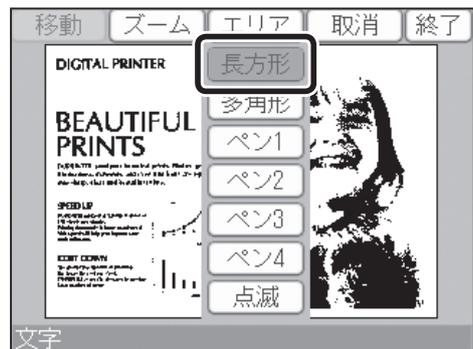
●エリア指定機能を使う

原稿の内容に合わせて、長方形・多角形・ペン1・ペン2・ペン3・ペン4 の6種類の方法を選択できます。

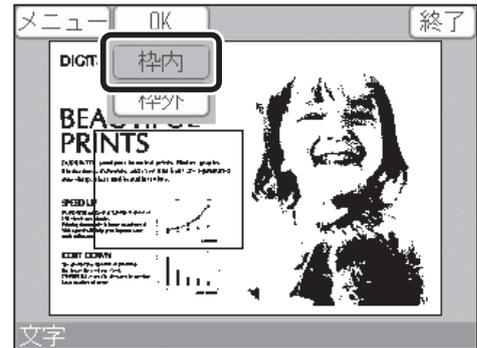
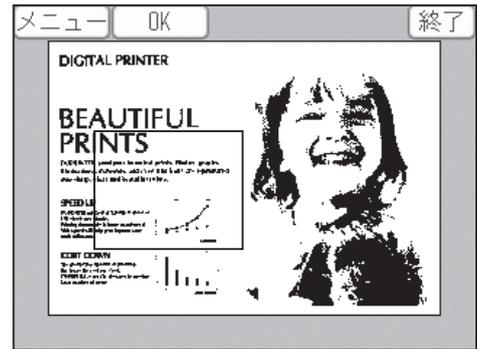
- ・長方形 長方形のエリアを指定できます。
- ・多角形 最大15角形でエリア指定できるので、複雑な形のエリア指定ができます。
- ・ペン1/2/3/4 ペンでエリア指定ができます。

●長方形によるエリア指定

- 1 「エリア」をタッチします。  
「長方形」をタッチします。



- 2 エリアを指定します。
- ①指定したいエリアの始点に、軽くタッチします。
  - ②タッチしたまま移動させると、エリアが変化します。
  - ③画面から離すと、エリアが決定します。  
※エリアを決め直したいときは、もう一度①～③の手順に従ってください。
  - ④「OK」をタッチします。
  - ⑤エリアの「枠内」か「枠外」をタッチします。  
ここでは「枠内」をタッチしています。  
「枠外」をタッチすると、指定したエリア外がすべて、現在のモードでメイクアップされます。

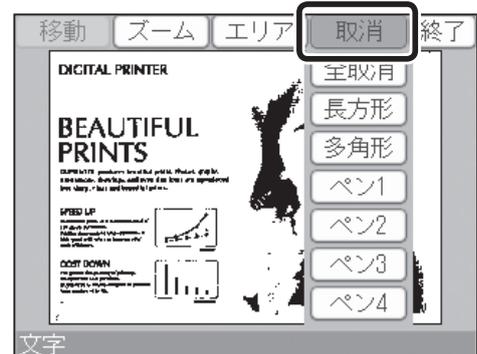


- 3 指定したエリアがOKであれば、「終了」をタッチします。



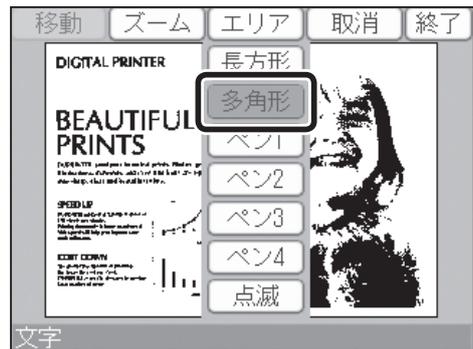
## 参考

- 取消したい場合は、「取消」をタッチしてください。  
「取消」をタッチすると、右図のように表示が変わります。
  - ・「全取消」をタッチすると、設定したエリアすべてが取消されます。
  - ・「長方形」/「多角形」をタッチすると、指定したエリアを取消します。
  - ・「ペン1」/「ペン2」/「ペン3」/「ペン4」をタッチすると、取消したい部分がペン入力力で取消せません。



●多角形によるエリア指定

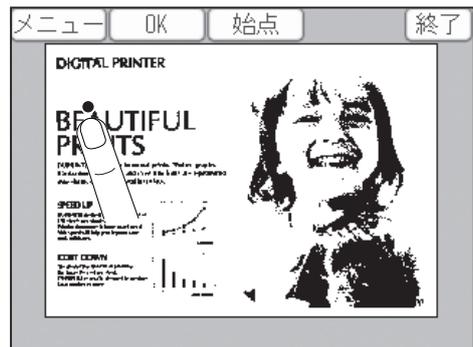
- 1 「エリア」をタッチします。  
「多角形」をタッチします。



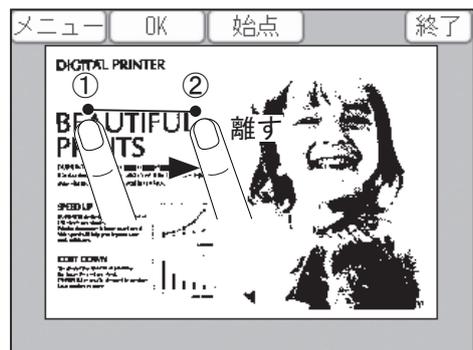
- 2 指定したいエリアの始点を、軽くタッチします。

**重要**

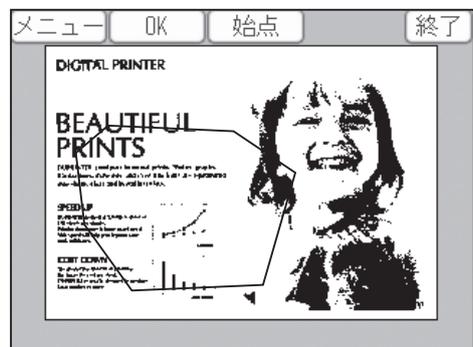
- 多角形の各辺が交差しないように、各ポイントを決めてください。もし、交差した場合は、不完全な多角形エリアが指定されますので注意してください。



- 3 タッチしたまま移動させ、ポイントが決まれば、一度離します。(一辺目決定)



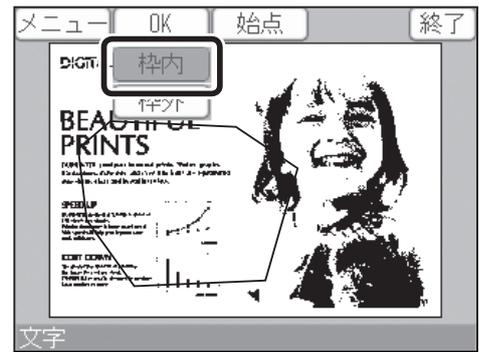
- 4 さらに、二辺目をタッチ後、タッチしたまま移動させ、ポイントが決まれば再度離します。(二辺目決定)  
同様の方法で、最大 15 角形以内まで指定することができます。  
また、最大 15 角形以内の場合には、「OK」をタッチすることにより、最終のポイントと始点とを結び、多角形エリアが完成します。



**参考**

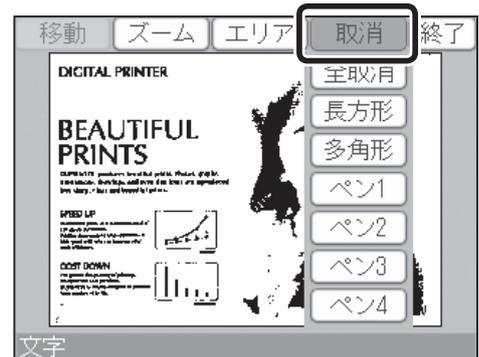
- 二辺以上で「OK」をタッチすることができます。
- 始点位置を決めた後、再度始点を決めなおす場合は、「始点」をタッチしてください。

- 5 エリアが完成したら、「OK」をタッチします。
- 6 エリアの「枠内」か「枠外」をタッチします。  
ここでは「枠内」をタッチしています。  
「枠外」をタッチすると、指定したエリア外がすべて、現在のモードでメイクアップされます。



### 参考

- 取消したい場合は「取消」をタッチしてください。  
「取消」をタッチすると、下図のように表示が変わります。
  - ・「全取消」をタッチすると、設定したエリアすべてが取消されます。
  - ・「長方形」/「多角形」をタッチすると、指定したエリアを取消します。
  - ・「ペン1」/「ペン2」/「ペン3」/「ペン4」をタッチすると、取消したい部分がペン入力で取消されます。



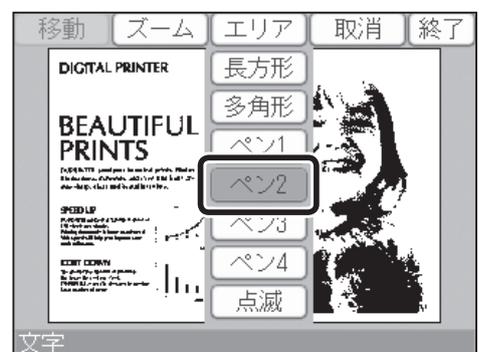
## 4

### その他の機能

### ●ペン入力によるエリア指定

- 1 「エリア」をタッチします。  
「ペン1」/「ペン2」/「ペン3」/「ペン4」の中からペンサイズを、タッチします。  
ここでは「ペン2」をタッチしたとして説明します。

ペンは、1～4は円形の大きさの異なるサイズで、エリアを指定します。



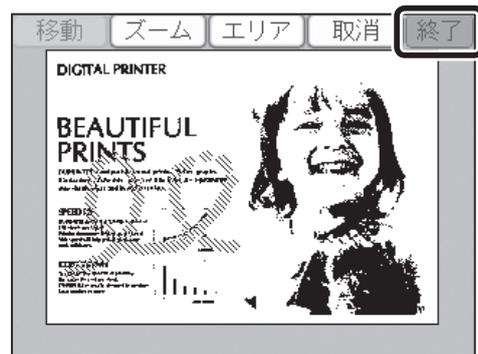
次ページへ続く…

## 編集機能 原稿編集

- 2 指定したいエリアに軽くタッチして、エリアを指定します。
- 3 指定したエリアがOKであれば、「終了」をタッチします。

### 参考

- 取消したい場合は、「取消」をタッチしてください。

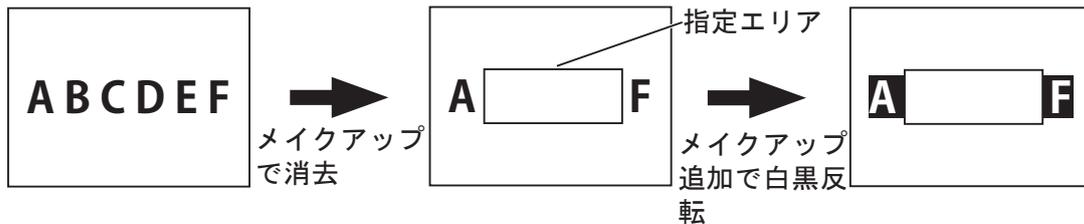


## メイクアップ追加、消去エリア入替

メイクアップの設定が終了しているとき、「メイクアップ追加」/「消去エリア入替」/「新規メイクアップ」ができます。

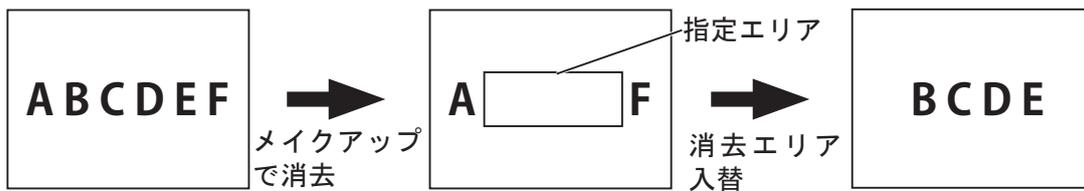
### ・メイクアップ追加

メイクアップ設定したものに、さらにメイクアップを追加設定することができます。



### ・消去エリア入替

メイクアップの消去モードで設定された内側（外側）消去を、外側（内側）消去到に切替えて製版・プリントすることができます。



### ・新規メイクアップ

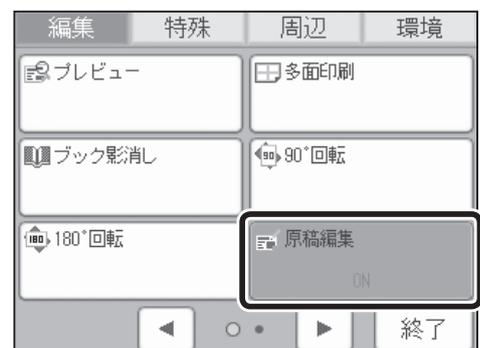
現在のメイクアップ設定を取消して、新たな原稿でメイクアップをすることができます。

### 重要

- メイクアップで消去モードが設定されていない場合は、消去エリア入替は指定できません。

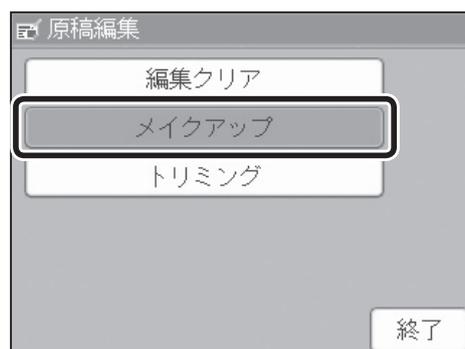
### ●メイクアップ追加を使う

- 1 メイクアップ設定終了後、「原稿編集」をタッチします。

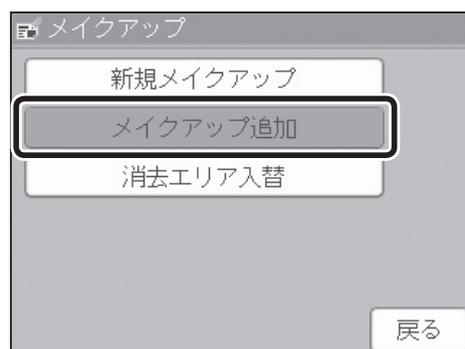


次ページへ続く…

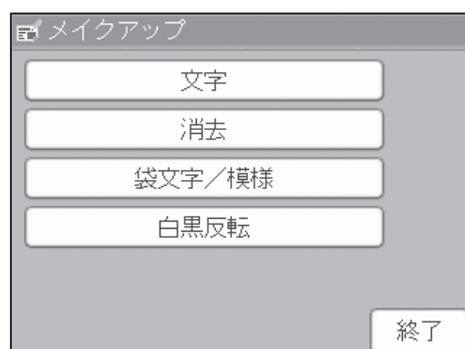
2 「メイクアップ」をタッチします。



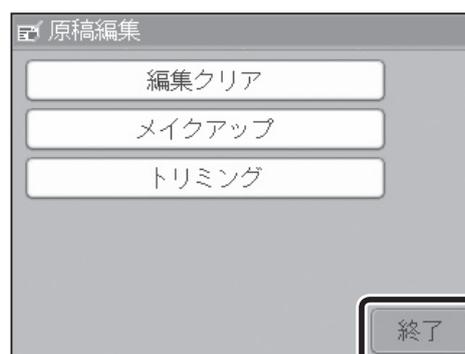
3 「メイクアップ追加」をタッチします。



4 追加したいモードをタッチし、メイクアップします。  
(参考→P. 77「メイクアップについて」)

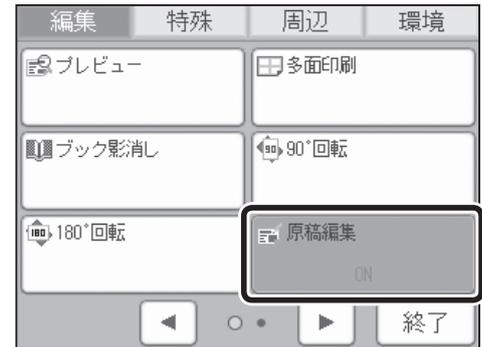


5 「終了」をタッチします。

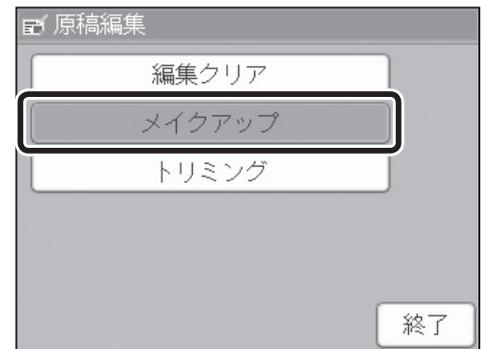


## ●消去エリア入替を使う

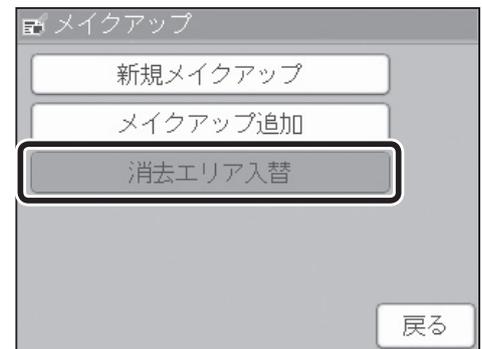
- 1 メイクアップの消去モード設定終了後、「原稿編集」をタッチします。



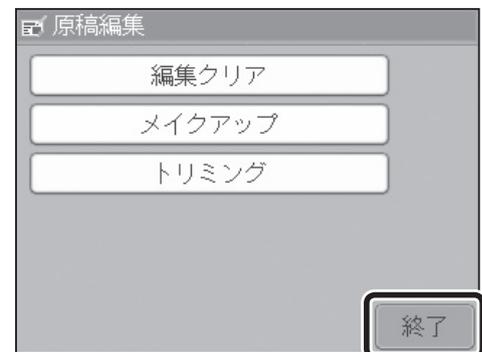
- 2 「メイクアップ」をタッチします。



- 3 「消去エリア入替」をタッチします。  
消去エリア入替が終了しました。

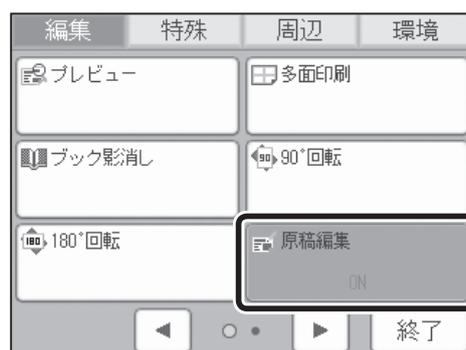


- 4 「終了」をタッチします。

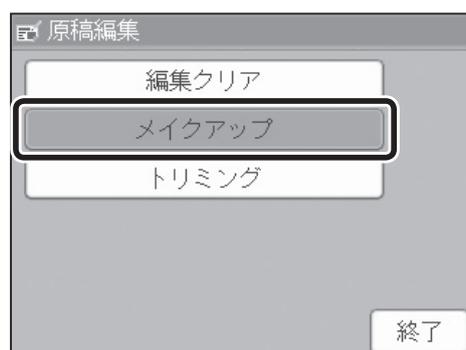


●新規メイクアップを使う

- 1 メイクアップ設定終了後、「原稿編集」をタッチします。



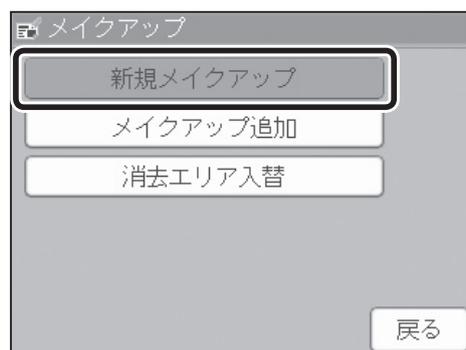
- 2 「メイクアップ」をタッチします。



- 3 「新規メイクアップ」をタッチします。

「メイクアップの設定のしかた」の手順8から、メイクアップをしてください。

(参考→P.79「メイクアップの設定のしかた」)



## トリミングについて

原稿の必要な部分を指定して、不要な部分を取り除きプリントできます。倍率で「オート」を設定していると、自動的に拡大/縮小を行います。また倍率を設定していると、設定している倍率で拡大/縮小を行います。

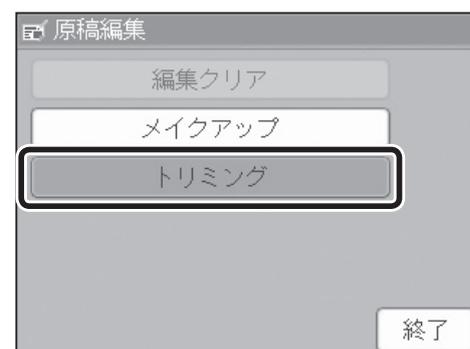
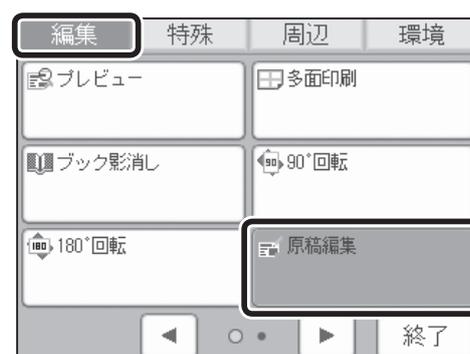
また、トリミング後にもメイクアップできます。

### 重要

- メイクアップ後、トリミングはできません。必ずメイクアップを行う前に、トリミングを行ってください
- 自動原稿送り装置（ADF）では使用できません。

## トリミングの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「編集」をタッチします。
- 4 「原稿編集」をタッチします。
- 5 「トリミング」をタッチします。



次ページへ続く…

6 設定したい「原稿サイズ」をタッチします。

**参考**

- 「原稿サイズ」を「OFF」にしてイメージをスキャンすると「用紙サイズ」設定されたサイズでスキャンされます。

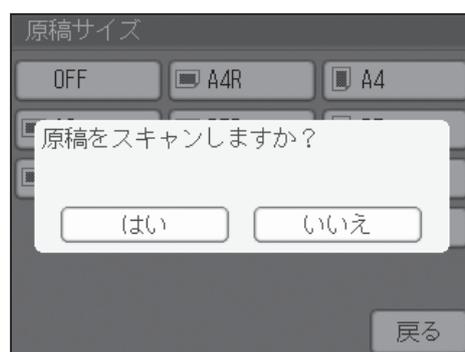


7 液晶（タッチパネル）に「原稿をスキャンしますか？」が表示されます。「はい」をタッチします。

原稿の読み取りが開始されます。  
 “スキャンしています” “しばらくお待ち下さい” が表示されているときは、電源を入れなおしたり、リセットキーは押さないでください。

**参考**

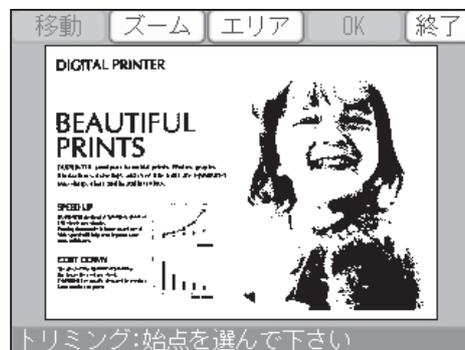
- イメージは「原稿種類」の設定に関係なく、文字モードでスキャンされます。
- イメージは「倍率」の設定に関係なく、100%の倍率でスキャンされます。



8 「エリア」をタッチします。

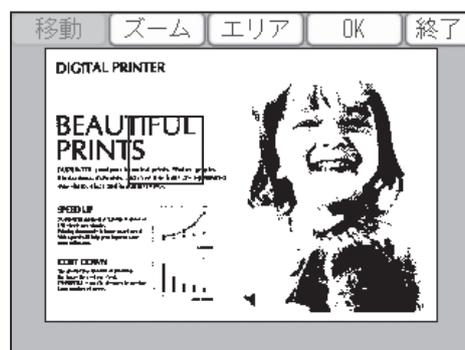
**参考**

- このときに拡大表示したいエリアがあれば、ズームを選択します。  
 原稿の一部を拡大して見ることができ、指定をしやすくなります。



9 エリアを指定します。

- ① 指定したいエリアの始点に軽くタッチします。
- ② タッチしたまま移動させると、エリアが変化します。
- ③ 画面から離すとエリアが決定します。  
 ※エリアを決め直したいときは、もう一度①～③の手順に従ってください。
- ④ 「OK」をタッチします。

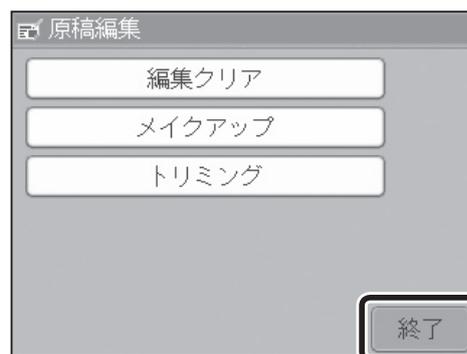


10 エリアが指定され終了します。

11 「終了」をタッチします。

### 参考

- 原稿編集の設定をすると、基本画面下に原稿編集のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、原稿編集設定画面が表示され設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



12  製版キーを押します。  
トリミングを反映した製版を行います。

トリミングした原稿をメイクアップしたい場合は、「メイクアップ」項にしたがってください。  
(参考→P.77 “メイクアップについて”)

# 編集機能 再製版機能

## 再製版機能について

再製版機能は、前回製版した原稿イメージを再度製版するための機能です。  
保存される原稿イメージは、1つに限られます。

### 重要

- 電源を切ると、保存されているイメージは消去されます。
- <sup>リセット</sup>リセットキーを押すと、保存されているイメージは消去されます。
- 電源を入れたとき、または何も製版されていないときは、この機能を使用することができません。
- 最後に製版されたイメージが保存されます。
- 機密保持が設定されているときは、この機能を使用することができません。
- 「180°回転」を設定して、再製版することができます。

## 再製版機能の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「編集」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。



5 「再製版機能」をタッチします。

### 重要

- 「再製版機能」の表示がマスクされている場合は、タッチすることができません。



6 「ON」をタッチします。

### 参考

- 再製版機能を OFF（標準）にする場合
  - ・ 「再製版機能」をタッチし「OFF」をタッチします。
  - ・ リセット リセットキーを押す。  
この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。  
また、イメージは消去され一度製版を行わないと「再製版機能」はタッチできません。



7 「終了」をタッチします。

### 参考

- 再製版機能の設定をすると、基本画面下に再製版機能のアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、再製版機能設定画面が表示され設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



# 特殊機能 メモリ機能設定

## メモリ機能設定について

枚数・組数 / メモリの名前 / 各機能設定 / 区分け, 原稿別プリントを、あらかじめ設定し保存しておくことができます。その保存した設定を使用したいときに呼出して、製版 / プリントをすることができます。

必要に応じて、変更したり、設定を確認することができます。

メモリに枚数・組数の入力を行い、必要に応じて、メモリの名前の変更、各機能設定や区分け, 原稿別プリントの設定を行い、保存します。電源を切っても、設定は消去されません。

### ●メモリについて

メモリは計9個 (MEMORY1 ~ 9) あります。

指定した枚数と組数の設定を1セットとし、90セットまでまとめて設定することができます。

### ●メモリの名前変更

工場出荷時にはメモリに「MEMORY \*」という名称がついています。

必要に応じて名前を変更してください。

### ●各機能設定

保存できる設定は次のとおりです。

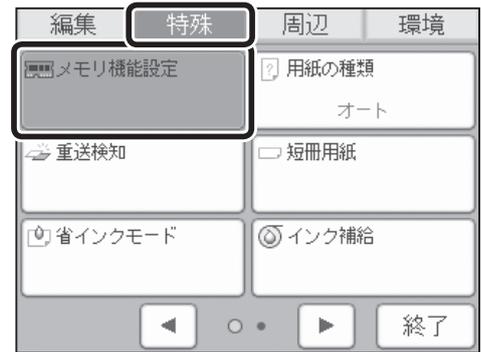
- ・印刷スピード 印刷位置 用紙サイズ 倍率 原稿種類 濃度 多面印刷 ブック影消し 90°回転 180°回転 原稿サイズ 省インクモード ショートカット設定

1 液晶 (タッチパネル) が、基本画面になっていることを確認します。

2 「設定」をタッチします。



- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 「メモリ機能設定」をタッチします。



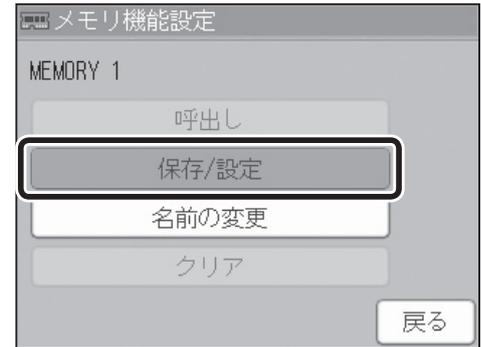
- 5 保存したいメモリ番号をタッチします。



- 6 「保存 / 設定」をタッチします。

**参考**

- 保存されていない場合は、「呼出し」、「クリア」をタッチすることができません。

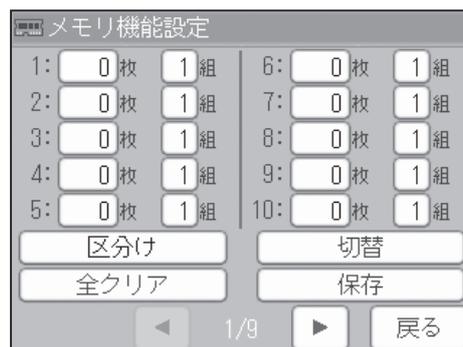


4  
その他の機能

次ページへ続く...

●枚数・組数を入力する

- 7 枚数・組数入力画面が、表示されます。  
 テンキーを押して枚数・組数を、入力してください。  
 (参考→P.128 “区分け / 原稿別プリントについて”)



例) 「3」、「3」、「3」、「3」と押すと右の画面のように入力されていきます。

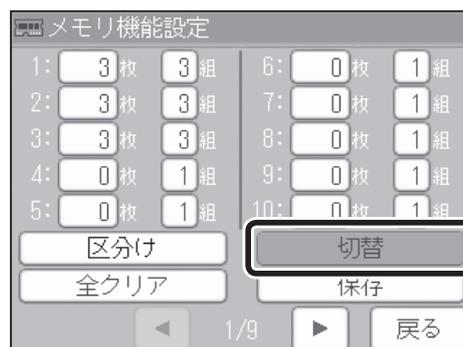
**参考**

- 入力を間違えた場合は、間違えた箇所をタッチし、テンキーで数値を入力してください。
  - ・全てクリアしたい場合は、「全クリア」をタッチしてください。
  - ・画面下のページ切替ボタンをタッチすると、次のページが表示されます。
  - ・原稿別に区分け処理を行う場合は、「区分け」をタッチし「原稿別プリント」をタッチします。



●各機能設定を行う

- 8 「切替」をタッチします。



- 9 設定を変更したい箇所をタッチし機能設定を変更します。

**参考**

- 画面下のページ切替ボタンをタッチすると次のページが表示されます。



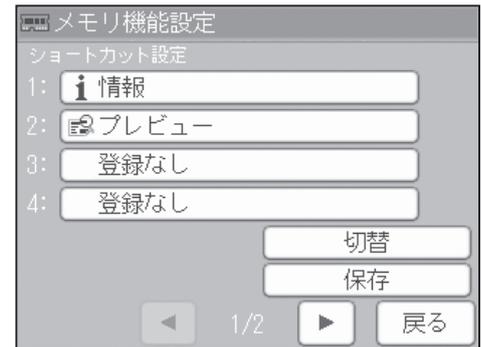
10 「切替」をタッチします。



11 ショートカットを登録する場所をタッチします。

**参考**

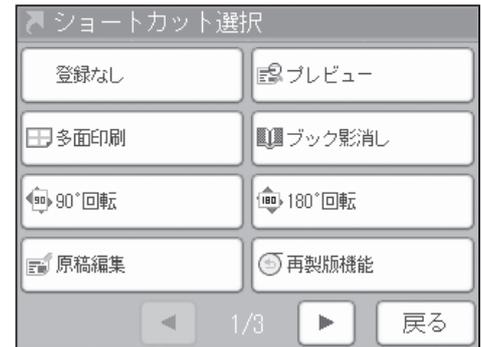
- ショートカットは最大6個まで登録できます。



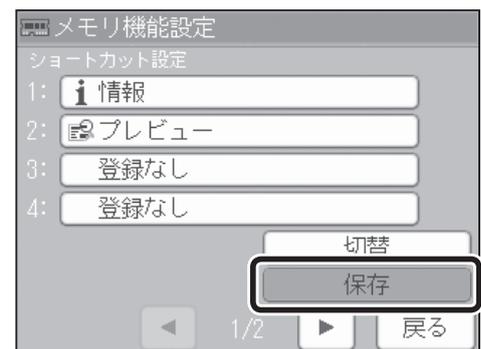
12 登録するショートカットをタッチします。  
(参考→P.142「環境機能 ショートカット設定」)

**参考**

- ショートカットを取消す場合は、「登録なし」をタッチします。



13 「保存」をタッチします。  
設定保存中は電源を切らないでください。



●名前の変更を行う

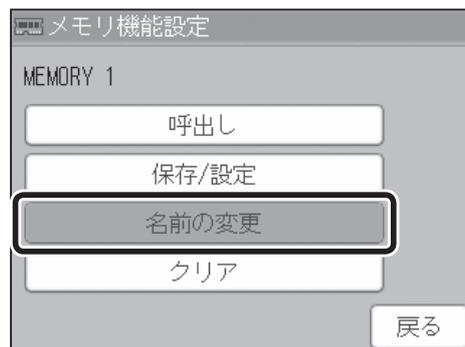
1 設定したいメモリ番号をタッチします。



2 「名前の変更」をタッチします。

**参考**

- 保存されていない場合は、「呼出し」、「クリア」を選択することができません。



3 入力する文字をタッチします。



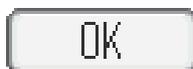
文字を消すときに使用します。



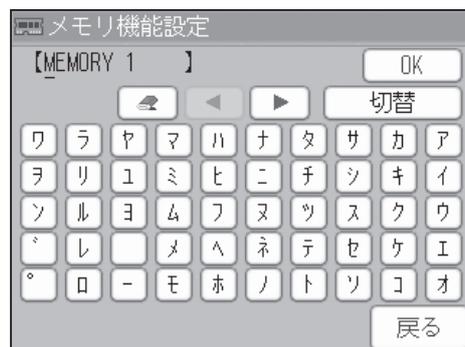
名前の下のカーソルを右へ移動します。



名前の下のカーソルを左へ移動します。

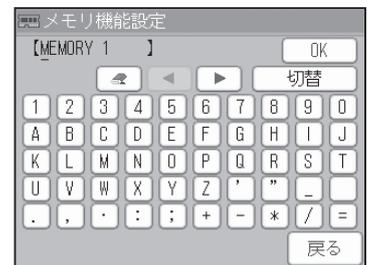


名前を設定します。



切替

英大文字、英小文字、カタカナと入力画面を切替えます。



- 4 「OK」をタッチします。  
名前が設定されます。



## 保存している設定を呼出す

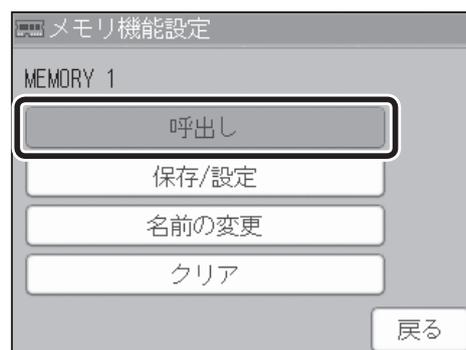
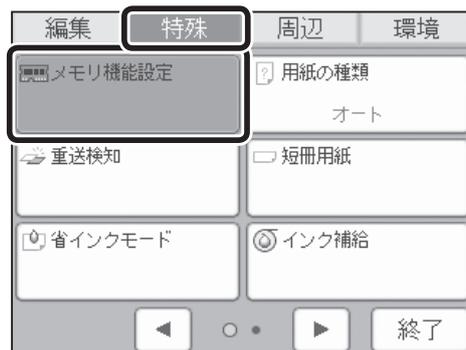
あらかじめ、保存した設定を使用したいときに呼出して、製版 / プリントを行います。  
 必要に応じて追加修正、呼出したメモリの枚数・組数のクリア、組数を2～5倍に変更することができます。  
 この場合の変更は、一時的なものなので、変更した設定は保存されません。

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 「メモリ機能設定」をタッチします。
- 5 呼出したいメモリ番号をタッチします。

### 参考

- 保存されているメモリには、左に  のアイコンが表示されます。

- 6 「呼出し」をタッチします。



**参考**

- 画面下のページ切替ボタンをタッチすると、次のページが表示されます。
- ここで「呼出し」をタッチすると、保存している設定が呼出されます。



●保存されている設定を確認する

- 1 「切替」をタッチします。  
保存されている設定が、表示されます。

**参考**

- 画面下のページ切替ボタンをタッチすると、次のページが表示されます。
- ここで「呼出し」をタッチすると、保存している設定が呼出されます。



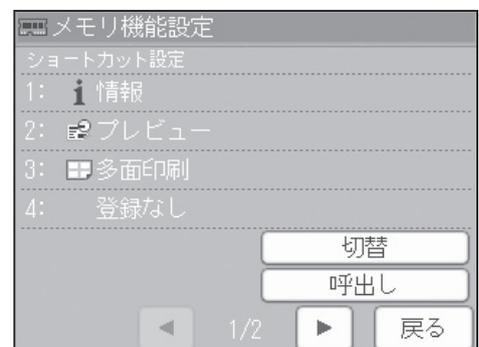
**重要**

- 設定を変更することはできません。

- 2 「切替」をタッチします。



- 3 ショートカット設定が表示されます。

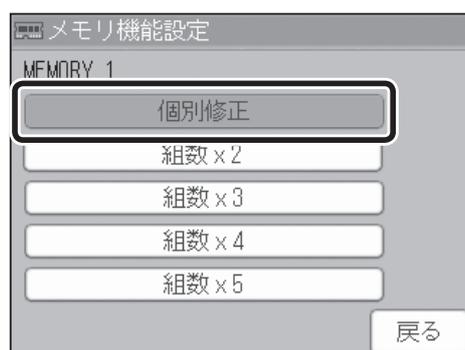


●枚数・組数を修正する / 組数を2～5倍に変更して呼出す

1 「修正」をタッチします。



2 「個別修正」をタッチします。  
保存されている枚数・組数が、表示されます。  
変更したい箇所をタッチし、テンキーで数値を入力します。



保存されている枚数・組数が、表示されます。  
変更したい箇所をタッチし、テンキーで数値を入力します。



参考

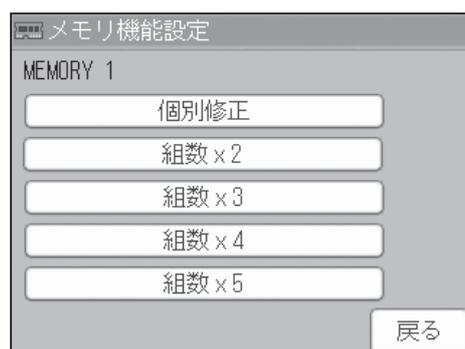
- 画面下のページ切替ボタンをタッチすると、次のページが表示されます。  
「全クリア」をタッチすると、枚数・組数が全てクリアされます。

原稿別に区分け処理を行う場合は、「区分け」をタッチし「原稿別プリント」をタッチします。

組数を2～5倍に変更する場合は、「組数×\*」をタッチします。

枚数が0枚の場合は、組数は1組のままです。

組数を2～5倍にして組数が99組を超える場合は、99組になります。



- 3 「呼出し」をタッチします。  
保存している設定が呼出されます。



- 4 「終了」をタッチします。



## 保存している設定をクリアする

メモリに保存している設定をクリアします。

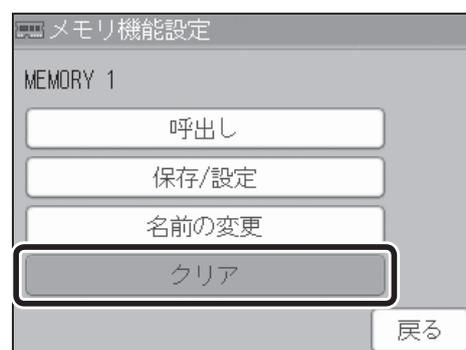
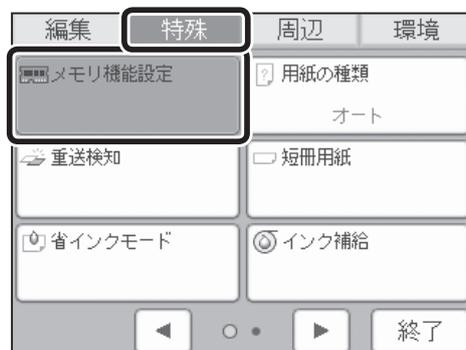
- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 「メモリ機能設定」をタッチします。
- 5 クリアしたいメモリ番号をタッチします。

### 参考

- 保存されているメモリには、左に  のアイコンが表示されます。

- 6 「クリア」をタッチします。

- 7 保存されている設定を確認します。

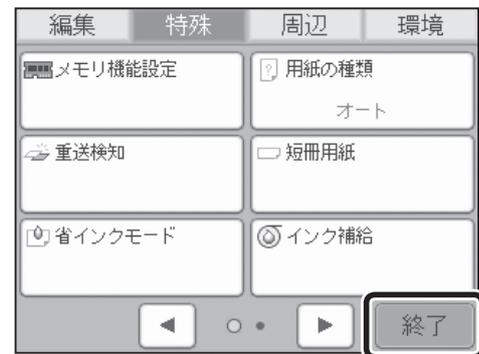


8 「クリア」をタッチします。



9 保存されている設定がクリアされます。

10 「終了」をタッチします。



# 特殊機能 用紙の種類

## 用紙の種類について

用紙の給紙を安定させます。

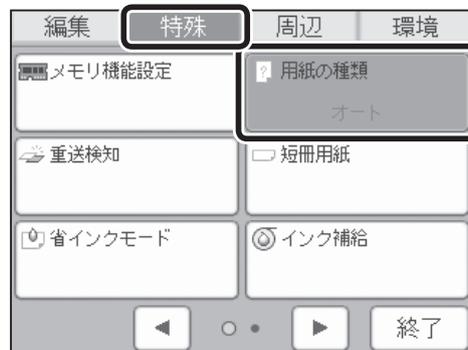
### 重要

- オートを設定していると、給紙圧レバーを厚紙に切替えたとき、自動的に厚紙が設定され、厚紙の給紙が安定します。

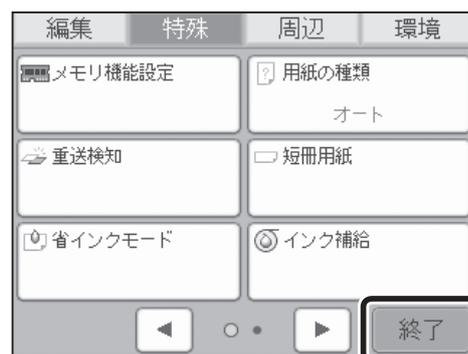
## 用紙種類の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 「用紙の種類」をタッチします。
- 5 「オート」、「標準」、「厚紙」から、使用する用紙に応じた項目をタッチします。
  - ・オート 給紙圧レバーを「厚紙」にすると、自動的に厚紙が設定されます。
  - ・標準 給紙圧レバーを「厚紙」「薄紙」にしても、すべて標準になります。
  - ・厚紙 給紙圧レバーを「普通紙」「薄紙」にしても、すべて厚紙になります。

※ CD56DP/CD53DP にはオート機能はついていません。  
厚紙を使用するときは、「厚紙」をタッチしてください。



6 「終了」をタッチします。



### 参考

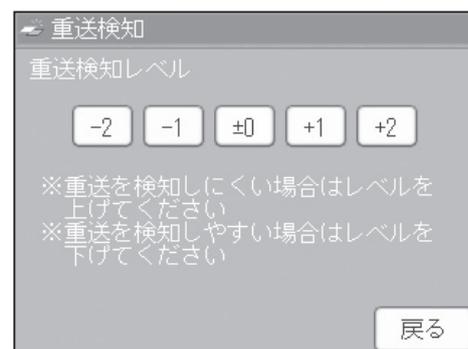
- 厚紙に設定すると、基本画面下に用紙の種類アイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、用紙の種類設定画面が表示され、設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。

●「重送検知」を「ON」に設定している場合

7 「重送検知レベル」設定画面が、表示されます。「重送検知レベル」をタッチします。重送検知が設定されます。

### 参考

- 重送を検知しにくい場合は、検知レベルを「+」の方を、タッチしてください。
- 重送を検知しやすい場合は、検知レベルを「-」の方を、タッチしてください。



4

その他の機能

# 特殊機能 重送検知

## 重送検知について

用紙が2枚以上重なって送られると、重送検知機能がはたらき、パネル上に用紙の2枚送りを検出したことをお知らせします。

### 参考

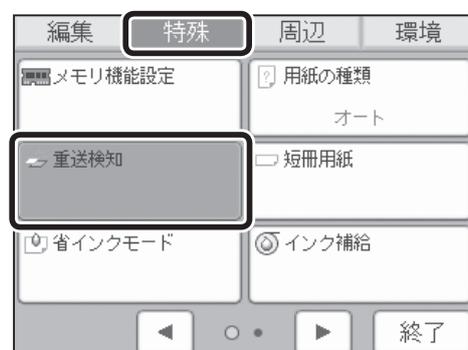
- 色のついた用紙、両面印刷、2度刷り、誤って厚さの違う用紙が混ざっているときは、重送と検知することがあります。
- テープクラスタ（オプション）を装着した機械は、テープクラスタの設定を「ON」にしていると、重送が発生した箇所に、テープを挿入します。
- CD56DP/CD53DPには重送検知機能はついていません。（オプション設定有り）

### 重要

- 短冊用紙を「ON」に設定しているときは使用できません。

## 重送検知の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 「重送検知」をタッチします。



5 「ON」をタッチします。

**参考**

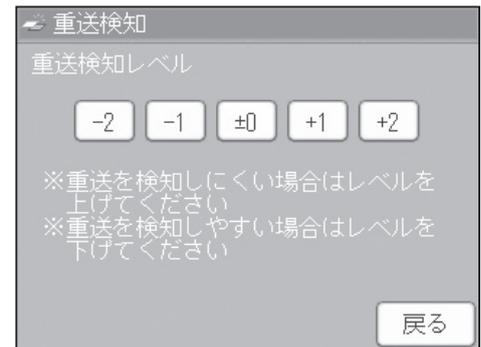
- 重送検知を OFF（標準）にする場合  
・「重送検知」をタッチし「OFF」をタッチします。



6 「重送検知レベル」をタッチします。  
重送検知が設定されます。

**参考**

- 重送を検知しにくい場合は、検知レベルを「+」の方をタッチしてください。
- 重送を検知しやすい場合は、検知レベルを「-」の方をタッチしてください。



7 終了をタッチします。



# 特殊機能 短冊用紙

## 短冊用紙について

幅の狭い「のし紙」をプリントする場合に、設定してください。

### 参考

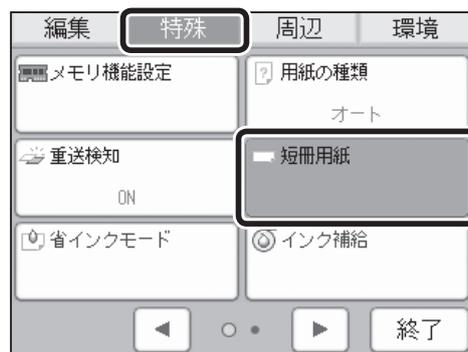
- 幅の狭い「のし紙」を使用する場合は、短冊紙対応キット（オプション）が必要です。  
短冊紙対応キットを取り付けても、用紙幅 50mm 以下の用紙は、セットすることはできません。

### 重要

- 短冊用紙の設定を使用する場合は、印刷位置（左右）の調整は行わないでください。印刷位置は、「↑0.0mm」の位置で使用してください。
- 短冊用紙を「ON」に設定すると、重送検知は強制的に「OFF」になります。

## 短冊用紙の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 「短冊用紙」をタッチします。



- 5 「ON」をタッチします。  
短冊用紙が設定されます。

### 参考

- 短冊用紙を OFF（標準）にする場合
  - ・「短冊用紙」をタッチし「OFF」をタッチします。



- 6 「終了」をタッチします。

### 参考

- 短冊用紙の設定をすると、基本画面下に短冊用紙のアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、短冊用紙設定画面が表示され、設定を変更することができます。ただし、全ての機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



# 特殊機能 省インクモード

## 省インクモードについて

原稿読取濃度を変更することにより、インクを最大 20% 程度節約してプリントすることができます。

### 重要

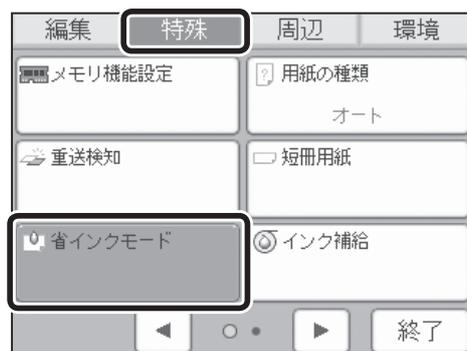
- 印刷イメージが、多少薄くなる場合があります。
- 省インクモードに設定するときは、製版から行ってください。
- 原稿および他の機能設定により大きく異なります。
- 再製版、パソコンインターフェース、USB メモリマネージャー（オプション）では使用できません。

## 省インクモードの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 「省インクモード」をタッチします。
- 5 「ON」をタッチします。  
省インクモードが設定されます。

### 参考

- 省インクモードを OFF（標準）にする場合  
・「省インクモード」をタッチし「OFF」をタッチします。



6 「終了」をタッチします。

### 参考

- 省インクモードの設定をすると、基本画面下に省インクモードのアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、省インクモード設定画面が表示され、設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



# 特殊機能 インク補給

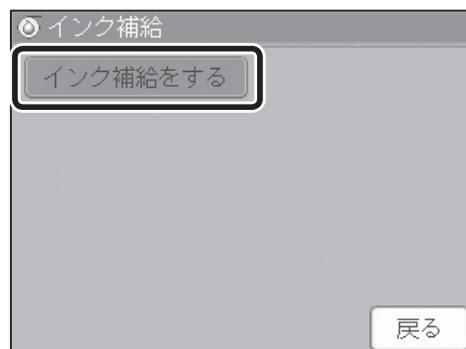
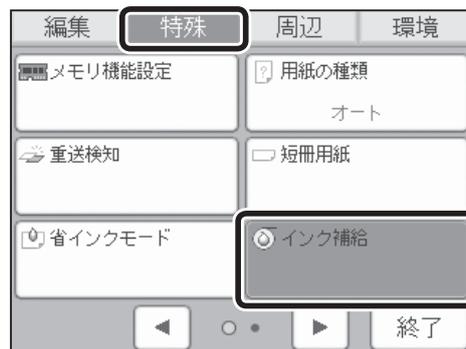
## インク補給について

インクを装着したときに、強制的にドラムにインクの補給を行います。

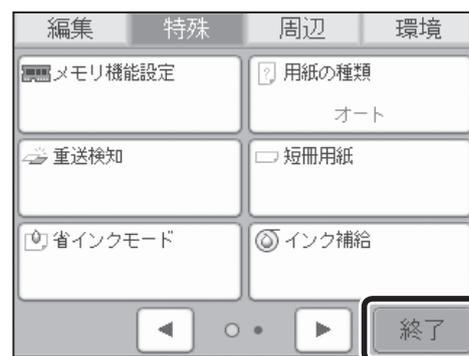
## インク補給のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 「インク補給」をタッチします。
- 5 「インク補給をする」をタッチします。  
インク補給が始まります。

インクが補給されると「ピッ」と音がなり機械が停止します。



6 「終了」をタッチします。



# 特殊機能 機密保持

## 機密保持について

- 機密文書など、他の人に見られたくないとき、簡単な操作でプリントを禁止することができます。製版を行わないと、プリントすることができません。
- ドラムに巻かれているマスターを、排版し何も製版されていないマスターを、ドラムに巻きつけることができます。

### 重要

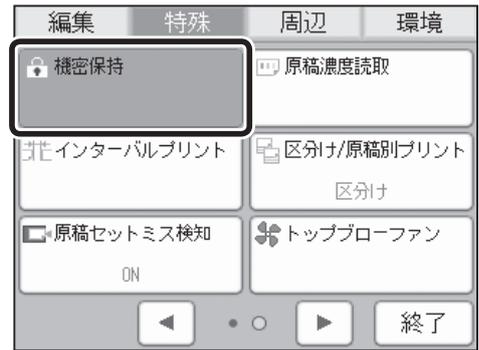
- 機密保持を設定すると、プリントとテストプリントと再製版機能が、できなくなります。プリントとテストプリントと再製版機能以外は、使用できます。
- 電源を切っても機密保持は解除されません。
- 機密保持が設定されていても製版はできます。
- 一度製版を行うと、機密保持は解除されます。

## 機密保持の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。



5 「機密保持」をタッチします。

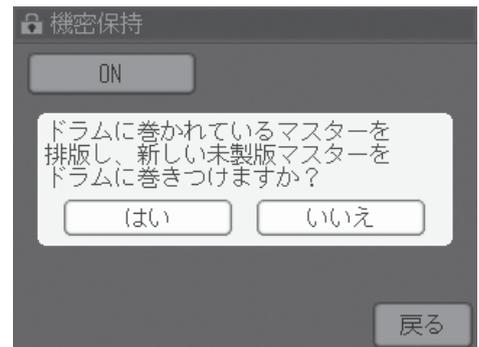


6 「ON」をタッチします。  
ドラムに巻かれているマスターを排版し、新しい未製版のマスターをドラムに巻きつけるか、を選択できます。



「はい」をタッチするとドラムに巻かれているマスターを排版し、何も製版されていないマスターをドラムに巻きつけます。

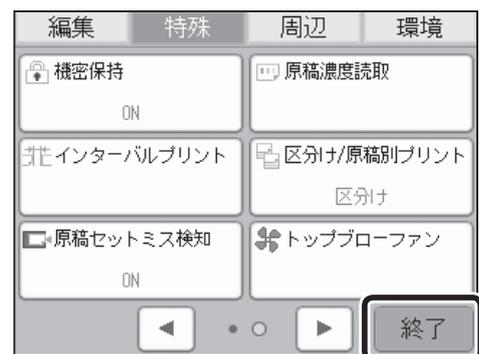
「いいえ」をタッチすると、機密保持を設定する前のマスターが巻きついたままになります。  
次に製版するまで  プリントキーや、 テストプリントキーで、プリントすることはできません。



7 「終了」をタッチします。

**参考**

- 機密保持の設定をすると、基本画面下に機密保持のアイコンが表示されます。  
ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



# 特殊機能 原稿濃度読取

## 原稿濃度読取について

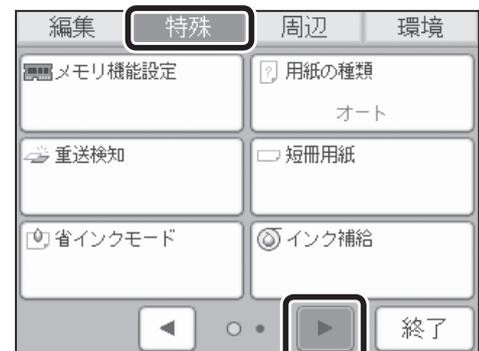
原稿濃度読取の設定は、原稿をより繊細に読取るための設定です。  
原稿全体の濃度を読取り、原稿の最も明るい部分を識別します。  
本などの中央が閉じてある原稿を読み取って、プリントするとき有効です。

### 重要

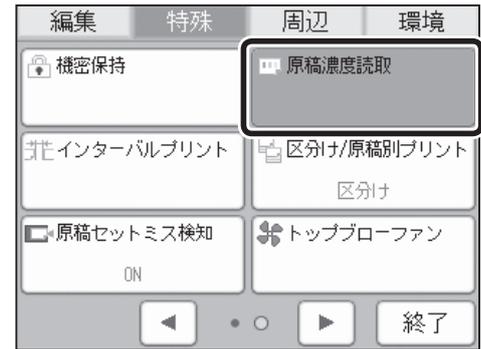
- 原稿全体の濃度を読取るために、「原稿濃度読取」を OFF に設定している場合より、製版時間が若干長くなります。
- 自動原稿送り装置（ADF）で製版する場合、「原稿濃度読取」は使用できません。
- 「原稿濃度読取」を OFF に設定している場合、原稿先端に黒ベタ部分があると、うすくプリントされます。このような場合は、「原稿濃度読取」を ON に設定してください。  
例：本、原稿先端に黒ベタがある原稿

## 原稿濃度読取の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。



5 「原稿濃度読取」をタッチします。



6 「ON」をタッチします。  
原稿濃度読取が設定されます。

**参考**

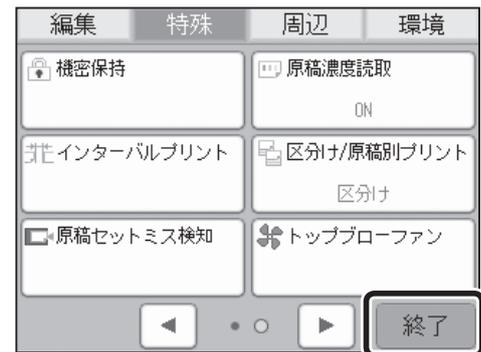
- 原稿濃度読取を OFF（標準）にする場合  
・「原稿濃度読取」をタッチし「OFF」をタッチします。



7 「終了」をタッチします。

**参考**

- 原稿濃度読取の設定をすると、基本画面下に原稿濃度読取のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、原稿濃度読取設定画面が表示され、設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



# 特殊機能 インターバルプリント

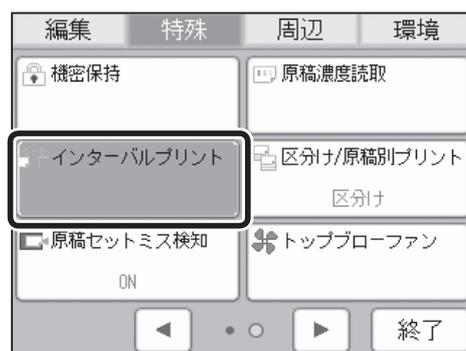
## インターバルプリントについて

プリント時、一定の間隔を開けて、プリントします。設定時間は1秒～99秒の間で設定できます。

- 区分け 指定した枚数を1組とし、1組ごとに設定時間（インターバル）を開けて、プリントすることができます。テープクラスタ使用時は、機能がはたらかみません。
- 1枚ずつ 1枚ごとに設定時間（インターバル）を開けて、プリントすることができます。

## インターバルプリントの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。
- 5 「インターバルプリント」をタッチします。



6 「1枚ずつ」または「区分け」をタッチします。



7 設定時間（1秒～99秒）を入力します。  
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
数値はテンキーからも入力できます。

8 「OK」をタッチします。  
インターバルプリントが設定されます。

**参考**

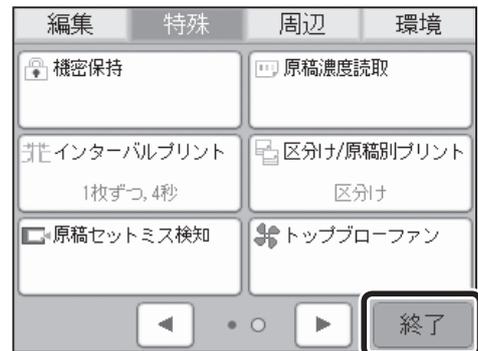
- インターバルプリントをOFF（標準）にする場合  
・「インターバルプリント」をタッチし「OFF」をタッチします。



9 「終了」をタッチします。

**参考**

- インターバルプリントの設定をすると、基本画面下にインターバルプリントのアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、インターバルプリント設定画面が表示され、設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



# 特殊機能 区分け / 原稿別プリントをする

## 区分け / 原稿別プリントについて

### ●区分けプリント

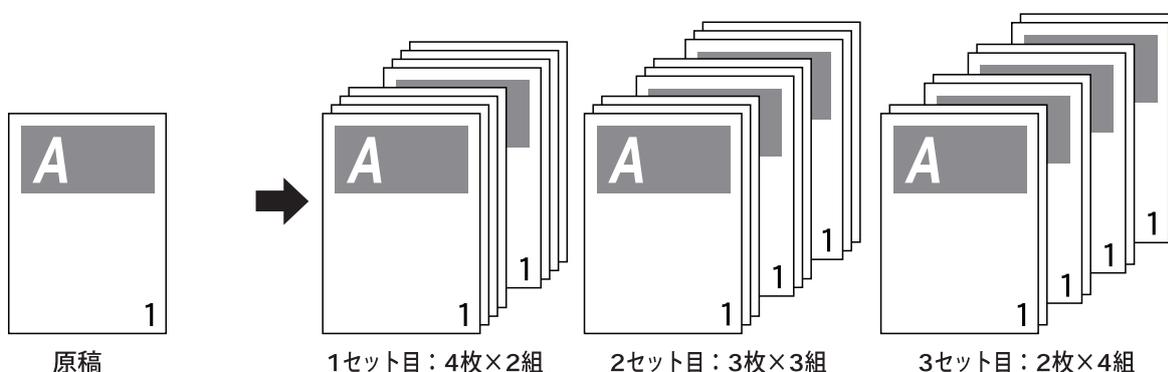
指定した枚数を1組とし、指定した組数だけ、プリントすることができます。

指定した枚数と組数の設定を、1セットとして90セットまでまとめて設定できます。

テープクラスタ（オプション）を装着しているときは、1組のプリントが終わるごとにテープを挿入します。

### 重要

- 「区分けプリント」の設定は、製版する前に行ってください。

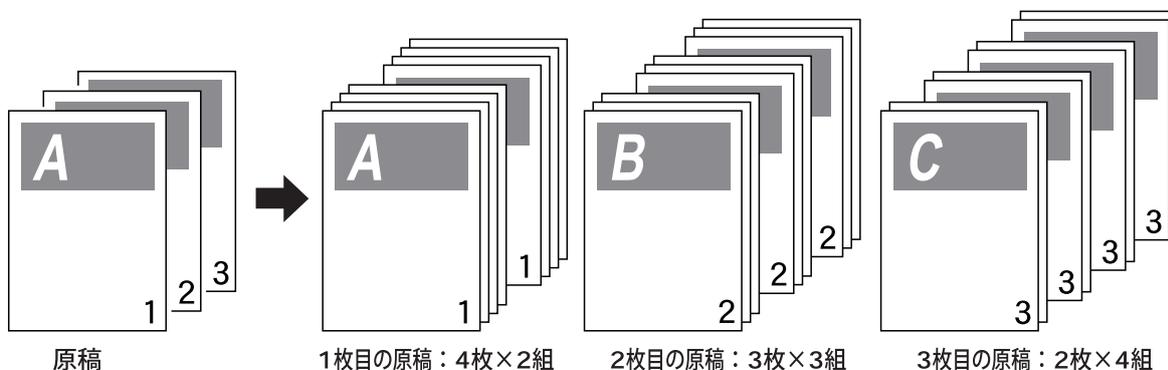


### ●原稿別プリント

原稿ごとにプリント枚数を変えることができます。あらかじめ90セット分の原稿について、それぞれのプリント枚数を設定できます。

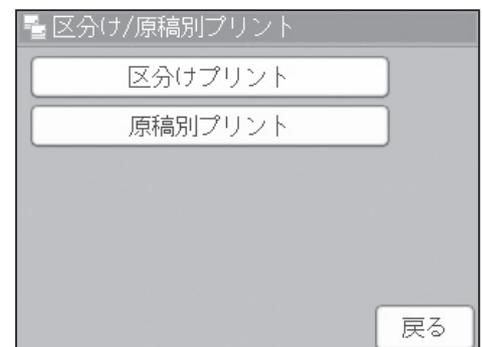
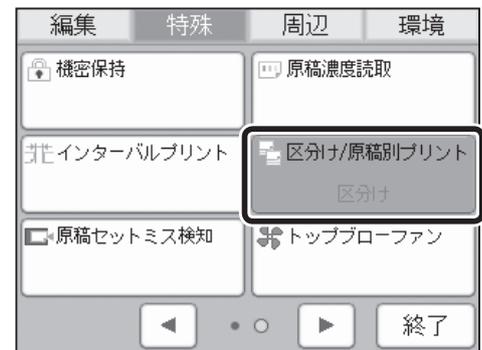
### 重要

- 「原稿別プリント」の設定は、製版する前に行ってください。



## 区分け / 原稿別プリントの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。
- 5 「区分け / 原稿別プリント」をタッチします。
- 6 「区分けプリント」または「原稿別プリント」をタッチします。  
区分け / 原稿別プリントが設定されます。



4

その他の機能

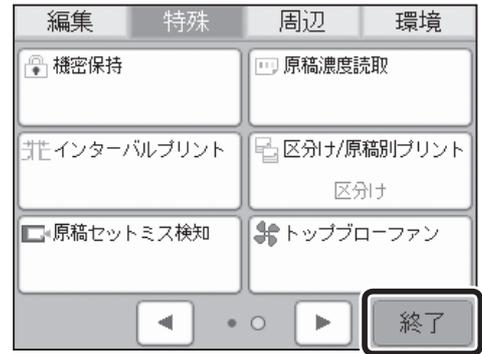
次ページへ続く...

## 特殊機能 区分け / 原稿別プリントをする

7 「戻る」をタッチします。

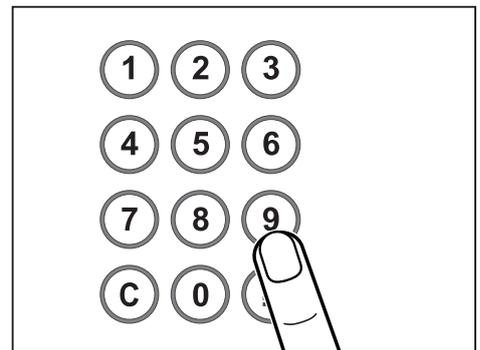
### 参考

- 原稿別プリントに設定すると、基本画面下に区分け / 原稿別プリントのアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、区分け / 原稿別プリント設定画面が表示され、設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



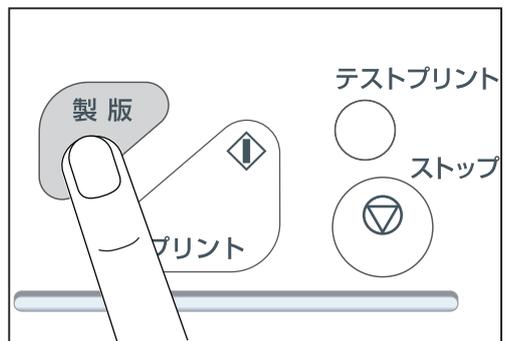
## 区分け / 原稿別プリントの入力のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 プリント枚数表示部分をタッチします。
- 3 テンキーを押してプリント枚数を入力します。
- 4  $\times$  キーを押します。  
プリント枚数が確定されます。
- 5 テンキーを押して組数を入力します。
- 6  $\times$  キーを押します。  
組数が確定されます。
- 7 手順 3～6 を繰り返します。  
90 セットまで入力が可能です。
- 8 「OK」を押します。
- 9  製版キーを押してください。



**重要**

- 最終に入力した枚数と組数よりプリントします。
- 入力した全てのプリントが、終了するまで  製版キーを受け付けません。
- 途中でプリントをやめたいときは、 ストップキーを押したあと、クリアキーを押してください。
- 枚数・組数入力画面でも区分けプリント / 原稿別プリントの設定を、切替えることができます。
- 入力を間違えたときは、間違えた箇所をタッチし、テンキーで再入力してください。



4

その他の機能

## テープで区分けしてプリントする (テープクラスタ装着機のみ)

指定した枚数を1組として、指定した組数だけプリントし、1組プリントし終わるごとにテープを挿入します。また、指定した枚数と組数の設定を、1から90セットまでまとめて設定できます。

### 重要

- テープによる区分けをするには、「テープクラスタ」が必要です。  
ご使用の場合は、「テープクラスタ」の取扱説明書を参照してください。

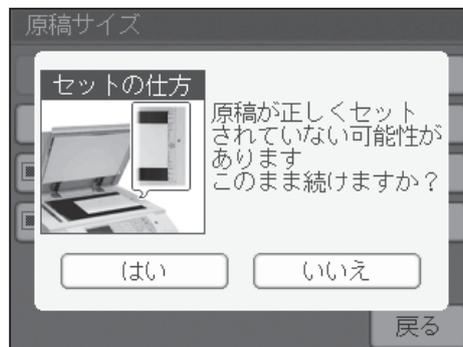
# 特殊機能 原稿セットミス検知

## 原稿セットミス検知について

原稿を読取るときに、原稿台ガラスに原稿が置かれていなかったり、原稿が正しくセットされていない場合にお知らせします。  
(参考→P. 19「原稿台ガラスに原稿をセットする」)

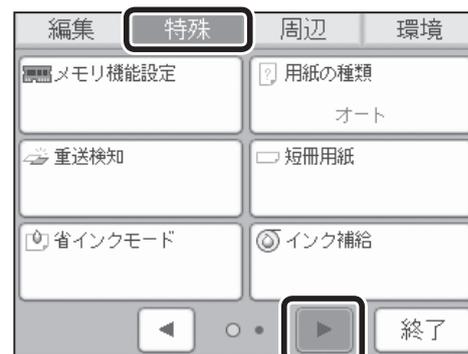
### 重要

- 原稿の角が曲がっていたりすると、誤って検知される場合があります。
- 誤って検知されるときは、原稿セットミス検知の設定を「OFF」にしてください。



## 原稿セットミス検知の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。



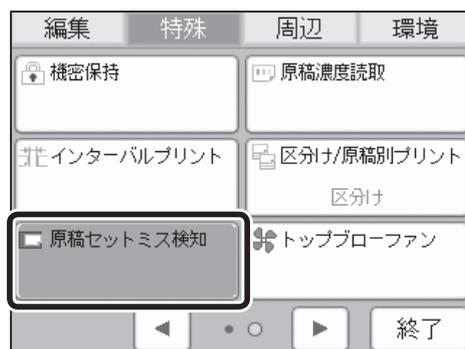
4

その他の機能

次ページへ続く…

## 特殊機能 原稿置きミス検知

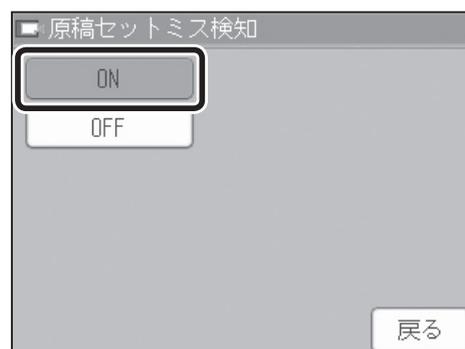
5 「原稿セットミス検知」をタッチします。



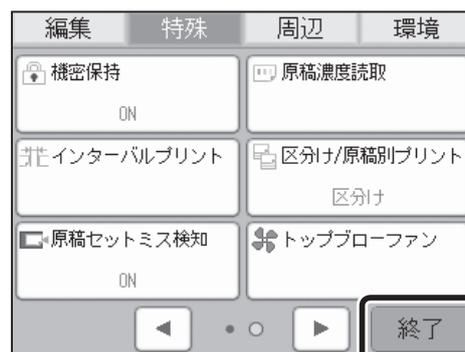
6 「ON」をタッチします。  
原稿セットミス検知が設定されます。

### 参考

- 原稿セットミス検知を OFF（標準）にする場合  
・「原稿セットミス検知」をタッチし「OFF」をタッチします。



7 「終了」をタッチします。



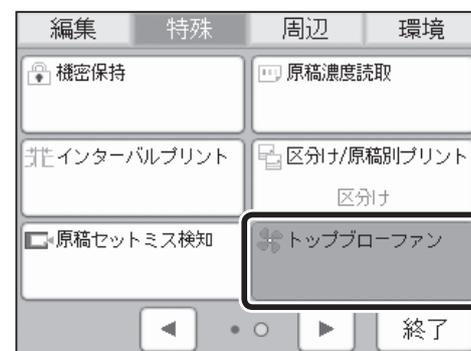
# 特殊機能 トップブローファン

## トップブローファンについて

通常、トップブローファンの風量は自動的に調節されます。  
特殊な用紙を使用してプリントを行う場合や、原稿の黒ベタの状態適切に排紙できない場合は、トップブローファンの風量を調整して正常に排紙させることができます。  
GD56DP/CD53DPには、トップブローファンの設定はありません。

## トップブローファンの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「特殊」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。
- 5 「トップブローファン」をタッチします。



4

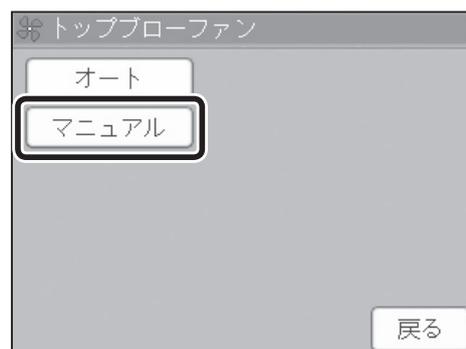
その他の機能

次ページへ続く...

6 「マニュアル」をタッチします。

**参考**

- オートを設定した場合  
用紙サイズによって自動で風量が、「標準」と「やや弱く」を切り替え調整されます。



7 トップブローファンの風量をタッチします。  
トップブローファンが設定されます。

**参考**

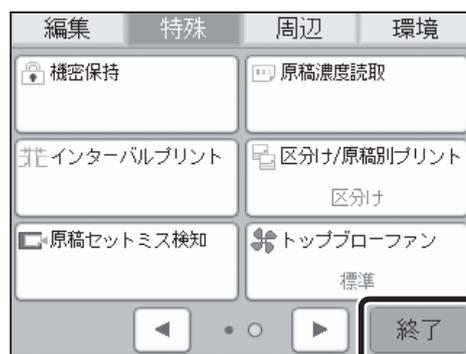
- 「弱く」<「やや弱く」<「標準」<「強く」の順で風量が強くなります。  
「OFF」に設定すると、トップブローファンから風が出ません。



8 「終了」をタッチします。

**参考**

- トップブローファンを「マニュアル」に設定すると、基本画面下にトップブローファンのアイコンが表示されます。  
アイコンをタッチすれば、トップブローファン設定画面が表示され、設定を変更することができます。  
ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



# 周辺機能 オンラインモード

## パソコンを使ってプリントする

オンラインモードの設定は、パソコンを使用してプリントする場合の設定です。

「オート」は2原稿以上のとき、続けて製版が始まります。

「マニュアル」は2原稿以上の場合、1原稿製版・プリントごとにプリント動作が止まり、設定枚数以上の増刷が可能になります。2原稿以降の製版開始は、印刷機本体の  製版キーを押すことにより再開します。

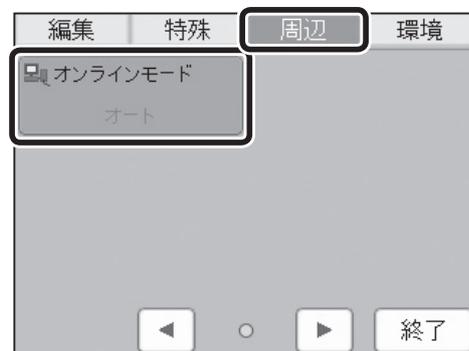
初期設定はオートになっています。

### 重要

- USB ケーブルで接続する場合  
必ず USB ケーブルは、AB タイプコネクタで、長さが3m以内のものを使用してください。長さが3mを超えるものを使用すると、正常な製版ができない場合があります。

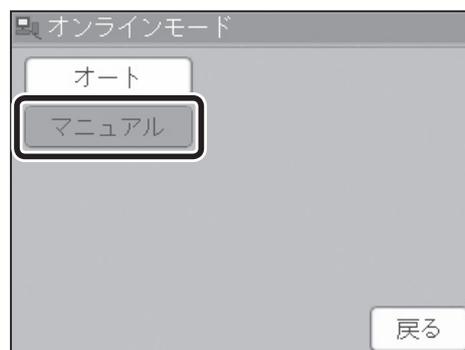
## オンラインモードの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「周辺」をタッチします。
- 4 「オンラインモード」をタッチします。



## 周辺機能 オンラインモード

- 5 「マニュアル」をタッチします。



- 6 「終了」をタッチします。  
オンラインモードが設定されます。

### 参考

- マニュアルモードでは、1原稿製版・プリントごとにプリント動作が止まります。2原稿以降の製版は印刷機本体の製版キーを押してください。

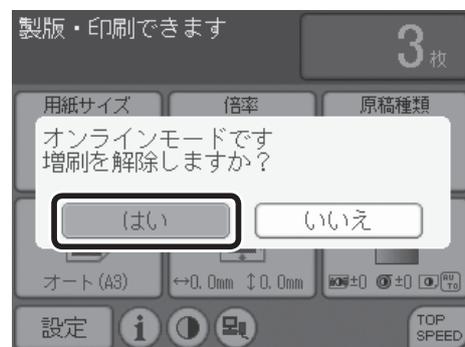
### 参考

- オンラインモードを「マニュアル」に設定すると、基本画面下にオンラインモードのアイコンが表示されます。アイコンをタッチすれば、オンラインモード設定画面が表示され、設定を変更することができます。ただし、全て他の機能をショートカット設定で登録している場合、アイコンは表示されません。



## マニュアル設定時の増刷の解除のしかた

- 1 製版キーを押します。



- 2 「はい」をタッチします。  
次の原稿の製版が始まります。

# 環境機能 初期設定

## 初期設定について

機械の初期設定をお客様の使いやすいように、設定することができます。また、初期設定を、工場出荷時の設定に戻すこともできます。

### 簡易設定

印刷スピード / 用紙サイズ / 倍率 / 原稿種類 / 原稿サイズ / 濃度 / 90° 回転 / 省インクモード  
を変更できます。

### メモリ 1 ~ 9

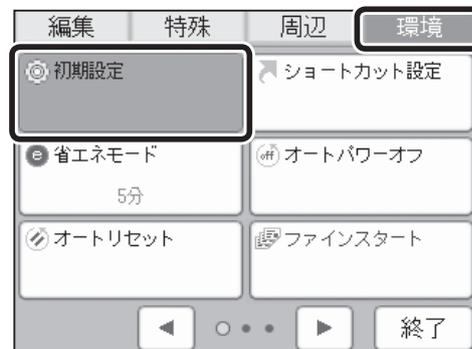
メモリ機能設定のメモリ 1~9 から選択できます。  
(参考→P.100「特殊機能 メモリ機能設定」)

### 参考

- 初期設定は、電源を入れたときや、 リセットキーを押したときに戻る「標準モード」の設定です。

## 初期設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 「初期設定」をタッチします。



●簡易設定

5 「簡易設定」をタッチします。



6 「印刷スピード / 用紙サイズ / 倍率 / 原稿種類 / 濃度 / 90° 回転 / 原稿サイズ / 省インクモード」をタッチし好みの設定に変更します。

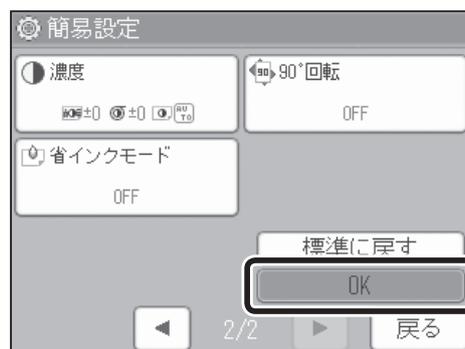
画面下のページ切替ボタンをタッチすると、次のページが表示されます。

**参考**

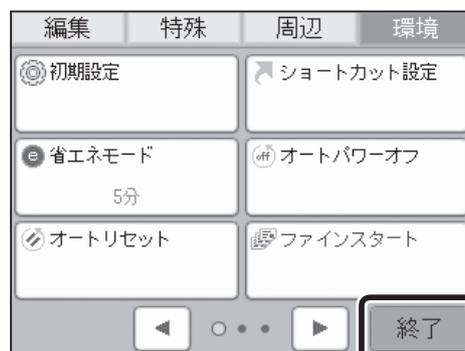
- 工場出荷時の設定に戻したい場合  
・「標準に戻す」をタッチします。



7 「OK」をタッチします。  
初期設定が設定されます。



8 「終了」をタッチします。



●メモリ機能設定

5 呼出したいメモリ番号をタッチします。

参考

- 保存されているメモリには、左に  のアイコンが表示されます。



6 「切替」をタッチすると、保存されている設定が確認できます。

画面下のページ切替ボタンをタッチすると、次のページが表示されます。

参考

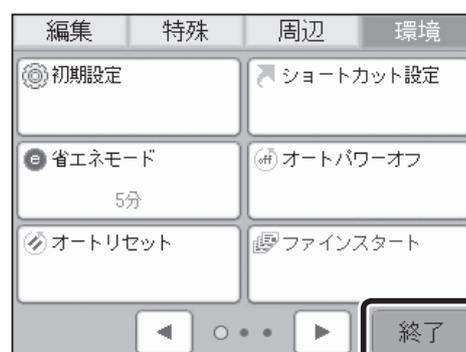
- 設定を変更することはできません。  
変更する場合はメモリ機能設定で設定してください。  
(参考→P.100「特殊機能 メモリ機能設定」)



7 「OK」をタッチします。  
初期設定が設定されます。



8 「終了」をタッチします。



# 環境機能 ショートカット設定

## ショートカット設定について

よく使用する機能を、基本画面下にアイコンを表示させ、アイコンをタッチすることにより、その機能を設定できます。

ショートカット設定は最大6個まで登録できます。

### ● ショートカット設定で登録できる項目

編集	特殊	周辺	環境
プレビュー	メモリ機能設定	USB メモリ※ <sup>1</sup>	日付時刻
多面印刷	用紙の種類	オンラインモード※ <sup>1</sup>	言語設定
ブック影消し	重送検知※ <sup>3</sup>	テープクラスタ※ <sup>1</sup>	情報
90° 回転	製版開始位置設定※ <sup>1</sup>	排紙受けサイズ※ <sup>1</sup>	
180° 回転	短冊用紙		
原稿編集	省インクモード		
再製版機能	機密保持		
	原稿濃度読取		
	インターバルプリント		
	区分け / 原稿別プリント		
	原稿セットミス検知		
	トップブローファン※ <sup>2</sup>		

※<sup>1</sup> オプション装着時のみ、※<sup>2</sup> CD86DP/CD66DP のみ、※<sup>3</sup> 仕様により、機能がついていない場合があります。

### 参考

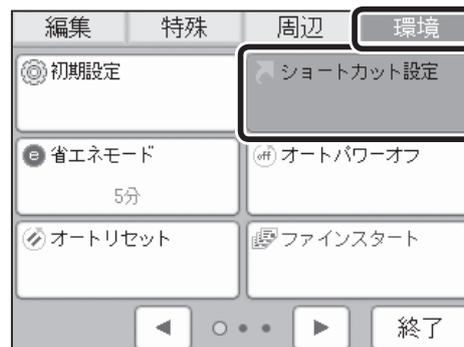
- 設定キーを押して、機能選択するとき、機能名の横にアイコンが表示されている、機能のみショートカット設定が可能です。
- メモリ機能設定でも保存、呼出しができます。

1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。

2 「設定」をタッチします。

3 「環境」をタッチします。

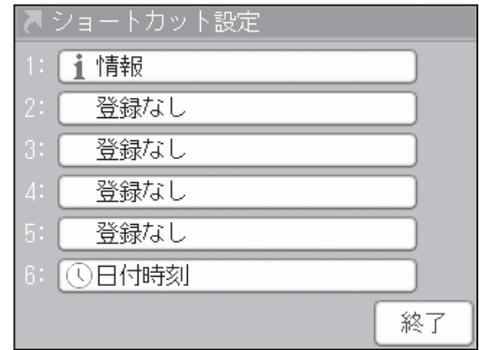
4 「ショートカット設定」をタッチします。



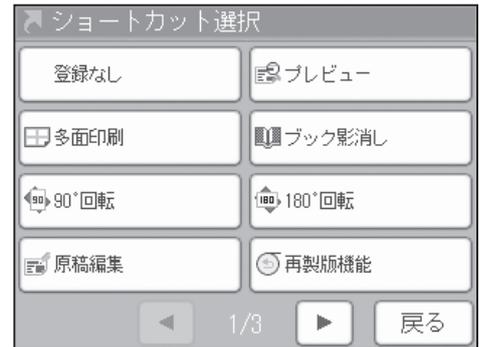
5 設定をする番号をタッチしてください。

**参考**

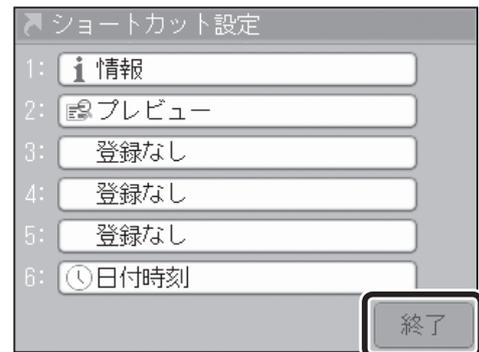
- 設定できる項目は、6個までです。



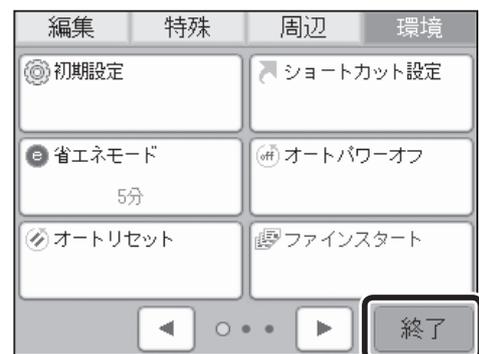
6 ショートカットに設定をする項目をタッチします。設定が登録されます。



7 「終了」をタッチします。



8 「終了」をタッチします。



9 基本画面下にショートカットのアイコンが、表示されます。

アイコンをタッチすると、それぞれのアイコンに対応した機能の設定画面に移動します。

**参考**

- 設定が入っているアイコンは色が変わります。



# 環境機能 省エネモード

## 省エネモードについて

一定時間操作されないと、液晶（タッチパネル）を自動的に OFF します。（待機時の消費電力を低減します。）設定できる時間は 1～99 分です。

出荷時は 5 分に設定されています。

- ・省電力優先・・・省電力になりますが、復帰には多少時間がかかります。電源スイッチを押すと、省エネモードから復帰します。
- ・復帰時間優先・・・省電力優先と比べると、消費電力は多少上がりますが、復帰時間が早くなります。各キー、液晶（タッチパネル）を押すと、省エネモードから早く復帰します。

### 重要

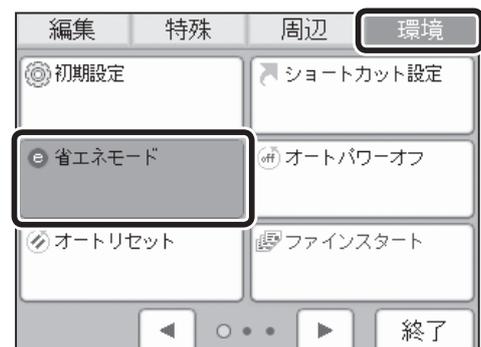
- 原稿押え板が開いていると、省エネモードは、はたらきません。

### 参考

- 省エネモードがはたらいているときは、電源スイッチが点灯、消灯を繰り返します。
- 省エネモードがはたらいているとき、電源スイッチを押すと、省エネモードから復帰します。

## 省エネモードの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 「省エネモード」をタッチします。



5 「省電力優先」または「復帰時間優先」をタッチします。

6 時間を設定します。  
 「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
 「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
 1分～99分まで設定することができます  
 数値はテンキーからも入力できます。

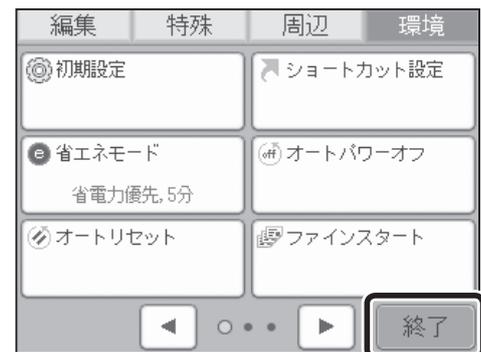


7 「OK」をタッチします。  
 省エネモードが設定されます。

### 参考

- 省エネモードを OFF（標準）にする場合
  - ・「省エネモード」をタッチし「OFF」をタッチします。

8 「終了」をタッチします。



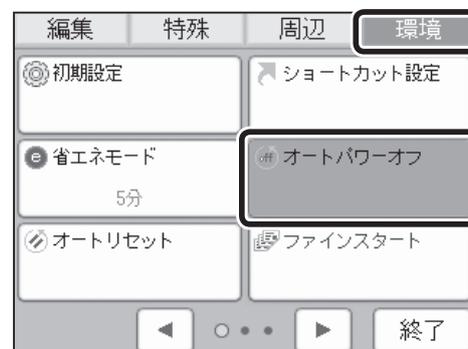
# 環境機能 オートパワーオフ

## オートパワーオフについて

一定時間操作されないと、本機の電源を自動的に切ります。  
設定できる時間は1～99分です。  
出荷時はOFFに設定されています。

## オートパワーオフの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 「オートパワーオフ」をタッチします。
- 5 「ON」をタッチします。
- 6 時間を設定します。  
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
1分～99分まで設定することができます。  
数値はテンキーからも入力できます。

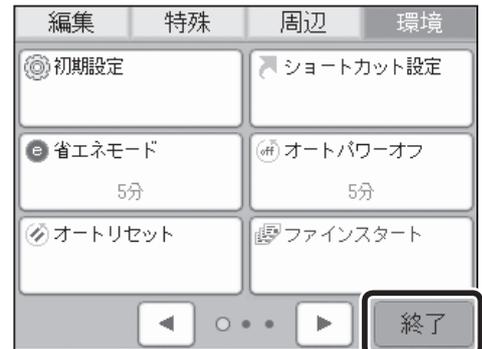


- 7 「OK」をタッチします。  
オートパワーオフが設定されます。

**参考**

- オートパワーオフをOFF（標準）にする場合
  - ・「オートパワーオフ」をタッチし「OFF」をタッチします。

- 8 「終了」をタッチします。



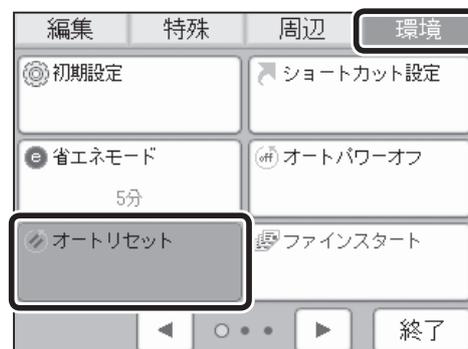
# 環境機能 オートリセット

## オートリセットについて

一定時間操作されないと、本機を自動的にリセットし、設定を「標準モード」に戻します。  
設定できる時間は1～99分です。  
出荷時はOFFに設定されています。

## オートリセットの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 「オートリセット」をタッチします。
- 5 「ON」をタッチします。
- 6 時間を設定します。  
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
1分～99分まで設定することができます。  
数値はテンキーからも入力できます。

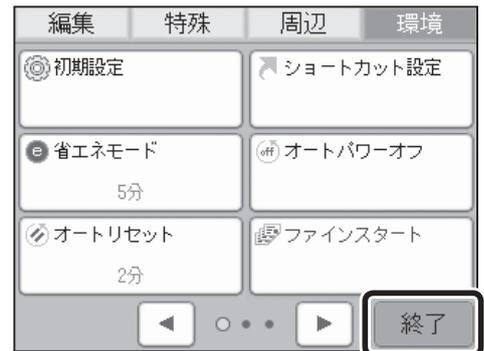


- 7 「OK」をタッチします。  
オートリセットが設定されます。

**参考**

- オートリセットをOFF（標準）にする場合
  - ・「オートリセット」をタッチし「OFF」をタッチします。

- 8 「終了」をタッチします。



# 環境機能 ファインスタート

## ファインスタートについて

長時間使用していないときや、ドラムを交換したときにプリントをすると、刷り初めの数枚が薄くプリントされることがあります。ファインスタートの設定を行うと、刷り初めから鮮明にプリントでき、余分な用紙の使用を減らすことができます。

### 参考

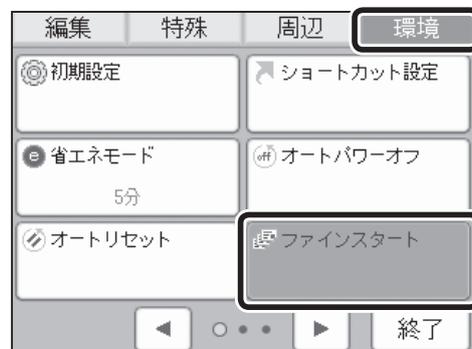
- ファインスタートの設定を行うと、製版時間が長くなります。  
特に次のような場合には製版時間が長くなります。
  - ・前回のプリント終了後より、長時間経過した場合。
  - ・機械周辺の温度が低い場合。

### 重要

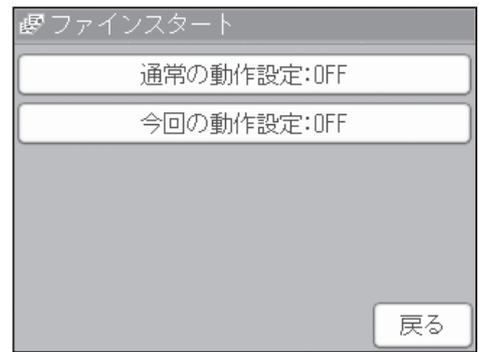
- ファインスタートがONの場合でも、少ない枚数（20枚以下）で製版・プリントを連続して行った場合には、刷りはじめの数枚が薄くなる場合があります。  
「電池切れです」が表示されている場合、ファインスタートは正常に動作しません。

## ファインスタートの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 「ファインスタート」をタッチします。



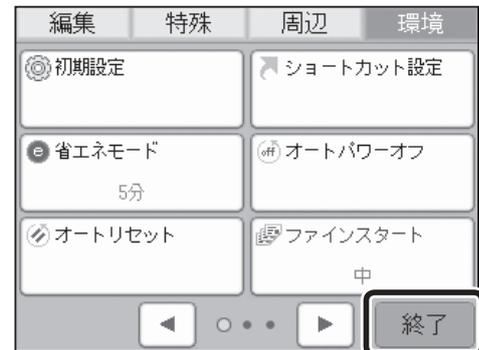
- 5 「動作設定」をタッチします。
- ・「通常の動作設定」  
製版ごとにファインスタートが動作します。
  - ・「今回の動作設定」  
一回の製版のみファインスタートが動作します。次回  
の製版では自動的に OFF に設定されます。  
ここでは「通常の動作設定」をタッチしたとして説明し  
ます。



- 6 ファインスタートの強さを選択します。
- 弱：「中」よりも製版してから、最初の1枚目がプリントされるまでの時間が短くなります。  
「中」よりもファーストイメージは薄くなります。
- 中：経過時間に応じた条件で、ファインスタートがはたらきます。
- 強：「中」よりも製版してから、最初の1枚目がプリントされるまでの時間が、長くなります。  
「中」よりもファーストイメージは濃くなります。
- ここでは「中」をタッチしたとして説明します。  
ファインスタートが設定されます。



- 7 「終了」をタッチします。



# 環境機能 最適プリント

## 最適プリントについて

最適プリントの設定は、室内の温度条件に応じて、印刷濃度と印刷スピードを調整して、もっとも仕上がりのよい状態にするための設定です。

印刷スピードは1～5速の範囲で設定できます。

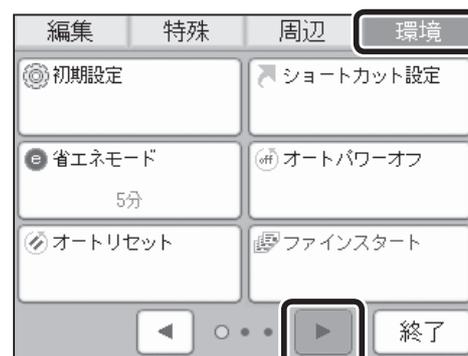
出荷時はOFFに設定されています。

### 重要

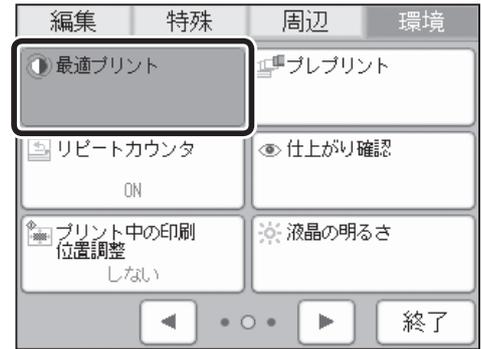
- 最適プリントの設定をONにすると、初期設定で印刷濃度をオートに設定していた場合、電源を入れたとき、または<sup>リセット</sup>リセットキーを押したとき、印刷濃度の設定はマニュアルになります。
- 印刷濃度の設定が変わります。

## 最適プリントの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。



5 「最適プリント」をタッチします。



6 「ON」をタッチします。



7 印刷スピードを設定します。  
「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
数値はテンキーからも入力できます。

**参考**

- TOP SPEED に設定することができません。

8 「OK」をタッチします。  
最適プリントが設定されます。

**参考**

- 最適プリントを OFF (標準) にする場合  
・「最適プリント」をタッチし「OFF」をタッチします。

9 「終了」をタッチします。



# 環境機能 プレプリント

## プレプリントについて

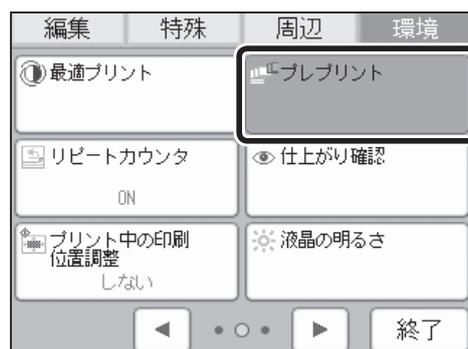
製版後、初めの何枚かをプリント枚数にカウントしないように、設定できます。例えば、3枚に設定しておくと、設定枚数をカウントしないで3枚プリントし、4枚目からカウントを始めます。プレプリント枚数は1～99枚まで設定できます。出荷時はOFFに設定されています。

### 参考

- プレプリントの枚数はトータル印刷枚数には加算されません。

## プレプリントの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。
- 5 「プレプリント」をタッチします。



- 6 「ON」をタッチします。
- 7 枚数を設定します。  
 「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
 「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
 1枚～99枚まで入力ができます。  
 数値はテンキーからも入力できます。

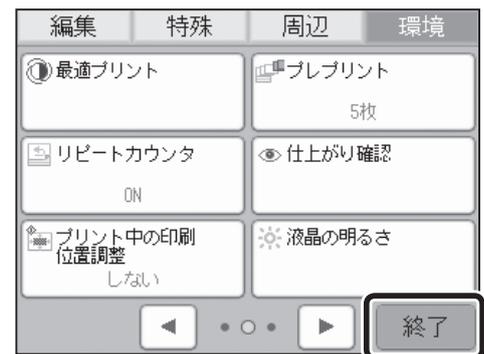


- 8 「OK」をタッチします。  
 プレプリントが設定されます。

**参考**

- プレプリントを OFF（標準）にする場合  
 ・「プレプリント」をタッチし「OFF」をタッチします。

- 9 「終了」をタッチします。



# 環境機能 リピートカウンタ

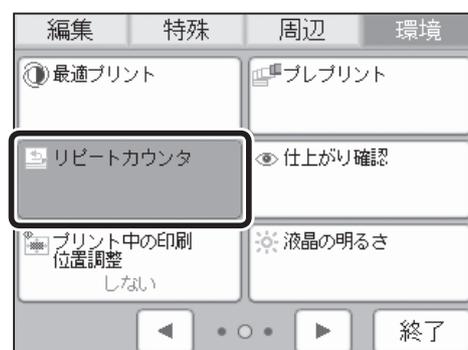
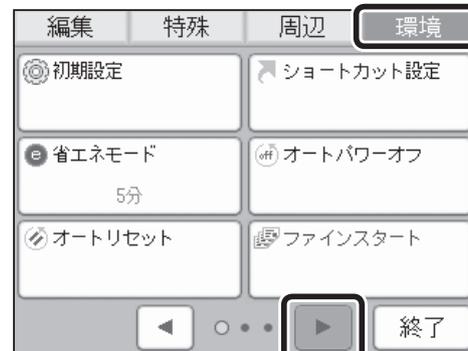
## リピートカウンタについて

設定枚数プリント終了後、液晶（タッチパネル）上に設定枚数をリピートするか、設定枚数全てクリアするか設定できます。

出荷時は「ON」に設定されています。

## リピートカウンタの設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。
- 5 「リピートカウンタ」をタッチします。



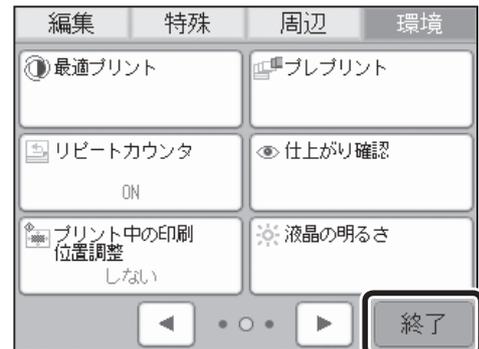
- 6 「ON」をタッチします。  
リpeatカウンタが設定されます。

### 参考

- リpeatカウンタをOFF（標準）にする場合
  - ・「リpeatカウンタ」をタッチし「OFF」をタッチします。



- 7 「終了」をタッチします。



### 重要

- 自動原稿送り装置 (ADF) に原稿をセットしている場合は、リpeatカウンタを「OFF」に設定していても、プリント終了時、設定枚数はクリアされません。

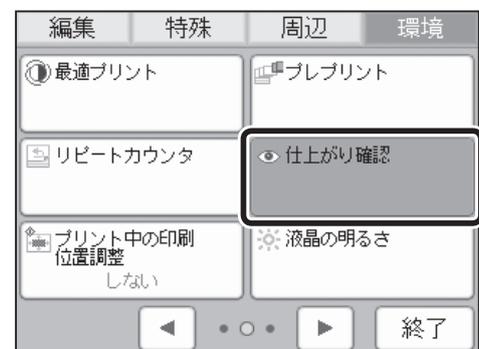
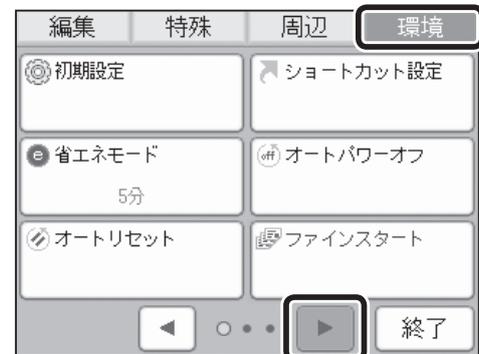
# 環境機能 仕上がり確認

## 仕上がり確認について

設定枚数に関係なく、製版後、1枚プリントして停止します。  
出荷時は「OFF」に設定されています。

## 仕上がり確認の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチしてください。
- 3 「環境」をタッチしてください。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチしてください。
- 5 「仕上がり確認」をタッチしてください。



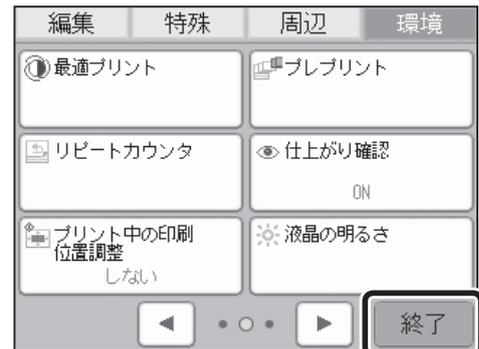
6 「ON」をタッチしてください。

**参考**

- 仕上がり確認を OFF（標準）にする場合
  - ・「仕上がり確認」をタッチし「OFF」をタッチします。
  - ・ リセットキーを押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。



7 「終了」をタッチしてください。



# 環境機能 プリント中の印刷位置調整

## プリント中の印刷位置調整について

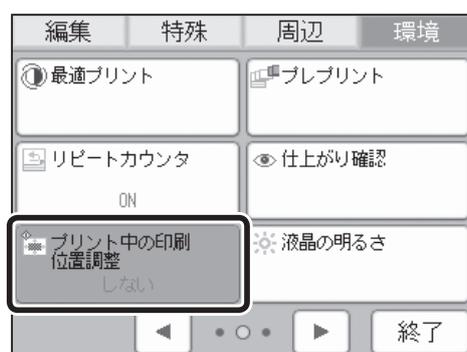
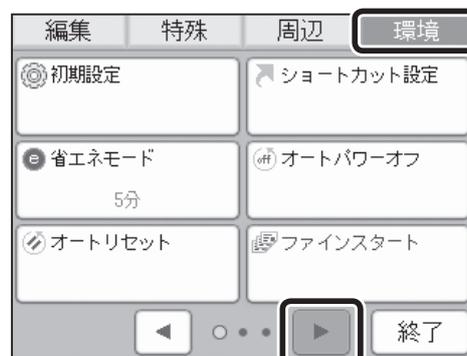
プリント中に印刷位置調整キーを押して、印刷位置を調整することができます。

### 重要

- プリント中に印刷位置を調整しているときは、印刷位置の精度、給紙性能が悪くなる場合があります。
- CD56DP/CD53DP の印刷位置（左右方向）は、「給紙横微動ダイヤル」を回して調整してください。

## プリント中の印刷位置調整の設定のしかた

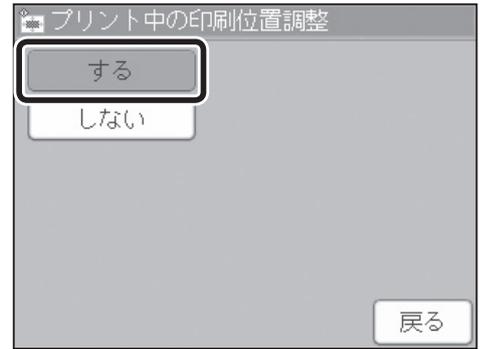
- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。
- 5 「プリント中の印刷位置調整」をタッチします。



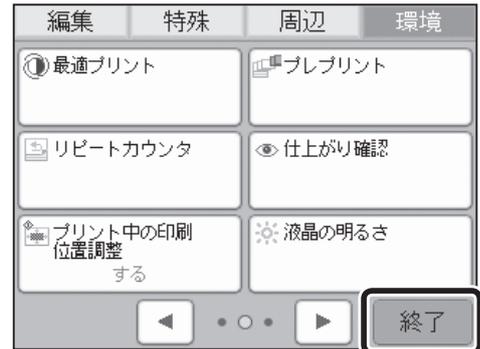
- 6 「する」をタッチします。  
 プリント中の印刷位置調整が設定されます。

**参考**

- プリント中の印刷位置調整を OFF（標準）にする場合
  - ・ 「プリント中の印刷位置調整」をタッチし「しない」をタッチします。
  - ・ <sup>リセット</sup> リセットキーを押してください。この場合、すべての設定が「標準モード」に戻ります。

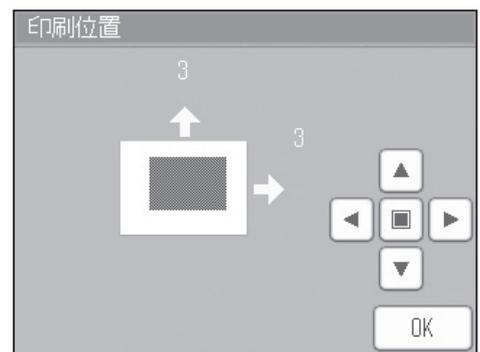


- 7 「終了」をタッチします。



**重要**

- 印刷位置の表示がmm表示から段階表示に変わります。
  - ・ 天地（上下）方向 ↔ 30 段階、左右方向 ↓ 20 段階の調整範囲になります。
  - ・ プリント中に印刷位置調整キーを押して、印刷位置を調整することができます。



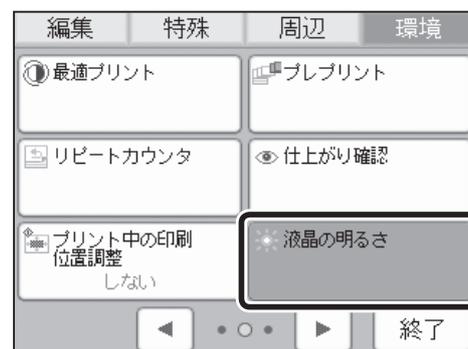
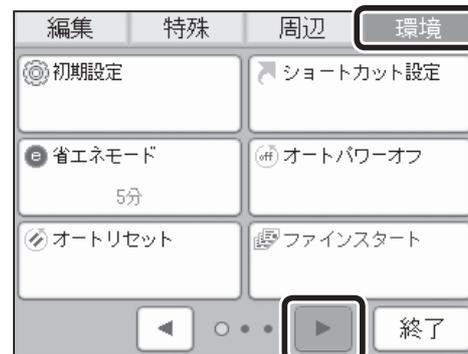
# 環境機能 液晶の明るさ

## 液晶の明るさ調整について

表示が見づらいときは、液晶の明るさを調整することができます。

## 液晶の明るさ調整の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンをタッチします。
- 5 「液晶の明るさ」をタッチします。



- 6 「ON」をタッチします。
- 7 枚数を設定します。  
「暗い」をタッチすると、液晶が暗くなります。  
「明るい」をタッチすると、液晶が明るくなります。



- 8 「OK」をタッチします。  
液晶の明るさが設定されます。

- 9 「終了」をタッチします。



# 環境機能 日付時刻

## 日付時刻について

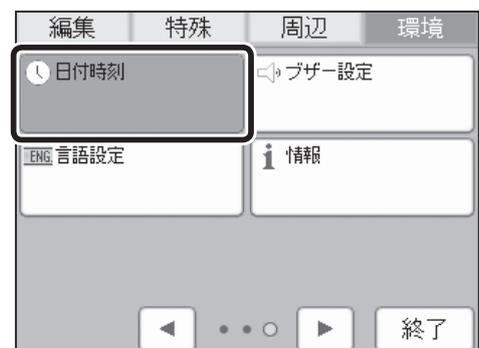
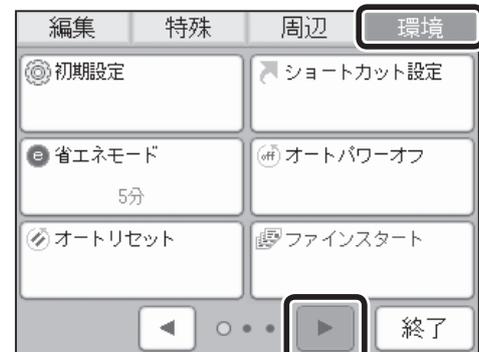
日付時刻を設定します。

### 重要

- 「電池切れです」が表示された場合、サービス実施店にご連絡いただき、電池交換を行ってください。

## 日付時刻の設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンを2回タッチします。
- 5 「日付時刻」をタッチします。



- 6 修正したい箇所をタッチし、日付時刻を設定します。  
 「+」をタッチすると、数値が大きくなります。  
 「-」をタッチすると、数値が小さくなります。  
 数値はテンキーからも入力できます。

### 参考

- 基本画面の時刻をタッチしても日付時刻の設定画面になります。



- 7 「OK」をタッチします。  
 日付時刻が設定されます。

- 8 「終了」をタッチします。



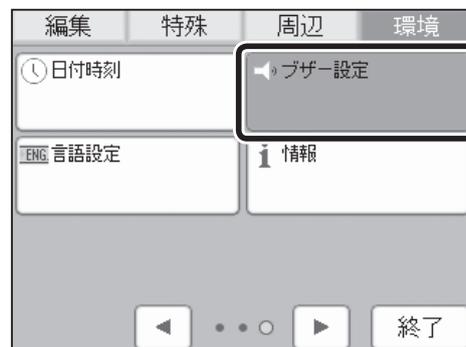
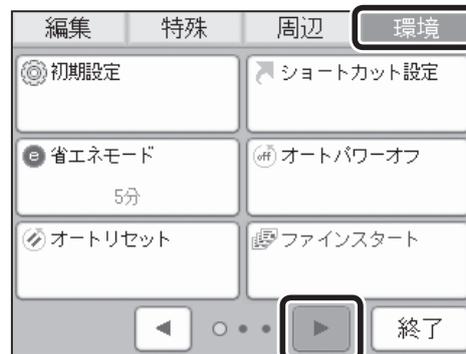
# 環境機能 ブザー設定

## ブザー設定について

ブザー音量、ブザー音の ON/OFF を、設定することができます。  
出荷時の操作音は「ON」、完了音は「OFF」、エラー音は「ON」に設定されています。

## ブザー設定のしかた

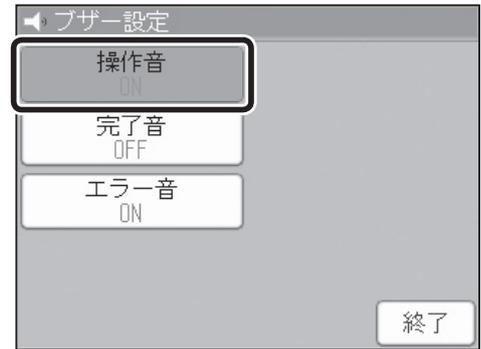
- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンを2回タッチします。
- 5 「ブザー設定」をタッチします。



6 設定をするブザー音をタッチします。

- ・ 操作音  
操作音の ON/OFF と音量を調整します。
- ・ 完了音  
完了音の ON/OFF と音量を調整します。
- ・ エラー音  
エラー音の ON/OFF と音量を調整します。

ここでは「操作音」をタッチしたとして説明します。



7 ブザー音量を設定します。  
「大」をタッチすると、音量が大きくなります。  
「小」をタッチすると、音量が小さくなります。  
「OFF」をタッチすると音が鳴りません。



8 「OK」をタッチします。  
「操作音」が設定されます。

9 「終了」をタッチします。



10 「終了」をタッチします。



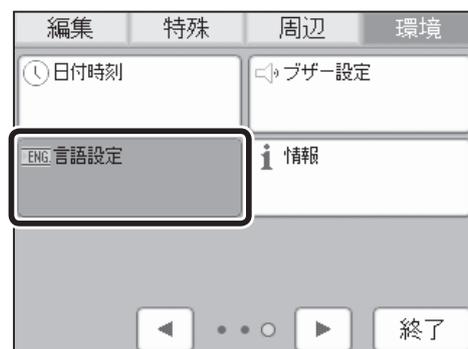
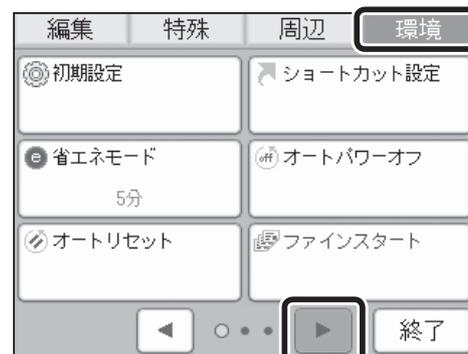
# 環境機能 言語設定

## 言語設定について

液晶に表示される言語を、日本語か、英語を選択して設定できます。

## 言語設定のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンを2回タッチします。
- 5 「言語設定」をタッチします。



- 6 液晶に表示される言語を選択し、タッチします。



- 7 「END」をタッチします。



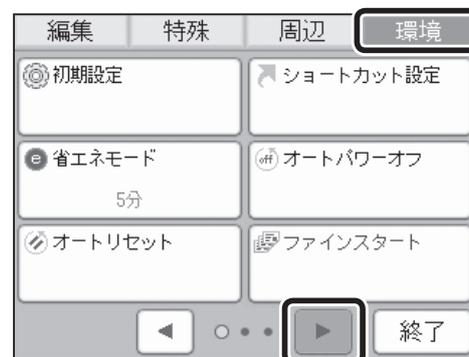
# 環境機能 情報

## 情報について

トータル製版数、トータル印刷枚数、ロールマスターの残量状況、使用済みマスターの処理状況、インクの色、日付時刻、ショートカット設定の内容を確認することができます。

## 情報の確認のしかた

- 1 液晶（タッチパネル）が、基本画面になっていることを確認します。
- 2 「設定」をタッチします。
- 3 「環境」をタッチします。
- 4 画面下のページ切替ボタンを2回タッチします。
- 5 「情報」をタッチします。



- 6 トータル製版数、トータル印刷枚数、ロールマスターの残量状況、使用済みマスターの処理状況、インクの色、日付時刻を確認できます。  
画面下のページ切替ボタンをタッチします。



- 7 ショートカット設定の内容を確認することができます。



- 8 「戻る」をタッチします。



- 9 「終了」をタッチします。





# 5

## 第 5 章

# 消耗品の交換のしかた

この章では、ロールマスターやインクパックなどの消耗品の交換のしかたについて説明します。

.....

インクパックの交換 .....	174
インクパックの交換について .....	174
インクパックの交換のしかた .....	174
ロールマスターの交換 .....	177
ロールマスターの交換について .....	177
ロールマスターの交換のしかた .....	177
使用済みマスターの処理のしかた .....	180
使用済みマスターの処理について .....	180
ドラムユニットの交換 .....	182
ドラムユニットの交換について .....	182
ドラムの取出しかた .....	182
ドラムのセットのしかた .....	183
サバキユニットの交換 .....	185
サバキユニットの交換について .....	185
補助サバキの交換 .....	186
補助サバキの交換について .....	186

.....

# インクパックの交換

## インクパックの交換について

インクの残量が少なくなると、液晶（タッチパネル）に「インクがありません」というメッセージが表示されます。

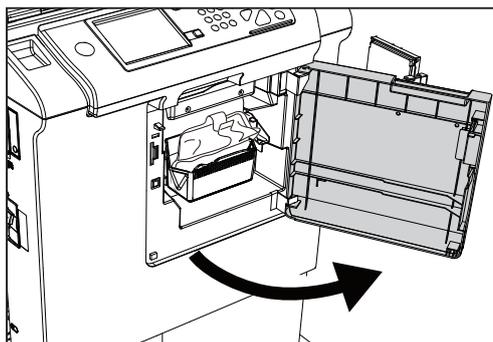
下記の手順に従って、新しい「インクパック」と交換してください。

### 重要

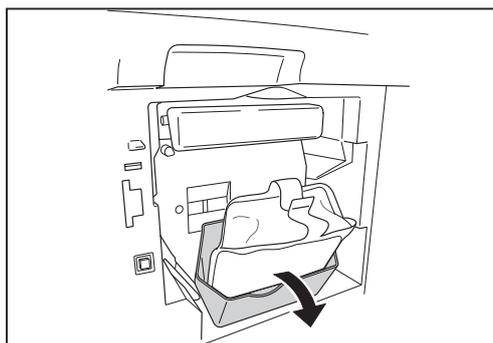
- 「インクパック」は必ず、本機専用の純正インクパックをご使用ください。
- 「インクパック」は必ず、セットしてください。「インクパック」をセットしない状態で、機械を動作させないでください。
- 使用済み「インクパック」は、各自治体の指導に従い廃棄してください。

## インクパックの交換のしかた

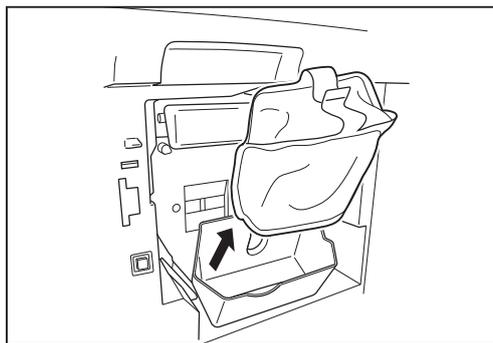
- 1 「前カバー」を開きます。



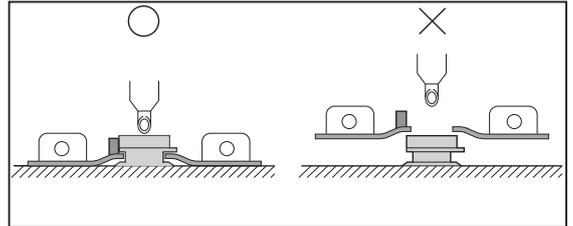
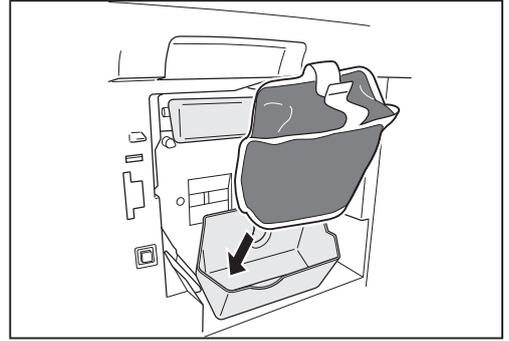
- 2 「インクホルダー」をつかんで、手前に引きます。



- 3 空になった「インクパック」を上に取り除きます。

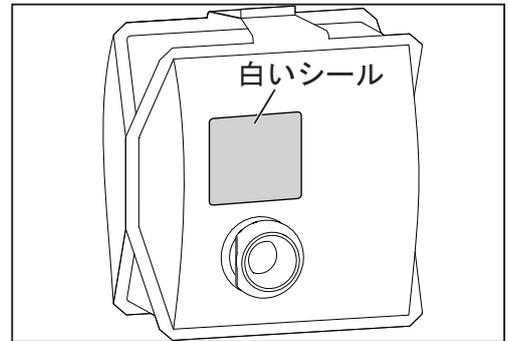


- 4 新しいインクパックのキャップを外してください。インクパック口金部の溝が、ホルダーU字部にはまるように、「インクパック」を入れます。

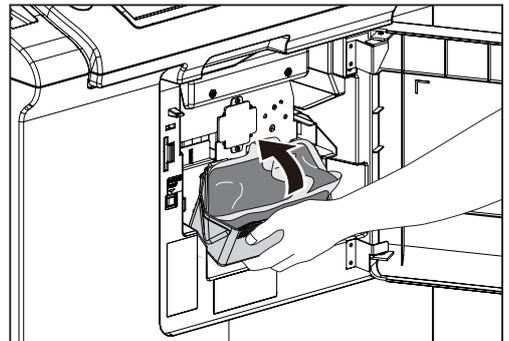


**重要**

- 「インクパック」に貼ってある白いシールは、はがさないでください。機械が正常に動作しなくなります。

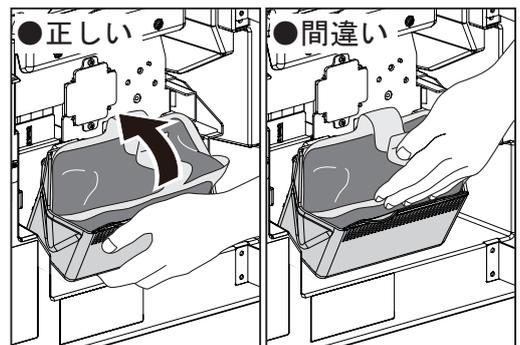


- 5 「インクパック」が奥まで入っていることを確認してから、「インクホルダー」を戻します。



**重要**

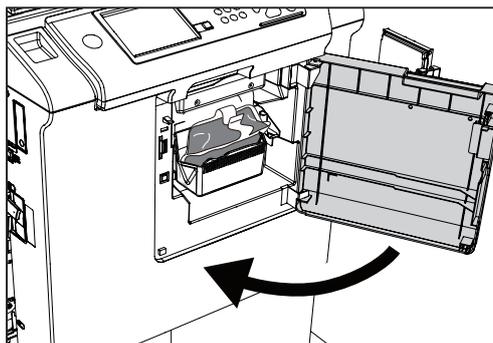
- 「インクホルダー」を戻すときは、「インクホルダー」を持って戻してください。「インクパック」に手を掛けたり、インクパックを押して戻すと、正常にセットできず、インクを最後まで使用することができなくなる可能性があります。



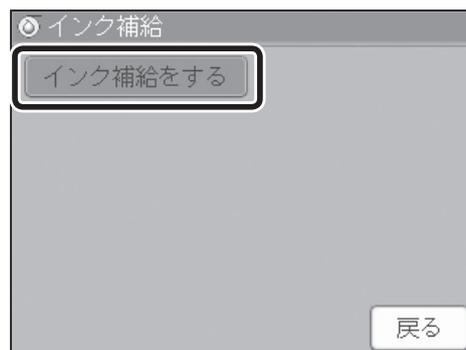
次ページへ続く...

## インクパックの交換

6 「前カバー」を閉じてください。



7 「インク補給をする」をタッチします。  
(参考→ P. 120 “インク補給のしかた”)



# ロールマスターの交換

## ロールマスターの交換について

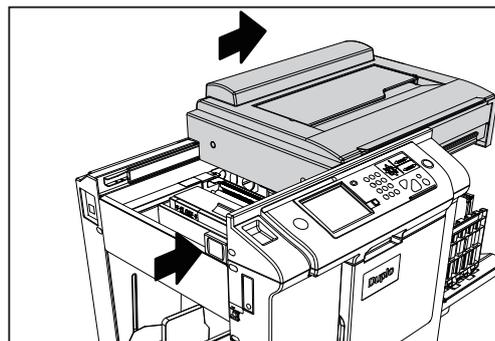
ロールマスターがなくなると、液晶（タッチパネル）に「マスターが無くなりました」というメッセージが、表示されます。下記の手順に従って、新しいロールマスターと交換してください。

### 重要

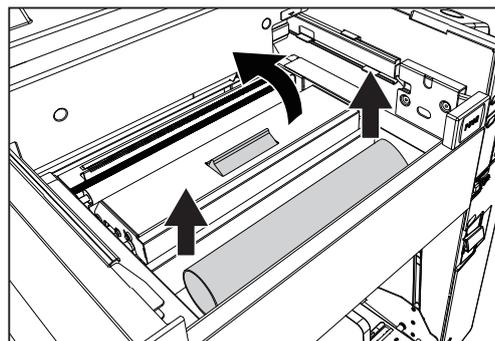
- ロールマスターは必ず、本機専用の純正ロールマスターをご使用ください。
- ロールマスターの入っている箱の上には、重いものをのせないでください。  
ロールマスターにキズが入り、正常な製版ができなくなります。
- 箱から取り出したマスターは、そのまま放置しないでください。  
ロールマスター表面に異物が付着して、正常な製版ができなくなります。
- 直射日光のあたる場所、高温、高湿、低温、低湿の場所には保管しないでください。

## ロールマスターの交換のしかた

- 1 「スキャナ開閉ボタン」を押して、「スキャナユニット」をスライドさせてください。



- 2 「マスターカバー PUSH レバー」を押してください。「マスターカバー」が開きます。



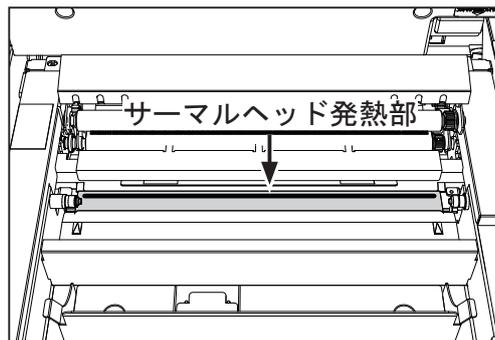
- 3 使用済みロールマスターを上引き抜いてください。

### 警告

- 警告ラベルの貼ってあるカバーは、外さないでください。
- 内部に可動する刃物があり、けがのおそれがあります。

### 重要

- サーマルヘッド発熱部には、絶対に手を触れないでください。キズがつく恐れがあります。キズがついてしまうと、正常な製版ができなくなります。



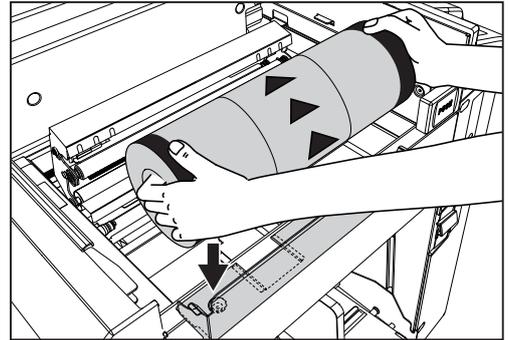
次ページへ続く…

5

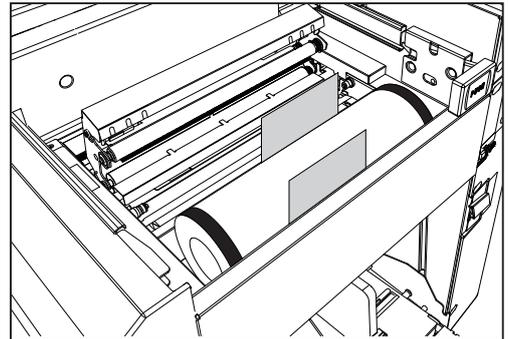
消耗品の交換のしかた

## ロールマスターの交換

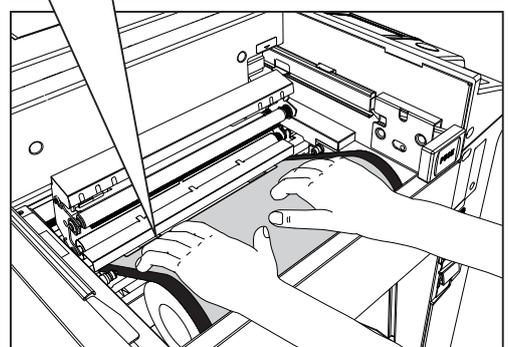
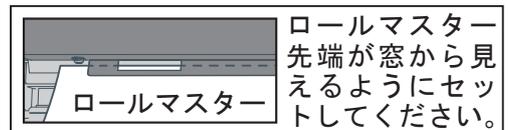
- 4 新しいロールマスターを、袋から取り出してください。
- 5 帯封の矢印の向きに注意して、本体にセットしてください。



- 6 帯封をはがして、抜き取ってください。



- 7 ロールマスターを引き出して、ロールマスター先端を合わせてください。

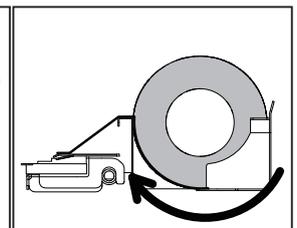
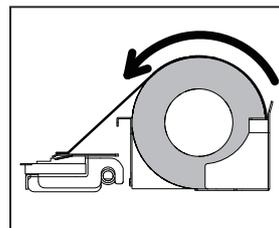


### 重要

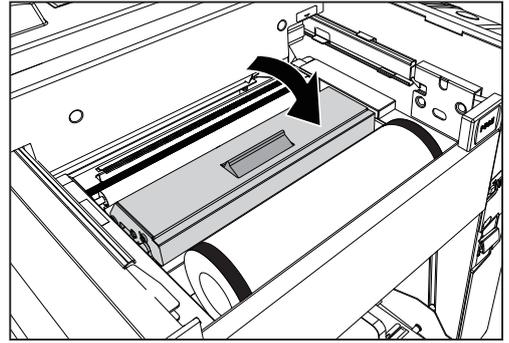
- ロールマスターは、必ず正しい方向へ引き出してください。
- ロールマスターは、窓から見えるまで、引き出してセットしてください。

●正しい

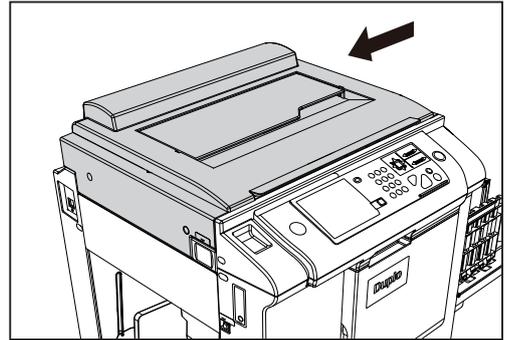
●間違い



- 8 マスターカバーを閉めてください。



- 9 「スキャナユニット」をスライドさせ、元に戻してください。  
 ロールマスターが自動的にセットされます。



**重要**

- ロールマスターが正常にセットされなかった場合、「再度マスターをセットして下さい」が表示されます。  
 マスターカバーを開けて、マスターのセットをやり直してください。
- 一度セットしたロールマスターは、使用途中で他の機械に使用しないでください。

# 使用済みマスターの処理のしかた

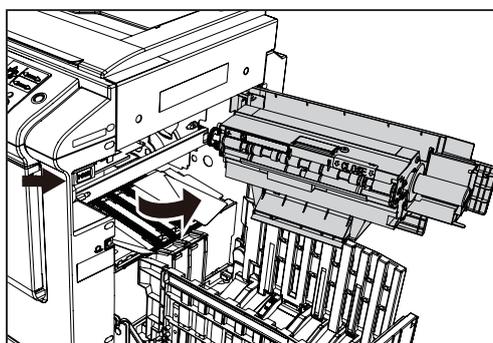
## 使用済みマスターの処理について

「排版ロール」がいっぱいになると、液晶（タッチパネル）に「使用済みマスターが満杯です」というメッセージが表示されます。下記の手順に従って、使用済みマスターを捨ててください。

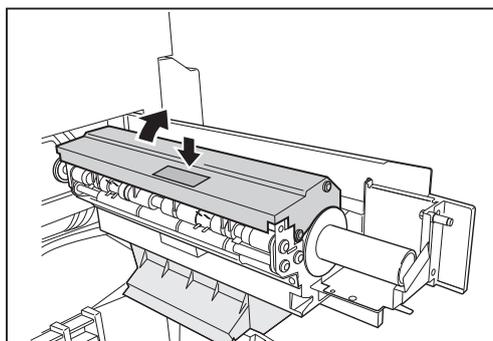
### 重要

- 排版ロールは必ず、本機専用の排版ロールをご使用ください。
- オプションのセキュリティ排版ボックスをご使用の方は、管理者にご連絡ください。

- 1 「排版ボックス開閉ボタン」を押して、「排版ボックス」を開いてください。



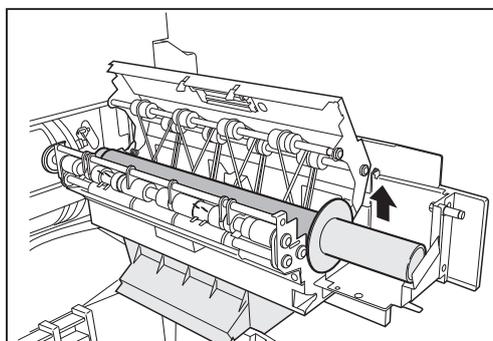
- 2 「排版ボックス PUSH レバー」を押しながら、「排版カバー」を上を開いてください。



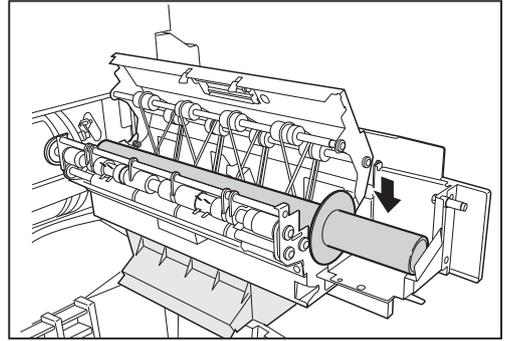
- 3 「排版ロール」の端を持って、ロールを取り出し、ゴミ箱等の上で「排版ロール」を傾けて、使用済みマスターを取り除いてください。

### 重要

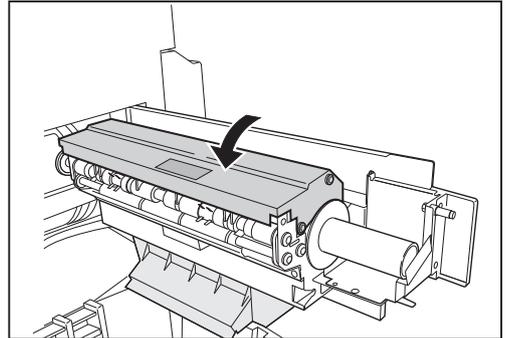
- 排版ロールにはインクがついています。手や衣服に触れないよう注意してください。



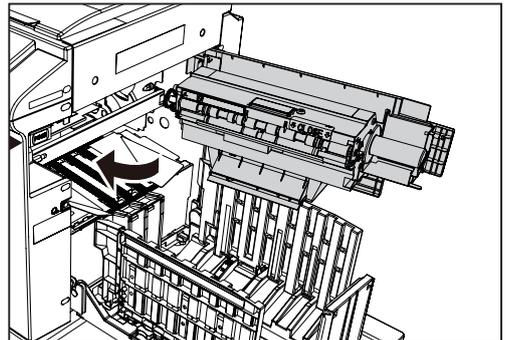
- 4 使用済みマスターを取り除いた「排版ロール」を、「排版ボックス」に入れてください。



- 5 「排版カバー」を静かに閉め、ロックがかかるまで押してください。



- 6 「排版ボックス」を閉じ、ロックがかかるまで押してください。



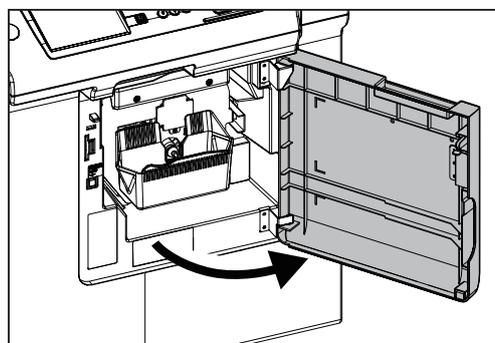
# ドラムユニットの交換

## ドラムユニットの交換について

- ドラムユニット表面を指で押したり、傷つけたりしないでください。指や衣服が汚れます。また、ドラムユニット表面が凹んでしまい、正常なプリントができなくなります。
- ドラムユニットを置く場合は、置く場所にももの等がないか、確認して平坦な所においてください。ドラムユニット表面に傷がついたり凹んでしまう場合があります、正常な印字ができなくなります。

## ドラムの取出しかた

- 1 「前カバー」を開いてください。



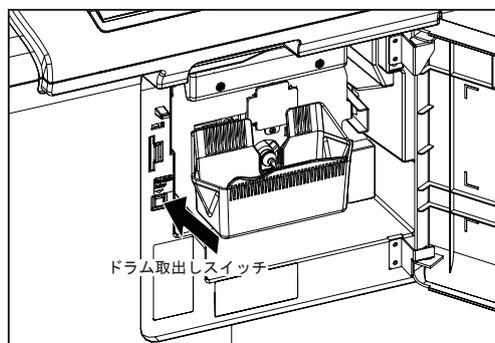
- 2 「ドラム取出しスイッチ」を押してください。

### 参考

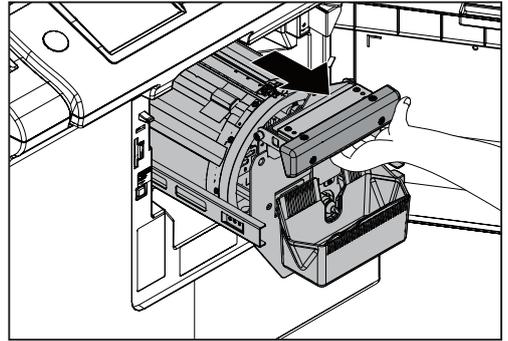
- LED 点灯 ドラム取出しできます。
- LED 点滅 ドラム取出しできません。
- LED 消灯 ドラム回転中です。取出しできません。

### 警告

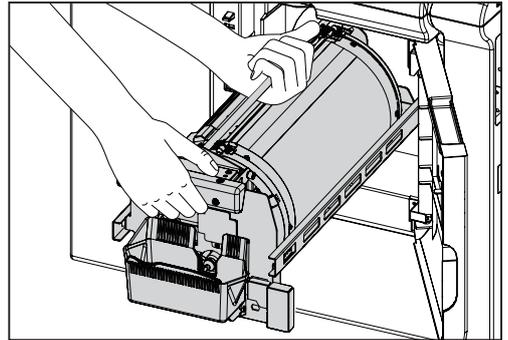
- スイッチを操作するときは、ドラム・駆動部および回転部に触れないでください。
- 運転中は手や指を入れないでください。手や指が巻き込まれたり、挟まれてけがをする恐れがあります。



- 3 LEDが点灯していることを確認してから、「ドラム解除レバー」を手前に引きそのまま、「ドラム」を手前に引き出してください。



- 4 ドラム上部の取っ手をもう一方の手で持ち、ドラム手前を少し上に持ち上げながら、「ドラム」を手前に引き出してください。



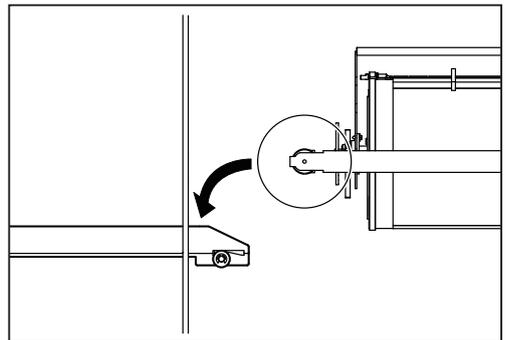
**重要**

- ドラム面には手を触れないでください。衣服がドラムに触れると、インクが付きます。
- 「ドラム」は水平に持ち、平らな安定した場所に置いてください。

- 5 液晶（タッチパネル）に「ドラムをセットして下さい」というメッセージが表示されたら、次の手順で「ドラム」をセットしてください。

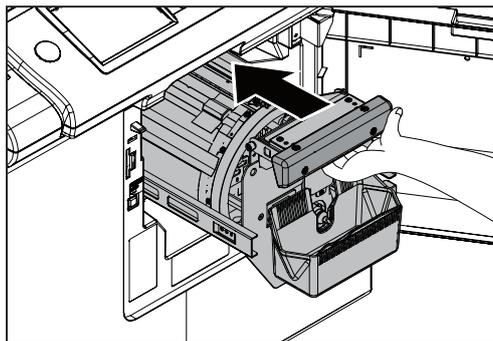
**ドラムのセットのしかた**

- 1 「ドラム」を水平に持ち、ドラムのコロを本体のレールの上に乗せてください。

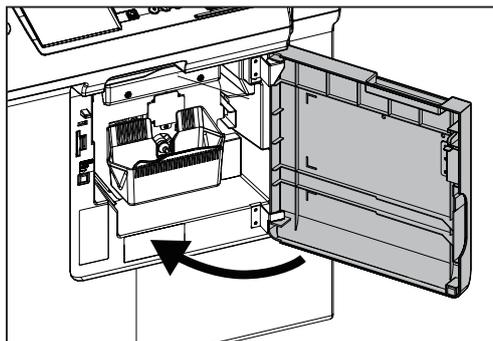


## ドラムユニットの交換

- 2 「ドラム」を水平にして、止まるまで静かに押し込んでください。  
セットができると「ピッ」と鳴ります。



- 3 「前カバー」を閉めてください。

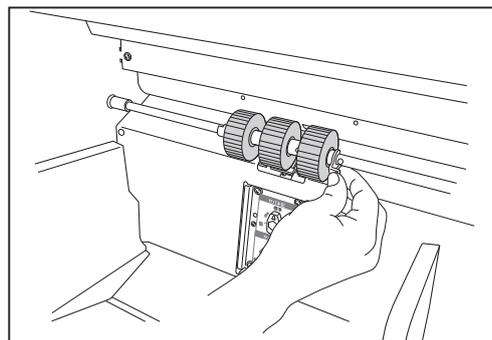


# サバキユニットの交換

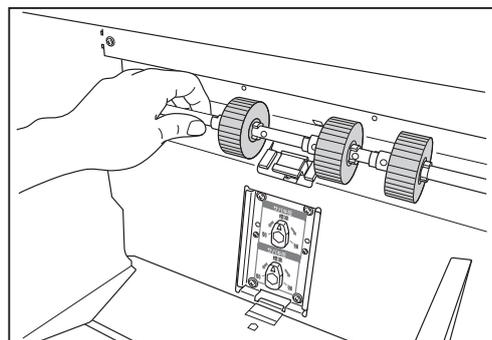
## サバキユニットの交換について

硬度の違うサバキユニット（オプション）に、簡単に交換することができます。

- 1 機械本体の電源を切ってください。
- 2 右端の「給紙ローラ」横についているクリップを手前に引っ張り、取り外します。

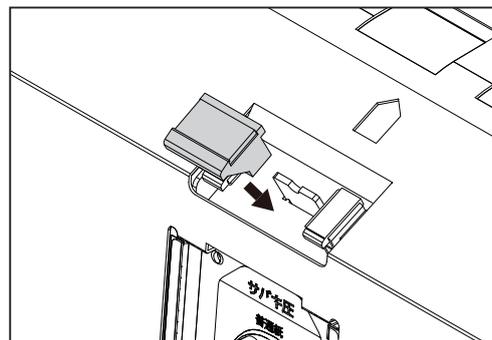


- 3 右図のように軸を少し上に持ち上げ、右端と真ん中の「給紙ローラ」を右側に移動します。



- 4 「サバキユニット」を取り外し交換します。

- 5 取り付けるときは「サバキユニット」の向きに注意してください。



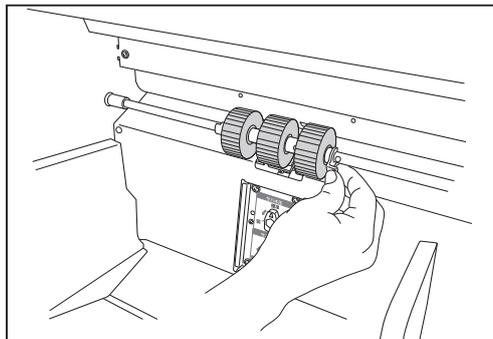
5

消耗品の交換のしかた

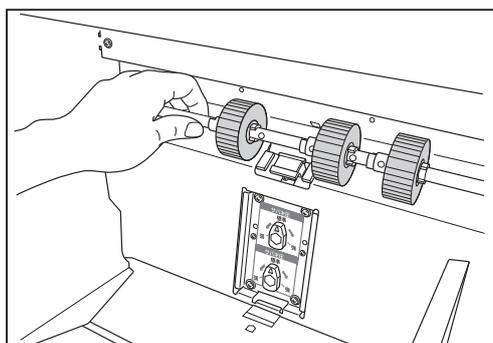
# 補助サバキの交換

## 補助サバキの交換について

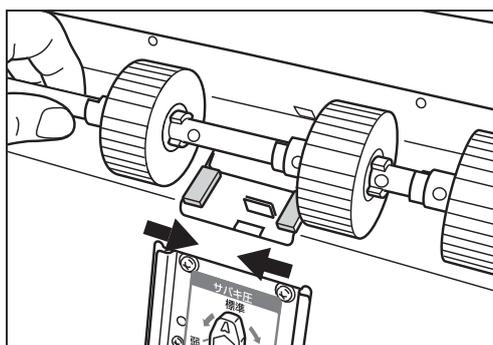
- 1 機械本体の電源を切ってください。
- 2 右端の「給紙ローラ」横についているクリップを手前に引っ張り、取り外します。



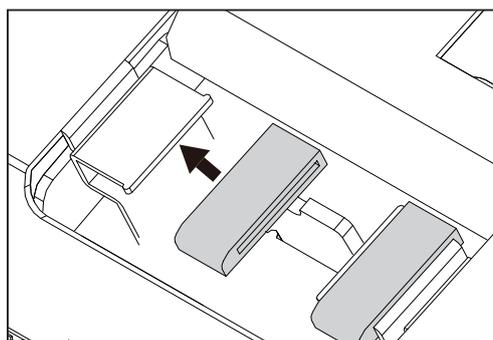
- 3 右図のように軸を少し上に持ち上げ、右端と真ん中の「給紙ローラ」を右側に移動します。



- 4 「サバキユニット」を取り外します。



- 5 「補助サバキ」を取り外し交換します。



- 6 取り付けるときは、「補助サバキ」の向きに注意してください。

# 第 6 章

## こんなときには

この章では、紙づまりやエラーメッセージなどに対する対処方法について説明します。

故障かな？と思われたとき	190
メッセージが表示されたとき	191
プリント中に用紙を補給するとき	194
プリント中に用紙がなくなったとき	194
プリント中に用紙を補給するとき	194
用紙サイズを変更するとき	195
紙づまりを起こしたとき	197
左側紙づまり（給紙トレイ）	197
右側紙づまり（排紙台）	198
ドラムに用紙が巻きついているとき	199
排版ミスを起こしたとき	201
ドラムに貼りついたマスターの取り除きかた	201
着版ミスを起こしたとき	204
マスターの取り除きかた	204
「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき	205
ロールマスターのセットのしかた	205
消耗品情報入力画面が表示されたとき	207
インク情報入力画面の入力のしかた	207
ロールマスター情報入力画面の入力のしかた	210

# 故障かな？と思われたとき

故障かな？と思ったときは、担当サービスマンに連絡するまえに、次の表から原因を確認し対処してください。処置を行っても現象が改善されない場合は、担当サービスマンにご連絡ください。

現象	チェックポイント	処置
電源スイッチを入れても、起動しない。	電源コードのプラグがコンセントまたは、本機インレットから外れていませんか？	電源コードを正しく接続してください。
ドラムが抜けません。	ドラム取出しスイッチのLEDは点灯していますか？	LEDが点滅のときはドラム取出しスイッチを押してください。
排出された用紙にプリントされていない。	原稿面を表裏反対にセットしていませんか？	原稿面を下にしてセットしてください。自動原稿送り装置(ADF)ご使用の場合は原稿面を上にしてセットしてください。
	ロールマスターを表裏反対にセットしていませんか？	ロールマスターを正しくセットしなおしてください。
	ドラムに印刷用紙が巻きついていませんか？	ドラムに巻きついた用紙を取り除いてください。
ドラムに用紙が巻きついてしまう。	原稿上部に大きなベタ部がありますか？	原稿上部に大きなベタ部があると、用紙が排出されにくくなります。原稿のセット方向を天地(上下)逆にして、製版し直してください。
プリントの一部が欠けてしまう。	原稿台ガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスを乾いた柔らかい布で拭いてください。
	ドラム表面に何か付いていませんか？	ドラムを抜いて表面に付いている異物を取り除いてください。ドラムとマスター間に異物が挟まっているときは、マスターをはがし異物を取り除いてください。その後、ドラムをセットし、再度製版を行ってください。
	用紙サイズは設定していますか？	用紙サイズを設定してください。
省エネモードに入らない。	原稿押え板が開いていませんか？	原稿押え板を閉じてください。
ファインスタートが動作しない。	「電池切れです」が表示されていませんか？	電池を交換してください。電池交換はサービス実施店にお申し付けください。
インク、マスターをセットしたのにエラーメッセージが消えない。	インク、マスターを正しくセットしていますか？	インク、マスターをセットしなおしてください。
	消耗品情報のないインクパックを使用していませんか？	インクパックに貼ってあるシールをはがさないでください。はがしてしまった場合は、新しいインクパックをセットしてください。
	消耗品情報のないロールマスターを使用していませんか？	マスターの品番を確認し、再度マスターをセットし直してください。

# メッセージが表示されたとき

液晶（タッチパネル）にイラストとメッセージでその内容と対処方法をお知らせします。メッセージが表示されたときは液晶（タッチパネル）の指示に従って適切な処置を行ってください。メッセージは文字で表示されるものと数字で表示されるものがあります。

表示	メッセージの意味する状態と処置
印刷用紙がありません	状態：給紙トレイに印刷用紙がありません。 処置：給紙トレイに印刷用紙をセットしてください。
左側紙づまりです	状態：給紙トレイ側で紙づまりが発生しました。 処置：給紙トレイを下げて、つまっている用紙を取り除いてください。 左側紙づまりの発生頻度が多い場合は、「給紙圧」、「サバキ圧」、「補助サバキ高さ」を調整してください。
右側紙づまりです	状態：排紙台側で紙づまりが発生しました。 処置：用紙排出スイッチを押してつまった用紙を取り除いてください。 処置：ドラムを取出し、ドラムに巻きついた用紙を取り除いてください。
中央紙づまりです	状態：機械中央部で紙づまりが発生しました。 処置：ドラムを取出し中央部につまっている用紙を取り除いてください。
原稿押え板を閉めて下さい	状態：原稿押え板が開いています。 処置：原稿押え板を静かに閉じてください。
マスターが無くなりました	状態：マスターが無くなりました。 処置：新しいマスターをセットしてください。
マスターカバーを閉めて下さい	状態：マスターカバーが開いています。 処置：マスターカバーを閉じてください。
マスターセットミスです	状態：製版工程で異常が発生しました。 処置：給版部に残ったマスターを取り除き、再度マスターをセットしてください。
マスター情報読み取りエラーです	状態：本機に使用可能なマスターがセットされていません。 処置：本機に使用可能なマスターをセットしてください。
本機専用マスターではありません	状態：本機専用マスターではありません。機種によってマスターが違います。 処置：マスターの型番を確認して本機専用のマスターをセットしてください。
スキャナを閉めて下さい	状態：スキャナが開いています。 処置：スキャナを静かに閉じてください。
前カバーを閉めて下さい	状態：前カバーが開いています。 処置：前カバーを静かに閉じてください。
排版ミスです	状態：ドラムに古いマスターが残っています。 処置1：ドラムを取出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 処置2：排版ボックスを開いて、つまっているマスターを取り除いてください。 参考：ドラムにマスターがついていない状態で製版を行った場合も表示されます。
使用済みマスターが満杯です	状態：排版ロールがいっぱいになりました。 処置：使用済みマスターを処理してください。
排版ボックスを閉めて下さい	状態：排版ボックスが開いています。 処置：排版ボックスを静かに閉じてください。

## メッセージが表示されたとき

排版ルールがありません	状態：排版ボックスに排版ルールがセットされていません。 処置：排版ルールをセットしてください。
ドラムがありません	状態：ドラムがセットされていません。 処置：本体にドラムをセットしてください。
インクがありません	状態：インクがありません。 処置：インクパックを新しいものと交換してください。
ドラム取出し位置ではありません	状態：ドラム取出し位置と違う所でドラムを取出そうとしています。 処置：ドラムをセットしドラム取出しスイッチを押してください。
製版後、印刷して下さい	状態：印刷できません。 処置：製版をしてから、印刷を行ってください。 マスターセットミス発生直後、または機密保持が設定されている場合は、製版せずに  プリントキー、または  テストプリントキーを押すと表示されます。
用紙の2重送りを検出しました 排出された用紙を確認して下さい	状態：用紙が2枚重なって送られました。 処置：2重送りした用紙を取り除いてください。 2重送りの発生頻度が多い場合は、「給紙圧」、「サバキ圧」、「補助サバキ高さ」を調整してください。重送レベルの調整を行ってください。
サービスマンに連絡して下さい	状態：機械内部でエラーが発生しました。 処置：エラーコード (EXXX) をメモしてください。 一度電源を切って、再度電源を入れてください。 症状が解消されない場合は、電源を切ってサービスマンに連絡してください。液晶（タッチパネル）に連絡先が表示されている場合は、そこに連絡してください。 エラーコード (EXXX) と発生状況をできるだけ詳しく説明してください。

### キーカードカウンター装着機

※詳しい使用方法についてはキーカードカウンターの取扱説明書をお読みください。

カードを入れて下さい	状態：キーカードが挿入されていません。 処置：キーカードカウンターに部門別カードを挿入してください。
読み取りミスです	状態：カードの読み取りに失敗しました。 処置：カードの挿入方向を確認して、カードを再挿入してください。
このカードは使用できません	状態：カードの種類が違います。 処置：カードを確認して再度挿入してください。
このカードは使用禁止されています	状態：禁止登録されたカードです。 処置：カード管理者に相談してください。

### テープクラスタ装着機

※詳しい使用方法についてはテープクラスタの取扱説明書をお読みください。

テープクラスタのテープがありません	状態：テープがなくなりました。 処置：新しいテープをセットしてください。
テープクラスタカバーを閉めて下さい	状態：テープクラスタのカバーが開いています。 処置：カバーを閉じてください。

### USB メモリマネージャー装着機

※詳しい使用方法についてはUSBメモリの取扱説明書をお読みください。

USBメモリを入れて下さい	状態：USBメモリが挿入されていません。 処置：USBメモリを挿入してください。
データが開けません データが入っているか確認して下さい	状態：データを読取ることができません。 処置：データがメモリされているか確認してください。

データの書き込みエラーです データの保存をやり直して下さい	状態：データ書き込みに失敗しました。 処置：再度データの保存を行ってください。
データを削除できませんデータ が入っているか確認して下さい	状態：データの削除に失敗しました。 処置：データがメモリされているか確認してください。
フォーマットできません USB メ モリの確認を行うか別の USB メ モリに交換して下さい	状態：USB メモリのフォーマットに失敗しました。 処置：違う USB メモリを使用してください。

自動原稿送り装置 (ADF) 装着機

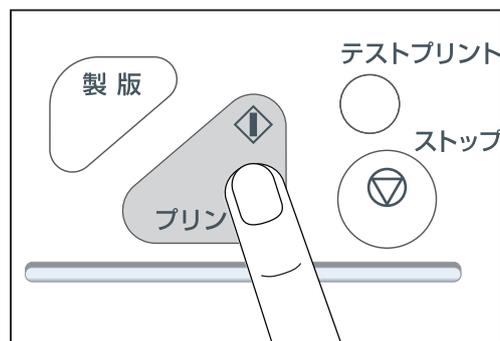
ADF 原稿づまりです	状態：ADF 原稿給紙トレイ部で紙づまりが発生しました。 処置：つまった用紙を取り除いてください。
ADF カバーを閉めて下さい	状態：ADF カバーが開いています。 処置：ADF カバーを閉じてください。
ADF に原稿がありません 原稿をセットして下さい	状態：ADF に原稿がセットされていません。 処置：ADF に原稿をセットしてください。

# プリント中に用紙を補給するとき

## プリント中に用紙がなくなったとき

プリント中に用紙が無くなると、プリントが停止し、給紙トレイが自動的に下降します。そして「印刷用紙がありません」というメッセージが表示されます。

- 1 プリント中に用紙がなくなると、液晶（タッチパネル）にメッセージが表示されます。次の手順で用紙をセットしてください。
- 2 用紙をセットします。  
(参考→P.14 “用紙のセットのしかた”)
- 3  プリントキーを押してください。プリントが再開します。

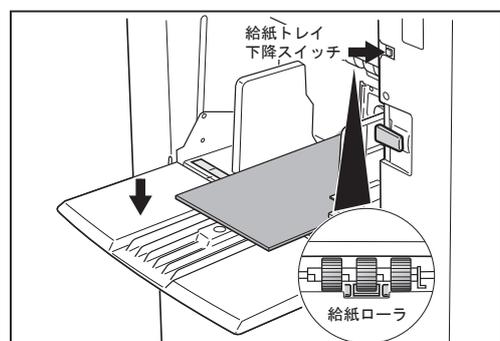
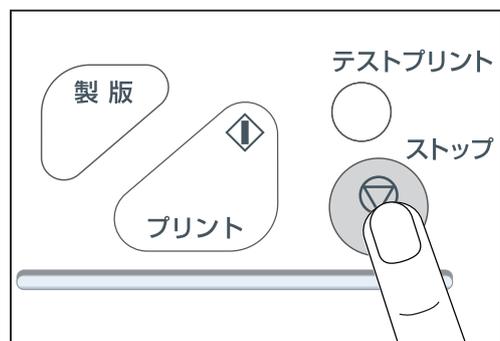


## プリント中に用紙を補給するとき

- 1  ストップキーを押してください。プリントが停止します。
- 2 「給紙トレイ下降スイッチ」を押し続け、適当な高さになったら「給紙トレイ下降スイッチ」を離してください。「給紙トレイ」が停止します。

### 重要

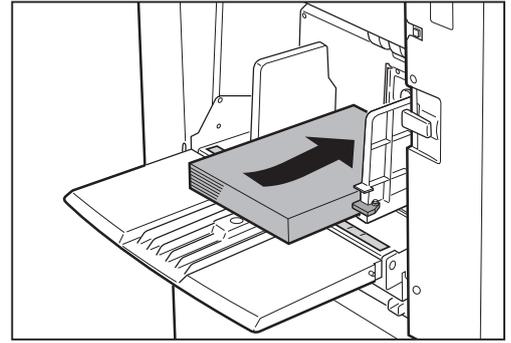
- 用紙が給紙ローラに残っているときは、抜き取って揃えてください。



- 3 補給する用紙を揃えて、残っている用紙の上に置き、そのまま機械内部に向かって軽く突きあててください。
- 4  プリントキーを押してください。  
給紙トレイが上がり、プリントが再開されます。

**参考**

- ⑤ ストップキーを押すと、プリントが停止します。

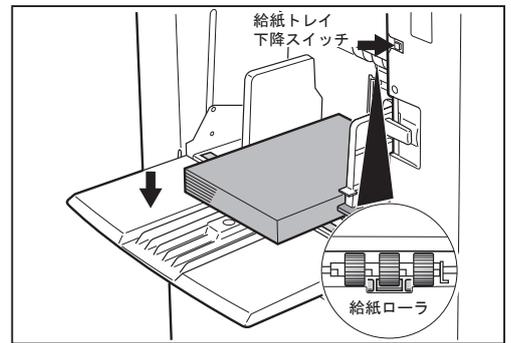


**用紙サイズを変更するとき**

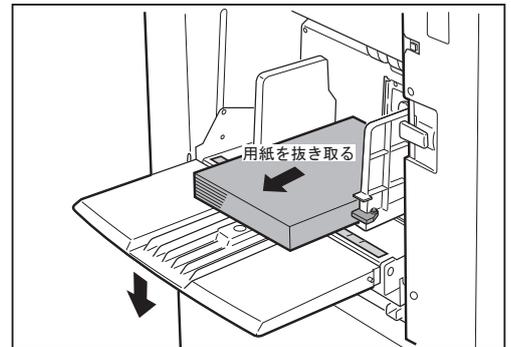
- 1 プリント中のときは、⑤ ストップキーを押してください。  
プリントが停止します。
- 2 「給紙トレイ下降スイッチ」を押し続け、適当な高さになったら「給紙トレイ下降スイッチ」を離してください。「給紙トレイ」が停止します。

**重要**

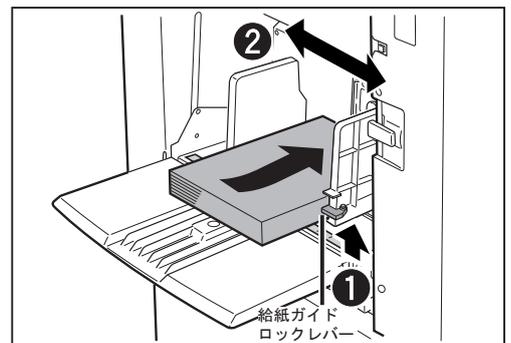
- 用紙が給紙ローラに残っているときは、抜き取って揃えてください。



- 3 「給紙トレイ」の用紙を抜き取ってください。  
「給紙トレイ」が下がります。



- 4 「給紙ガイドロックレバー」をつまんで、「給紙ガイド」を「別の用紙サイズ」に合わせてください。



- 5 「別のサイズの用紙」をセットしてください。

6

こんなときには

次ページへ続く...

## プリント中に用紙を補給するとき

- 6 用紙サイズの設定が「オート」以外の場合は用紙サイズを設定してください。  
(参考→P. 25 “用紙サイズの設定のしかた”)
- 7  プリントキーを押してください。  
「給紙トレイ」が上がり、プリントが再開されます。

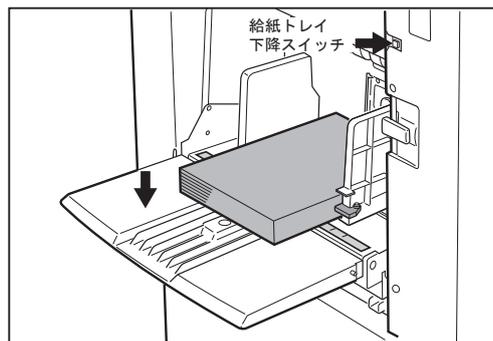


# 紙づまりを起こしたとき

## 左側紙づまり(給紙トレイ)

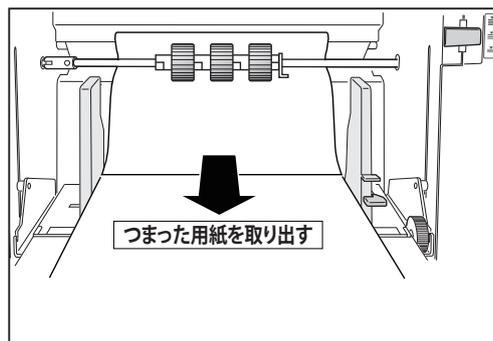
「給紙トレイ」で紙づまりが起こると、液晶(タッチパネル)に「左側紙づまりです」というメッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

- 1 「給紙トレイ下降スイッチ」を押し続け、適当な高さになったら「給紙トレイ下降スイッチ」を離してください。「給紙トレイ」が停止します。



- 2 つまんだ用紙を図のように取り出します。

- つまんだ用紙が、取り出せた場合  
液晶(タッチパネル)にメッセージが表示されます。「OK」をタッチして、 プリントキーを押してください。
- つまんだ用紙が、取り出せなかった場合  
「用紙排出スイッチ」を押し続けてください。つまんだ用紙が排出されます。

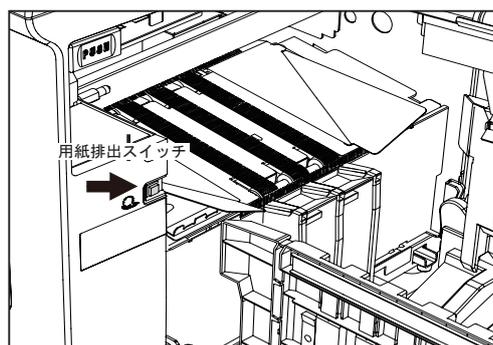


### 警告

- スイッチを操作するときは、ドラム・駆動部および回転部に触れないでください。
- 運転中は手や指を入れないでください。手や指が巻き込まれたり、挟まれてけがをする恐れがあります。

### 重要

- 「厚い用紙」または「薄い用紙」を使用して、空送り、2重送りが発生した場合は、用紙厚さを調整してください。
  1. 「給紙圧レバー」の位置確認
  2. 「サバキ圧」の微調整(参考→P.15 “厚い用紙または薄い用紙で、空送り、2枚送りが発生する場合”)



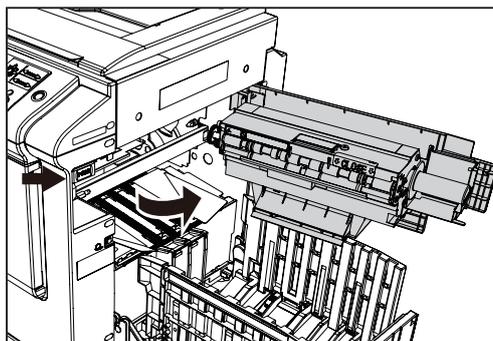
6

こんなときには

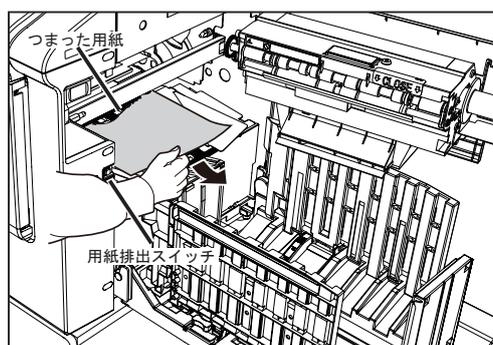
## 右側紙づまり (排紙台)

排紙台側で紙づまりが起こると、液晶 (タッチパネル) に「右側紙づまりです」というメッセージが表示されます。次の手順で、つまった用紙を取り除いてください。

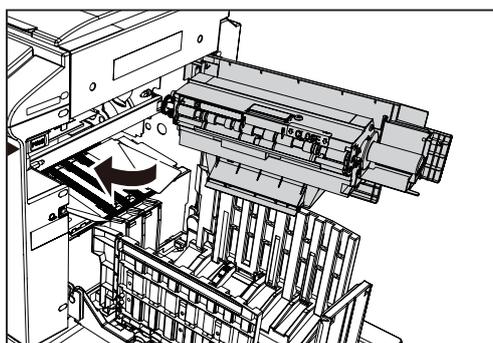
- 1 「排版ボックス開閉ボタン」を押して、「排版ボックス」を開いてください。



- 2 「用紙排出スイッチ」を押して、つまっている用紙を取り出してください。プリント途中の用紙は、「用紙排出スイッチ」を押すと排出されます。



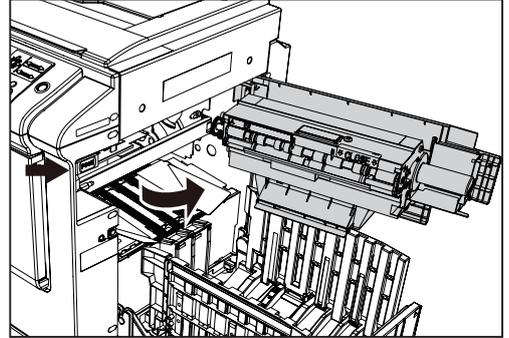
- 3 「排版ボックス」を閉じ、ロックがかかるまで押してください。



## ドラムに用紙が巻きついているとき

「ドラム」に用紙が貼りついているときは、次の手順で取り除いてください。

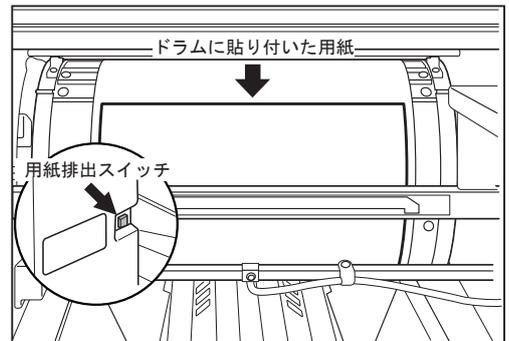
- 1 「排版ボックス開閉ボタン」を押して、「排版ボックス」を開いてください。



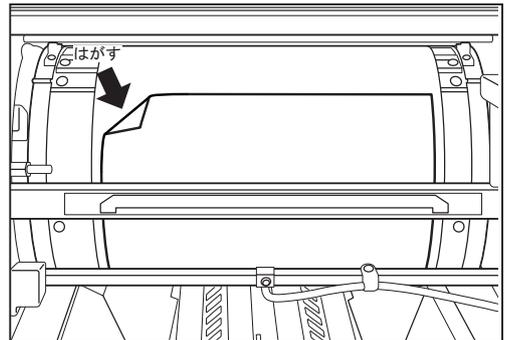
- 2 「用紙排出スイッチ」を小刻みに押し、貼りついた用紙の先端を探し、図の位置で止めてください。

### 警告

- スイッチを操作するときは、ドラム・駆動部および回転部に触れないでください。
- 運転中は手や指を入れないでください。手や指が巻き込まれたり、挟まれてけがをする恐れがあります。



- 3 貼りついた用紙の先端を、「ドラム」からはがしてください。



6

こんなときには

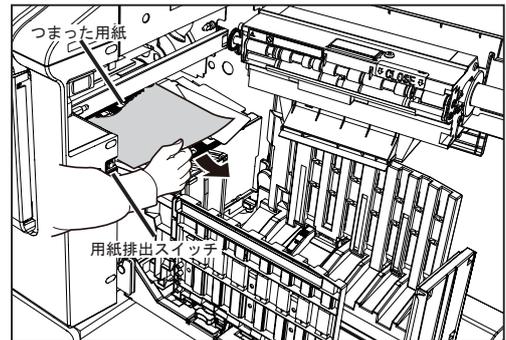
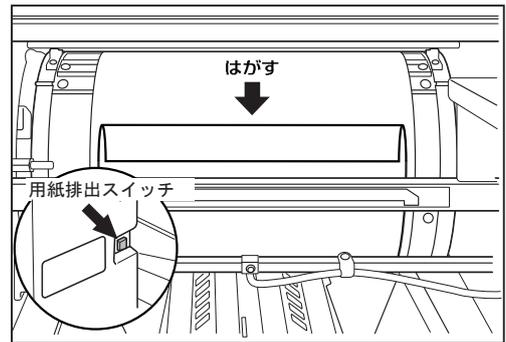
次ページへ続く…

## 紙づまりを起こしたとき

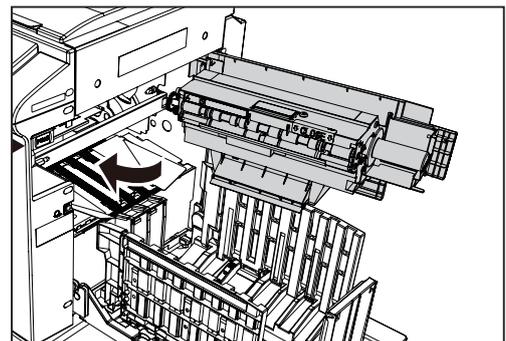
- 4 用紙を排紙側に引っ張りながら、「用紙排出スイッチ」を小刻みに押し、用紙をはがしてください。

### 重要

- はがした用紙が衣服につかないよう注意してください。



- 5 「排版ボックス」を閉じ、ロックがかかるまで押してください。



- 6 もう一度、製版してください。

### 重要

- 原稿の先端に黒いベタが無いことを確認してください。

# 排版ミスを起こしたとき

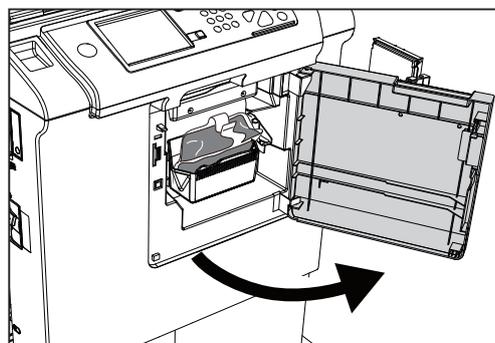
「ドラム」に古いマスターが残っていると、液晶（タッチパネル）に「排版ミスです」というメッセージが表示されます。次の手順で「ドラム」に貼りついたマスターを取り除いてください。

## 警告

- ドラムユニット裏面を指で押ししたり、傷つけたりしないでください。指や衣服が汚れます。また、ドラムユニット表面が凹んでしまい、正常な印字ができなくなります。
- ドラムユニットをおく場合は、置く所のもの等がないか確認して平坦な所に置いてください。ドラムユニット表面に傷がついたり、凹んでしまう場合があります。正常な印字ができなくなります。

## ドラムに貼りついたマスターの取り除きかた

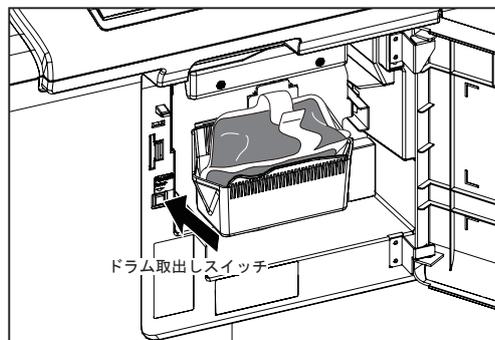
1 「前カバー」を開けてください。



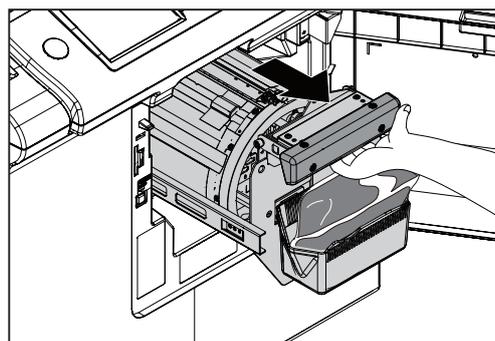
2 LEDが点灯しているか確認してください。点滅している場合は「ドラム取出しスイッチ」を押してください。

## 警告

- スイッチを操作するときは、ドラム・駆動部および回転部に触れないでください。
- 運転中は手や指を入れないでください。手や指が巻き込まれたり、挟まれてけがをする恐れがあります。



3 「ドラム解除レバー」を手前に引きそのまま、ドラムを手前に引き出してください。



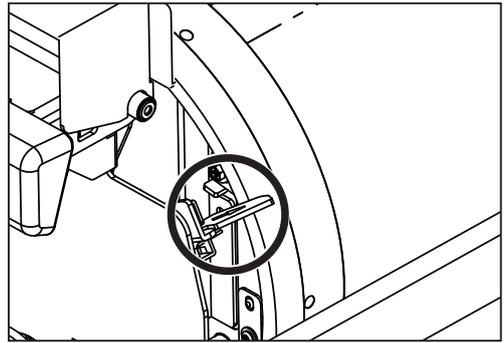
次ページへ続く…

6

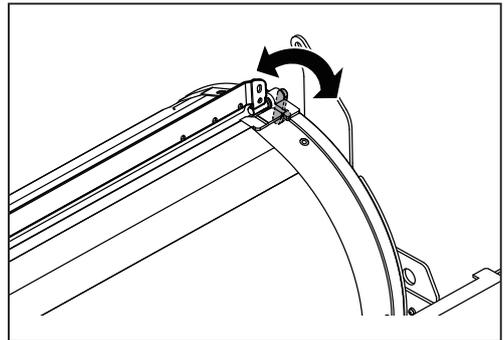
こんなときには

## 排版ミスを起こしたとき

- 4 「ドラム」の「ストッパー」を上げて、「ドラム」を手で回転させ、⑤の「レバー」を操作しやすい位置にしてください。



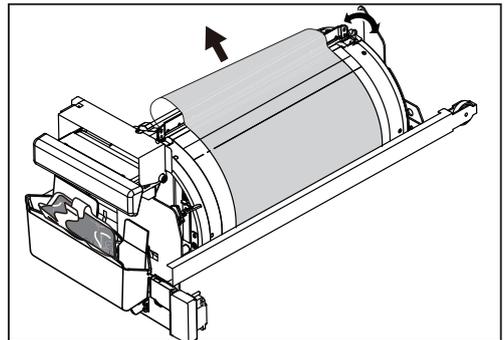
- 5 「レバー」を下に押し下げます。「マスタークランプ」が開いて、マスター先端がクランプから離れます。マスターが離れないときは、手でマスターを離します。



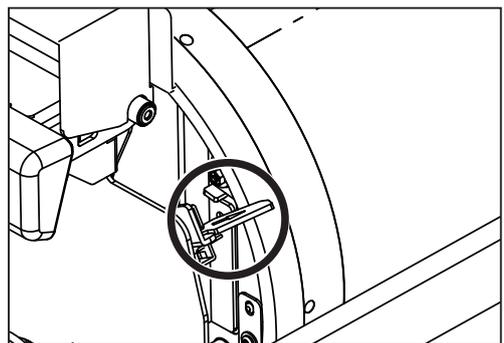
- 6 「レバー」をもとに戻し、手で「ドラム」を回してマスターを取り除いてください。マスターが完全にはがれるまで続けてください。

### 重要

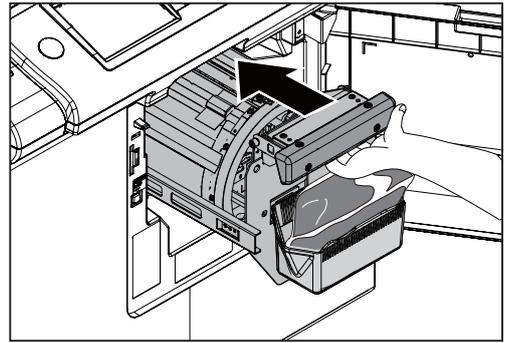
- はがしたマスターが衣服につかないよう注意してください。



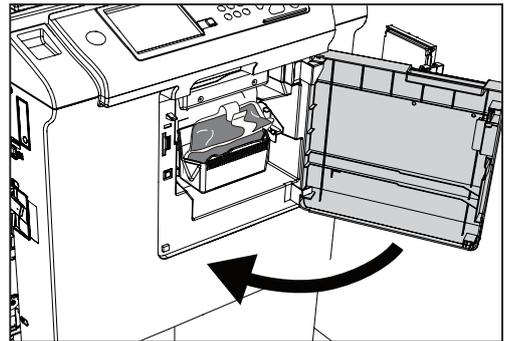
- 7 「ドラム」を手で回転させて、「ストッパー」が溝にはまる位置まで回してください。



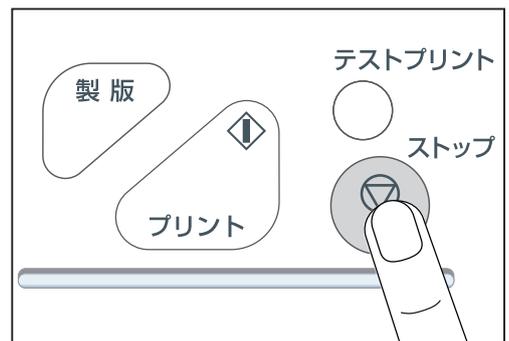
- 8 「ドラム」を水平にして、止まるまで静かに押し込んでください。



- 9 「前カバー」を閉めてください。



- 10  ストップキーを押してください。メッセージが消えます。



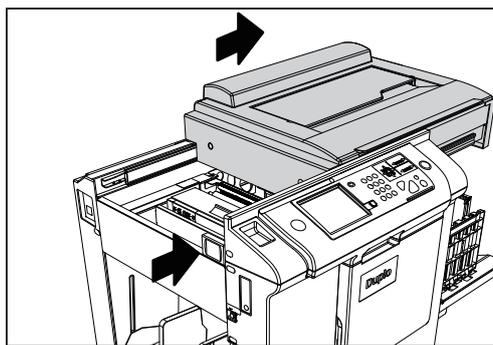
- 11 もう一度、製版してください。

# 着版ミスを起こしたとき

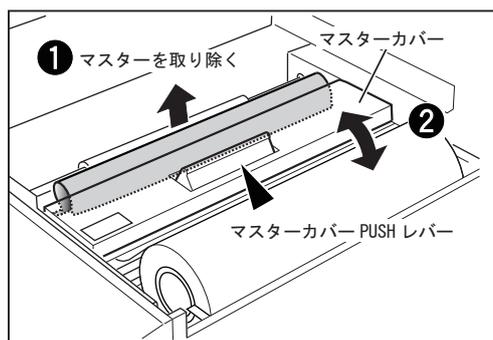
液晶（タッチパネル）に「マスターセットミスです」というメッセージが表示されます。次の手順でミスしたマスターを取り除き、もう一度製版してください。

## マスターの取り除きかた

- 1 「スキャナ開閉ボタン」を押して、スキャナユニットをスライドさせてください。

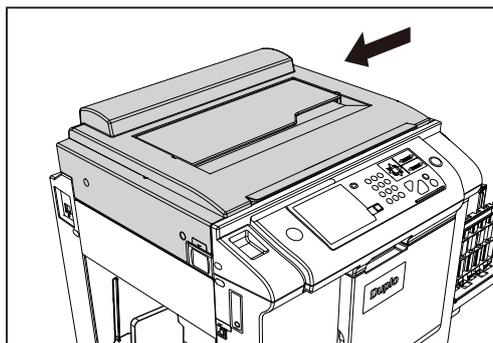


- 2 給版部に残っている「マスター」を取り除いてください。



- 3 再度マスターをセットしてください。  
(参考→P. 203 “ロールマスターのセットのしかた”)

- 4 「スキャナユニット」をスライドさせ、元に戻してください。



- 5 もう一度、製版してください。

## 「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき

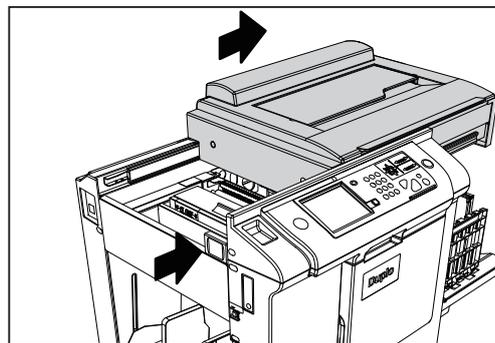
液晶（タッチパネル）に「再度マスターをセットして下さい」というメッセージが表示されます。次の手順で再度マスターをセットしてください。

### 重要

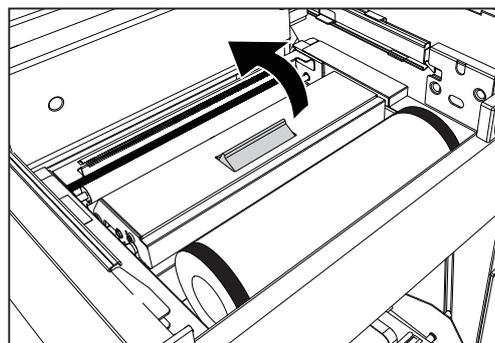
- ロールマスターは必ず、本機専用のロールマスターをご使用ください。

## ロールマスターのセットのしかた

- 1 「スキャナ開閉ボタン」を押して、「スキャナユニット」をスライドさせてください。



- 2 「マスターカバー PUSH レバー」を押してください。「マスターカバー」が上に開きます。



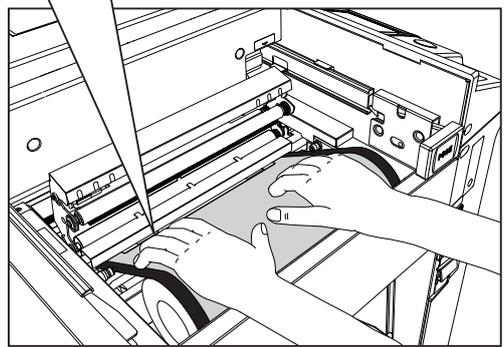
6

こんなときには

次ページへ続く…

## 「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき

- 3 ロールマスターを引き出して、ロールマスター先端を合わせてください。

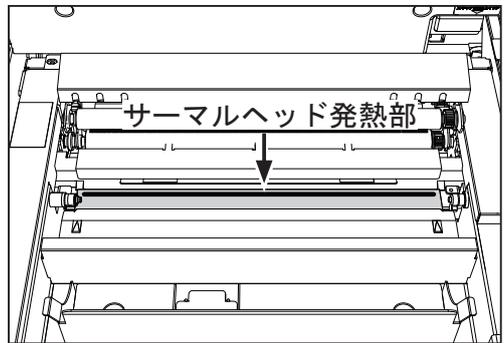


### 重要

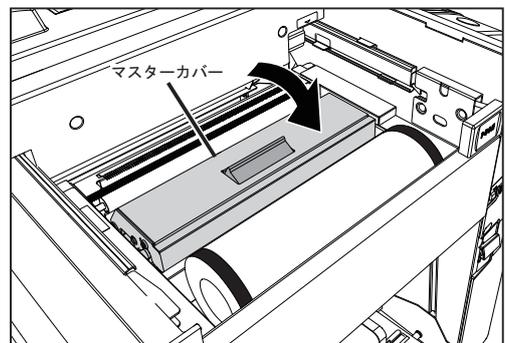
- ロールマスターは、必ず正しい方向へ引き出してください。
- ロールマスターは、窓から見えるまで引き出してセットしてください。

### 重要

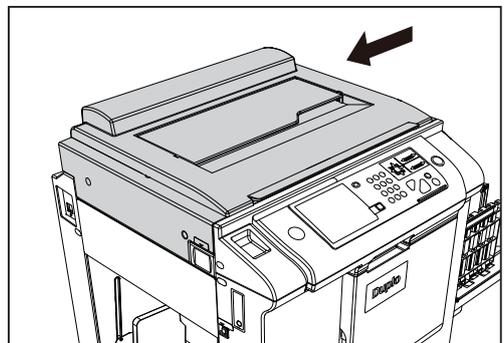
- サーマルヘッド発熱部には、絶対に手を触れないでください。キズがつく恐れがあります。キズがついてしまうと、正常な製版ができなくなります。



- 4 「マスターカバー」を閉めてください。



- 5 「スキャナユニット」をスライドさせ、元に戻してください。「ロールマスター」が自動的にセットされます。



# 消耗品情報入力画面が表示されたとき

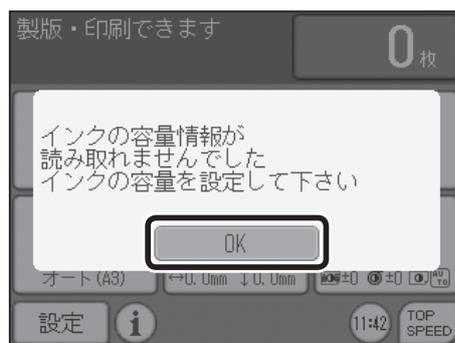
本機は最適なプリント状態を保つために、消耗品から情報を得ています。情報が適切に取得できなかった場合は、消耗品入力画面が表示されますので、適切な設定値を入力してください。

## 重要

- 入力した設定値が不適切でも通常動作には問題はありませんが、プリントの仕上がりが悪くなる場合があります。

## インク情報入力画面の入力のしかた

- 1 インクの情報が適切に取得できなかった場合、右図のような画面が表示されます。「OK」をタッチします。



- 2 インク容量を設定してください。「600ml」、「1000ml」、「入力」を選択し、タッチします。



「入力」を選択した場合、「テンキー」でインク容量を入力し、「OK」をタッチします。



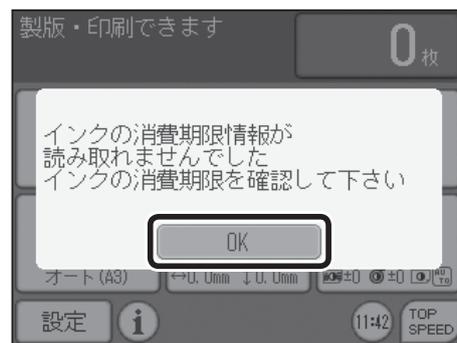
6

こんなときには

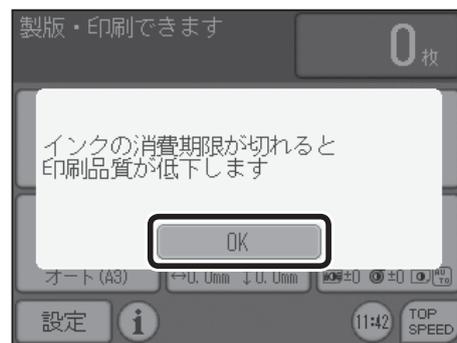
次ページへ続く…

## 消耗品入力画面が表示されたとき

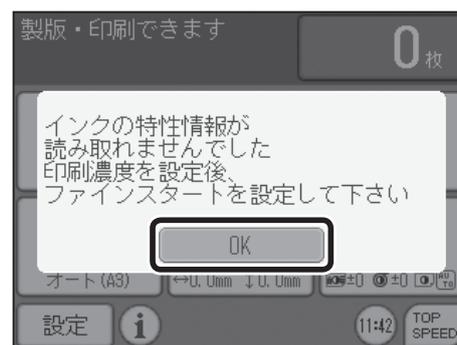
- 3 インク消費期限情報が読み込めませんでした。  
インク消費期限を確認してください。  
「OK」をタッチします。



- 4 「OK」をタッチします。



- 5 インク特性情報が読み取れませんでした。  
「OK」をタッチします。



- 6 印刷濃度の設定をして「OK」をタッチします。



- 7 「ファインスタート設定画面」になります。  
ファインスタートの強さを設定します。



8 インクの色を設定します。



9 設定が終了すると、基本画面に戻ります。

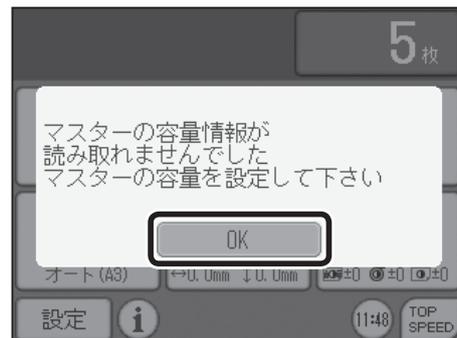


**重要**

- インクパックに IC チップを搭載し、インク情報を自動設定することで、安定した印刷品質を保ちます。  
インク情報は、以下の ISO 規格に準拠した IC チップを用いて取得しています。  
ISO15693

## ロールマスター情報入力画面の入力のしかた

- 1 マスターの情報が適切に取得できなかった場合、右図のような画面が表示されます。「OK」をタッチします。



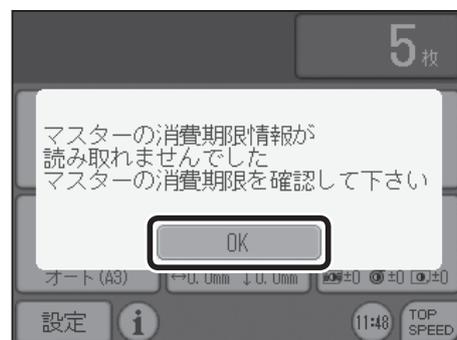
- 2 マスター容量を設定してください。「入力」、「220 版」、「250 版」を選択しタッチします。



「入力」を選択した場合、「テンキー」でマスター容量を入力し、「OK」をタッチします。



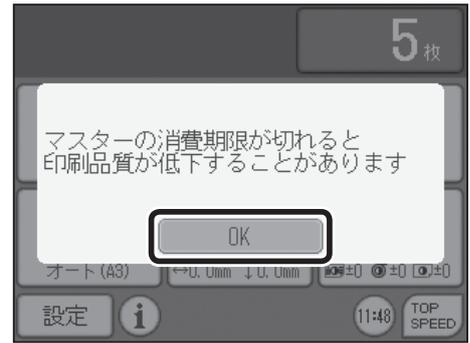
- 3 マスター消費期限情報が読み込めませんでした。マスター消費期限を確認してください。「OK」をタッチします。



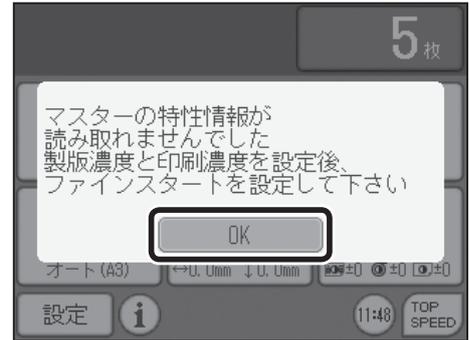
4 「OK」をタッチします。

**重要**

- マスター消費期限を過ぎると、印刷品質が低下することがあります。



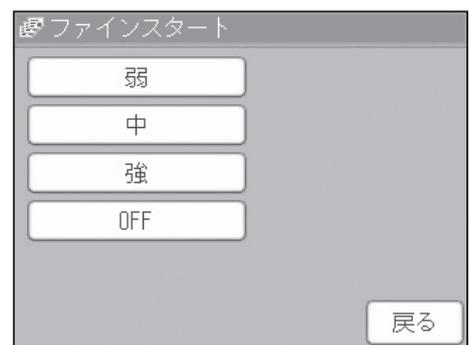
5 マスター特性情報を読み込めませんでした。「OK」をタッチします。



6 製版濃度と、印刷濃度を設定をして、「OK」をタッチします。



7 「ファインスタート設定画面」になります。ファインスタートの強さを設定します。



6

こんなときには

## 消耗品入力画面が表示されたとき

- 8 設定が終了すると、基本画面に戻ります。



### 重要

- ロールマスターに、IC チップを搭載し、マスター情報を自動設定することで、安定した印刷品質を保ちます。  
マスター情報は、以下の ISO 規格に準拠した IC チップを用いて取得しています。  
ISO15693

# 第 7 章

## 日常のお手入れ

---

この章では、機械の日常のお手入れのしかたを説明します。

.....  
日常のお手入れのしかた .....212  
.....

# 日常のお手入れのしかた

機械の性能を維持するためには、機械を定期的に清掃してください。

## 警告

- 清掃作業をする前には、必ず「電源スイッチ」を切ってから、本体が冷えるのを待ち、「電源プラグ」を抜いてください。火災や感電の恐れがあります。
- 本機のカバー類は絶対に外さないでください。また、分解や調整は、絶対にしないでください。
- 水や液体を機器の中にこぼさないようにしてください。こぼれたり中に入った場合、サービスマンに御相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の恐れがあります。

外装部の汚れは次の手順でお手入れしてください。

1. 水、または中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってください。
2. 汚れを拭き取ってください。
3. 乾いた柔らかい布で、水分を拭き取ってください。

- ・ 読取り部のガラスの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭きとってください。
- ・ 液晶部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭きとってください。水分を含んだ布は絶対に使用しないでください。故障の原因になります。

## 警告

- アルコール、溶剤系の洗剤液は変色や破損の原因となります。絶対に使用しないでください。
- ベンジン、シンナー、殺虫剤等の揮発性のものをかけたりしないでください。引火して、火災の原因になります。

ホコリがたまると、故障の原因になります。

定期的に清掃を行なってください。

機械内部の清掃についてはサービス実施店に御相談ください。

# 第 8 章 仕様／アフターサービス

この章では、本機の仕様や保守サービスなどを記載しています。

.....	
仕様.....	214
保証および保守サービス.....	216
使用済み製品の回収とリサイクルについて.....	217
設置の必要なスペース.....	218
.....	

# 仕様

型式名称： デュープリンター	CD86DP	CD66DP	CD56DP	CD53DP
-------------------	--------	--------	--------	--------

製版方式	感熱デジタル製版方式			
印刷方式	孔版印刷方式			
使用原稿	原稿固定式：シート、ブック（重量 10kg 以下） 自動原稿送り装置 (ADF)：シート (64 ~ 128g/㎡)			
原稿サイズ	MAX. 297 mm × 432 mm (自動原稿送り装置 (ADF) 使用時は最小 100 mm × 148 mm)			
自動原稿送り装置 (ADF) 原稿積載容量	100 枚 (64g/㎡)			
表示パネル	カラー液晶 (5.7 型 QVGA 透過カラー TFT) 感圧式タッチパネル			
用紙サイズ	最大：320mm × 450mm 通紙可能 最小：100 mm × 148 mm (制限付きで 50mm × 148mm まで可能：横微動不可で用紙先端センサー OFF。または、専用部品の取付けが必要となります。)			
印刷面積	290 mm × 423 mm		250 mm × 355 mm	
給紙 / 排紙容量	1500 枚 (64g/㎡：一般上質紙) ※ ※用紙の種類等の条件により、1500 枚積載できない場合があります。			
用紙種類	45 ~ 210g/㎡ (39 ~ 180kg) 上質紙、中質紙、更紙、再生紙、封筒※、ハガキ ※封筒の種類等の条件により使用できない場合がありますので事前にご確認ください。			
印刷倍率	等倍：100% 定型変倍 CD86DP/CD66DP/CD56DP：61、70、81、86、115、122、141、163% CD53DP：57、70、81、86、115、122、141、173% 独立変倍：縦横独立変倍 (50 ~ 500%) 周囲余白：90 ~ 99% 任意ズーム：50 ~ 500% オートズーム：50、57、61、70、81、86、100、115、122、141、(163)、173、(200) % ※ ( ) 内ズームは CD86DP/CD66DP のみ有効 (CD56DP/CD53DP にはオートズームはついていません)			
解像度 (主走査方向×副走査方向)	読み取り解像度： 600dpi × 600dpi 書き込み解像度： 600dpi × 600dpi	読み取り解像度： 400dpi × 400dpi 書き込み解像度： 400dpi × 400dpi	読み取り解像度：300dpi × 600dpi 書き込み解像度：300dpi × 600dpi (マスター穿孔密度：600dpi × 600dpi)	
画像モード (原稿種類)	文字・写真・文字多め / 写真少なめ・写真多め / 文字少なめ ・えんぴつ・網点 (粗い)・網点 (細かい)			
濃度調整	原稿読取濃度調整 (5 段階)、製版濃度調整 (5 段階)、印刷濃度調整 (5 段階)			
製版時間	18 秒 (A4、100%)	15 秒 (A4、100%)	18 秒 (A4、100%)	20 秒 (A4R、100%)
印刷速度	45 ~ 130 枚 / 分 (5 段階可変) + 150 枚 / 分 (トップスピード) ※ ※トップスピードは、B4 サイズ以下の用紙にのみ対応。			

型式名称： デュープリンター	CD86DP	CD66DP	CD56DP	CD53DP
印刷位置調整				
天地（上下）方向	電動↔15 mm（0.5 mm単位でパネル表示）			
左右方向	電動↓10mm（0.5 mm単位でパネル表示）		手動↓10 mm	
インク供給方式	全自動（1000ml/本） 黒・カラー全て1000ml			
マスター供給方式	全自動			
	220版/本		250版/本	
マスター排版方式	全自動巻取方式（排版容量55版）			
カラー印刷方式	ドラムユニット交換方式			
各種検知	原稿サイズ検知、用紙サイズ検知、重送検知、厚紙設定検知、用紙有無検知、マスター残量計測、排版ロール容量計測、原稿有無（セットミス）検知		用紙有無検知、マスター残量計測、排版ロール容量計測、原稿有無（セットミス）検知	
その他の主な機能	ショートカット設定、お知らせランプ、操作設定メモリ機能（9メモリ）、オートリセット、原稿編集（メイクアップ、トリミング）、原稿プレビュー、原稿回転（90°、180°）、再製版機能、多面印刷（2、4、8、16、任意、2in1）、ブック影消し、省エネモード、省インクモード、オートパワーオフ、機密保持機能、ファインスタート、速度別プレス圧自動コントロール、インターバルプリント、給紙圧調整、サバキ圧調整、補助サバキ高さ調整			
インターフェース	USB2.0、イーサネット（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T）			
対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows XP Professional/Home Edition</li> <li>・ Windows Vista (32bit/64bit)</li> <li>・ Windows 7 (32bit/64bit)</li> <li>・ Windows 8 (32bit/64bit) デスクトップアプリのみ</li> <li>・ Mac OS X Leopard 10.5 (Intel)</li> <li>・ Mac OS X Snow Leopard 10.6</li> <li>・ Mac OS X Lion 10.7</li> </ul>			
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz 2.4A			
消費電力	最大220W、待機時8.0W、省エネ時0W（ベーシックモデルにおいて、省電力優先でPC非接続時（PC接続時は4.8W））			
大きさ	使用時：1405mm(W) x 690mm(D) x 1080mm(H) 収納時：770mm(W) x 690mm(D) x 1080mm(H) 自動原稿送り装置（ADF）装着時は、記載値+145 mm (H)			
重量	本体：102 kg キャビネット：木製扉タイプ約16.7 kg 自動原稿送り装置（ADF）付本体 約106 kg			
使用温度範囲	10℃～35℃			

仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

# 保証および保守サービス

1. 保証書は、所定の事項および記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
2. 本機の無償保証期間はご購入日より1年間です。  
ただし、1年以内でもトータル印刷枚数が100万枚に達した場合は、その時点で保証期間は終了します。

## 注意



- 本書に記載された使用方法や注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障修理は保証期間内でも有償となります。

下記の部品は消耗部品です。消耗部品は保証期間内でも有償となります。

### 《消耗部品》

- ・給紙ローラ
- ・プレスローラ
- ・サバキ台ユニット
- ・補助サバキ

本機の補修用性能部品およびインク、マスターの最低保有期間は製造中止後7年間です。  
詳細については販売店、または、サービス実施店にお問い合わせください。

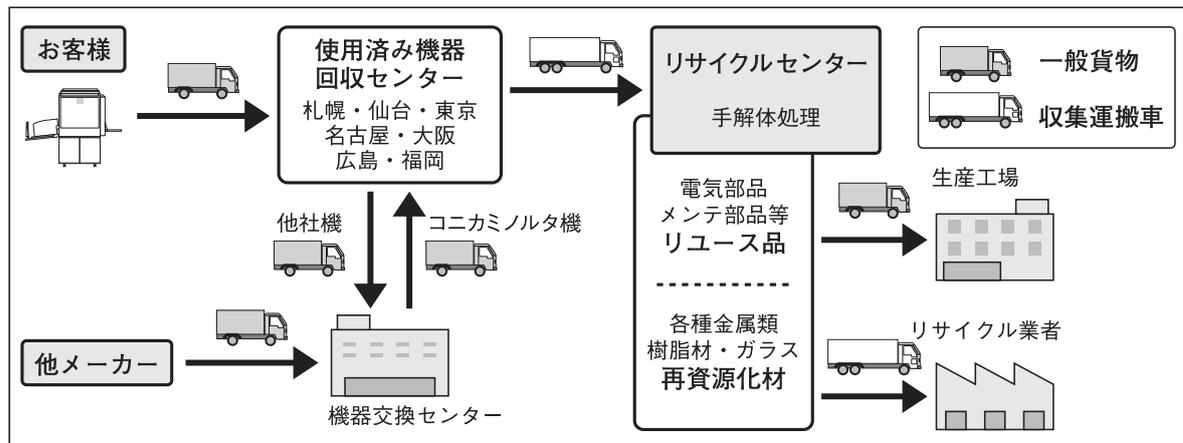
3. 無償保証期間経過後は本機を良好な状態でご使用いただくために、次のような保守サービスを用意しております。  
サービス内容、必要期間、費用等の詳細については販売店、または、サービス実施店にお問い合わせください。
  - ・年間保守契約方式  
一定の年間保守契約料金で、機械が故障した場合の保守サービス、ならびに必要な場合の部品交換をお引き受けいたします。
  - ・スポットサービス方式  
お客様のご要請に応じてそのつど有料で保守サービスをお受けします。

## 使用済み製品の回収とリサイクルについて

コニカミノルタは環境への負荷を低減するため、ご使用いただいた製品の回収・リサイクルを積極的に行っております。回収した製品の部品などは再使用または再資源化し、有効に活用しております。本製品のご使用後の廃棄などのお取り扱いに関しては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。（回収費は有償となります。）

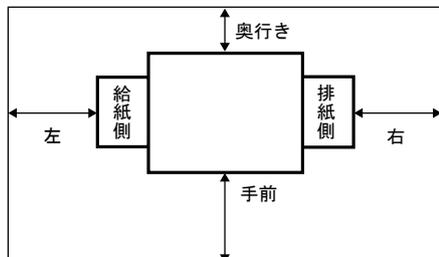
コニカミノルタの環境保全活動にご協力くださいますようお願い致します。

### 使用済み製品の回収の流れ



## 設置の必要なスペース

本機の周囲には十分なスペースを設けてください。プリントの操作時、またカスタマーエンジニアの作業時などの必要です。オプションを装着したときは、オプションから図に示したスペースを設けてください。



	標準のとき
手前	60cm
奥行き	10cm
左	60cm
右	60cm

# 付 録

---

この章では、本機の索引を記載しています。

.....	
索引 .....	220
.....	

# 索引

## 数字

2in1 .....	58
2面取り .....	54、55、56
4面取り .....	54、55、56
8面取り .....	54、55、56
16面取り .....	54、55、56
90°回転 .....	73
180°回転 .....	75

## 英字

TOP SPEED .....	28
USB 端子 .....	2

## あ

網点(粗い) .....	44
網点(細かい) .....	44

## い

インクパックの交換 .....	174
インク補給 .....	120
印刷位置調整 .....	45
印刷位置調整機能 .....	43、45
印刷位置調整キー .....	6、45
印刷スピード .....	27
印刷スピード調整キー .....	6、27
印刷濃度 .....	41
印刷濃度調整キー .....	6、41
インターバルプリント .....	126

## え

液晶(タッチパネル) .....	6
液晶の明るさ .....	162
えんぴつ .....	43

## お

オートズーム .....	33
オートパワーオフ .....	146
オートリセット .....	148
お知らせランプ .....	6
オプション接続コネクタ .....	5
オンラインモード .....	137

## か

拡大/縮小 .....	24、30
紙づまり ドラムに用紙が貼りついているとき .....	197
簡易設定 .....	139

## き

キーカード挿入口 .....	5
基本画面 .....	7
機密保持 .....	122
キャスター止め .....	2
給紙圧レバー .....	3、15
給紙ガイド .....	3、14
給紙ガイドロックレバー .....	3、14
給紙トレイ .....	2、16
給紙トレイ下降スイッチ .....	16、192、193、195
給紙横微動ダイヤル .....	3、46
給紙ローラ .....	3
切取線 .....	54、66

## く

クリアキー .....	6
クリップ置き .....	6
区分け/原稿別プリント .....	128
区分け/原稿別プリントの設定のしかた .....	129
区分け/原稿別プリントの入力のしかた .....	131
区分けプリント .....	128

## け

原稿 原稿の置きかた .....	19
使用できる原稿 .....	10
原稿押え板 .....	19
原稿サイズ .....	47
原稿種類 .....	43
原稿セットミス検知 .....	133
原稿台ガラス .....	19
原稿濃度読取 .....	124
原稿のセットのしかた .....	19
原稿別プリント .....	128

原稿編集	77	設定	7
言語設定	168	設定画面	7
<b>こ</b>		<b>そ</b>	
今回の動作設定	151	操作パネル	6
コントロールキー	6	外枠影消し	68
<b>さ</b>		<b>た</b>	
再製版機能	98	多面印刷	54
最適プリント	152	短冊用紙	45、116
サイドフェンス	5、17	<b>ち</b>	
「再度マスターをセットして下さい」と表示されたとき	203	着版ミス	202
サバキ圧調整ツマミ	3、15	中央影消し	68
サバキユニットの交換	185	中央 + 外枠影消し	68
<b>し</b>		<b>つ</b>	
仕上がり確認	158	通常の動作設定	151
自動原稿送り装置 (ADF)		<b>て</b>	
原稿のセット	20	テープクラスタ	114、132
自動原稿送り装置 (ADF) に原稿をセットする	20	テストプリントキー	6
写真	43	テンキー	6
写真多め / 文字少なめ	43	電源を入れる	8
ジャンプ台	18	電源を切る	8
ジャンプ台レバー	4、18	電池切れです	150、164
重送検知	114	<b>と</b>	
仕様	214	独立変倍	37
省インクモード	118	トップブローファン	135
省エネモード	144	ドラム	
消去エリア入替	93	ドラムのセットのしかた	183
情報	170	ドラムの取出し方	182
ショートカット設定	142	ドラムユニットの交換	182
初期設定	139	ドラム取出しスイッチ	3、182、199
新規メイクアップ	94	トリミング	95
<b>す</b>		<b>に</b>	
スキャナ開閉ボタン	177、202、203	任意ズーム	35
スキャナユニット	3、177、202、203	任意影消し	69
すこし小さめにプリントする	31	任意面取り	64
ストッパー	5、17	<b>の</b>	
ストップキー	6	濃度調整	39
<b>せ</b>		<b>は</b>	
製版キー	6	排紙台	5、17
製版濃度	40	排版カバー	4、180
		排版ボックス	180

## 索引

排版ボックス PUSH レバー ..... 4、180  
排版ボックス開閉ボタン..... 4、180  
排版ミス..... 199  
排版ロール..... 4、180  
倍率 ..... 24、30  
パソコン用コネクタ..... 2

### ひ

左側紙づまり..... 195  
日付時刻..... 164  
標準モード..... 9、139

### ふ

ファインスタート..... 150  
ブザー設定..... 166  
ブック影消し..... 68  
プリントキー..... 6  
プリント中の印刷位置調整..... 160  
プレビュー..... 50  
プレプリント..... 154

### へ

ペン置き..... 6

### ほ

ホームキー..... 6  
保証および保守サービス..... 216、218  
    使用後の製品のリサイクル情報にて..... 216  
補助サバキ高さ調整ツマミ..... 3、15  
補助サバキの交換..... 186  
補助トレイ..... 14

### ま

前カバー..... 2、174、176、182、199  
マスター  
    使用済みマスターの処理..... 180  
    ロールマスターの交換..... 177  
マスターカバー PUSH レバー ..... 3、177

### み

右側紙づまり..... 196

### め

メイクアップ..... 77、79  
メイクアップ追加..... 91  
メッセージが表示されたとき..... 189

メモリ機能設定..... 100、139、141  
    名前の変更..... 104  
    保存されている設定を確認する..... 107  
    保存しているデータをクリアする..... 110  
    保存している内容と呼出す..... 106  
目盛板..... 19

### も

文字 ..... 43  
文字多め / 写真少なめ..... 43

### ゆ

ユーザ設定  
    原稿サイズ..... 48  
    用紙サイズ..... 26

### よ

用紙  
    使用できる用紙..... 10  
    プリント中に用紙がなくなったとき..... 192  
    プリント中に用紙を補給するとき..... 192  
    用紙サイズの選び方..... 25  
    用紙サイズを変更するとき..... 193  
    用紙のセット..... 14  
    用紙の補給..... 16  
用紙サイズの選び方..... 25  
用紙の種類..... 112  
用紙のセットのしかた..... 14、15  
用紙の補給と載せ換えのしかた..... 16  
用紙排出スイッチ..... 4、197、198  
読取濃度..... 39

### り

リセットキー..... 6  
リピートカウンタ..... 156

# お問い合わせは

---

## ■販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	_____
電話番号	_____
担当部門	_____
担当者	_____

## ■保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作方法・修理・サポートのお問い合わせ先》	
TEL	_____

## 重要

◆本機に登録した内容は必ず控えをとってください。お客様が操作ミスをしたり、本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失する場合があります。

◆本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機のご使用により生じた損害について、当社は一切その責を負えませんので、あらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

### おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。



KONICA MINOLTA

---

この説明書はエコマーク商品に認定された再生紙を使用し、リサイクルに配慮して製本しています。  
この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

---

## コニカミルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関するご要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。

お客様相談室電話番号 ☎ 0120-805039 (受付時間: 土、日、祝日を除く9:00～12:00/13:00～17:00)

■おことわり 確認のためお問い合わせ内容を録音させていただいております。ご了承ください。